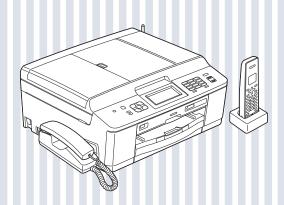
brother

MYMIO

MFC-J955DN/DWN
ユーザーズガイド
－基本編－

CD-ROM収録のユーザーズガイドもご活用ください
付属のCD-ROMには、下記のユーザーズガイドが収録されています。あわせてご覧ください。

・ユーザーズガイド　応用編
・ユーザーズガイド　パソコン活用編
・ユーザーズガイド　ネットワーク知識編
・ユーザーズガイド　ネットワーク操作編

1ページ

困ったときは
本製品の動作がおかしいとき、故障かな？と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 **第8章「こんなときは」で調べる** 133ページ

2 サポート ブラザー　検 索
ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

オンラインユーザー登録をお勧めします。
ブラザーマイポータル ▶ https://myportal.brother.co.jp/
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書はなくさないように注意し、いつでも手に取って見ることができるようにしてください。

第1章 ご使用の前に
第2章 電話
第3章 ファクス
第4章 電話帳
第5章 留守番機能
第6章 コピー
第7章 デジカメプリント
第8章 こんなときは
付録（索引）

Version A JPN

マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■ はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	付属
2. かんたん設置ガイド（冊子） お買い上げ後、本製品を使用可能な状態にするまでの手順を説明しています。	付属

■ 用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	付属
4. ユーザーズガイド 応用編（PDF 形式） 基本編で使いかたを説明していない機能について詳しく説明しています。本製品が持つ便利で楽しい機能を最大限に使いこなしてください。	付属 CD-ROM 内のユーザーズガイドの見かた ⇒ 1 ページ
5. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF 形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	
6. ユーザーズガイド ネットワーク知識編（PDF 形式） ネットワークに関する基礎的な情報を記載しています。	
7. ユーザーズガイド ネットワーク操作編（PDF 形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	

■ サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

モバイルプリント＆スキャンガイド（PDF 形式） Android や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	 http://solutions.brother.co.jp/
画面で見るマニュアル（HTML 形式） 上記のうち、3 ～ 7 のマニュアルを一体化して、パソコンの画面上で見られるようにしたマニュアルです。参照先が書かれたところをクリックするとその掲載箇所に直接飛ぶため、冊子のページをめくったり別のガイドで探したりすることなく、知りたい情報をすぐに確認することができます。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
http://solutions.brother.co.jp/

最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行なっております。
最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。
最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。http://solutions.brother.co.jp/
ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 200 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは

付属の CD-ROM には、下記のユーザーズガイドが PDF 形式で収録されています。

- ユーザーズガイド 応用編
- ユーザーズガイド パソコン活用編
- ユーザーズガイド ネットワーク知識編
- ユーザーズガイド ネットワーク操作編

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。
スタートメニューから［すべてのプログラム］－［Brother］－［MFC-XXX*1］－［ユーザーズガイド］の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

*1「XXXX」は、モデル名です。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

トップメニューの画面が表示されないときは、［マイ コンピューター（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［ユーザーズガイド］をクリックする

3 ［画面で見るマニュアル PDF 形式］をクリックする

収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

ユーザーズガイドが表示されます。

Macintosh の場合

1 **付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする**

2 **［ユーザーズガイド］をダブルクリックする**

3 **［top.pdf］をダブルクリックする**

4 **見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする**

ユーザーズガイドが表示されます。

目次

マニュアルの構成
最新のドライバーやファームウェア（本体ソフトウェア）を入手するときは？
CD-ROM 内のユーザーズガイドを見るときは 1
目次 3
本書のみかた 7
編集ならびに出版における通告 7

使ってみよう <基本編> 8

電話をかける 8
電話を受ける 9
ファクスを送る 10
ファクスを受ける 11
コピーする 12
写真や動画をプリントする 13
プリンターとして使う 15
- Windows® の場合 15
- Macintosh の場合 15

はがき（年賀状）に印刷する 16
ディスクに印刷する（レーベルプリント） 18
スキャンする 19
RSS を楽しむ 20
こんなこともできます 21

第 1 章　ご使用の前に 23

かならずお読みください

各部の名称とはたらき 24
- 外観図 24
- 子機 26
- 操作パネル（本体） 27
- 待ち受け画面 28
- タッチパネル 30
- 電源ボタンについて 31
- ステータスランプについて 31
- 操作パネル（子機） 32

はじめに設定する 34
- 回線種別を設定する 34
- 日付と時刻を設定する 35
- 送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 36

電話とファクスの受信設定 38
- お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき 38
- 電話・ファクスの受けかたを変更する 39
- ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない 42
- 呼出回数を設定する 43
- 再呼出の設定をする 44

音量を設定する 45
- 親機の音量を設定する 45
- 子機の音量を設定する 46

スリープモードに入る時間を設定する 47
記録紙のセット 48
- 使用できる記録紙 48
- 専用紙・推奨紙 49
- 記録紙の印刷範囲 50
- トレイの種類 50
- 記録紙トレイにセットする 51
- スライドトレイにセットする 55
- 記録紙の種類を設定する 57
- 記録紙のサイズを設定する 57

原稿のセット 58
- ADF にセットできる原稿 58
- 原稿の読み取り範囲 58
- 原稿をセットする 59

記録ディスクをセットする 61

第 2 章　電話 63

基本

電話をかける / 受ける 64
- 電話をかける 64
- 電話を受ける 64
- 電話帳からかける 65
- 通話を保留にする 65
- 通話を録音する（親機のみ） 66
- いろいろな電話のかけかた 67

通話のときは 69
電話を取り次ぐ 70
- 親機から子機へ電話を取り次ぐ 70
- 子機から親機へ電話を取り次ぐ 70
- 子機から子機へ電話を取り次ぐ 71
- 用件を伝えずに電話を取り次ぐ 71

内線通話をする 72
- 親機から子機へかける 72
- 子機から親機へかける 72
- 子機から子機へかける 73
- 3 人で同時に話す 73

迷惑電話を拒否する 75
- 通話前に迷惑電話を拒否する 75
- 通話中の迷惑電話を拒否する 75

オプションサービス

キャッチホンサービスを利用する 76
- キャッチホンで電話を受けた場合 76
- キャッチホンでファクスを受けた場合 76

第３章　ファクス 79

基本

ファクスを送る 80
ADF からファクスを送る 80
原稿台ガラスからファクスを送る
（1 枚のとき） 81
原稿台ガラスからファクスを送る
（2 枚以上のとき） 82
設定を変えてファクスするには 83
画質や濃度を変更する 83
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを
送る 85
複数の相手先に同じ原稿を送る 86
ファクスを受ける 88
自動的に受ける 88
電話に出てから受ける 88
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 89
ファクスの見かた 90
受信したファクスを画面で見る
（みるだけ受信）/ 印刷する 90
ファクスを自動的に印刷する
（みるだけ受信を解除する / 設定する） 92
ファクスの便利な受けかた 94
ファクスをメモリーで受信する 94
メモリー受信したファクスを印刷する 94
ファクスメッセージをメモリーから消去する 95

通信管理

通信状態を確かめる 96
送信待ちファクスを確認・解除する 96

第４章　電話帳 97

電話帳

親機の電話帳を利用する 98
電話帳に登録する 98
親機の電話帳を子機へ転送する 100
電話帳リストを印刷する 100
子機の電話帳を利用する 101
電話帳に登録する 101

第５章　留守番機能 103

留守番機能

留守番機能を設定する 104
留守番機能で設定できること 104
メッセージの録音時間を設定する 105
応答メッセージを録音する 105
留守録モニターを設定する 106
出かけるとき 107
留守番機能をセットする 107
留守応答メッセージを選ぶ 107
帰ってきたとき 108
留守番機能を解除する 108

第６章　コピー 111

基本

コピーに関するご注意 112
コピーする 113
1 部コピーする 113
複数部コピーする 113
設定を変えてコピーするには 114

第７章　デジカメプリント 117

デジカメプリント

写真をプリントする前に 118
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを
セットする 119
動画プリントについて 121
写真をプリントする 122
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー
内の画像を見る・プリントする 122
いろいろなプリント方法 124
設定を変えてプリントするには 124
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから
直接プリントする 127
PictBridge とは 127
デジタルカメラで行う設定 127
写真をプリントする 128

その他の機能

スキャン to メディア 129
スキャンしたデータをメモリーカードまたは
USB フラッシュメモリーに保存する 129

第８章　こんなときは 133

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 134
タッチパネルを清掃する 134
本製品の外側を清掃する 134
スキャナー（読み取り部）を清掃する 135
給紙ローラーを清掃する 136
排紙ローラーを清掃する 138
本体内部を清掃する 139
子機と充電器を清掃する 140
インクがなくなったときは 141
インクカートリッジを交換する 142
インク残量を確認する 144

印刷が汚いときは 145
定期メンテナンスについて 145
プリントヘッドをクリーニングする 145
記録紙のうら面が汚れるときは 146
印刷テストを行う 146
受話器（親機）を使用しないときは 149
子機のバッテリーを交換するときは 150

困ったときは

紙が詰まったときは 152
記録紙が詰まったときは 152
ADF に原稿が詰まったときは 158
ディスクが詰まったときは 159
ディスクが前面に詰まったときは 159
ディスクが背面に詰まったときは 159
画面にメッセージが表示されたときは 161
エラーが発生したときのファクスの転送方法 168
子機のメッセージ 169
故障かな？と思ったときは
（修理を依頼される前に）................................. 170
動作がおかしいときは
（修理を依頼される前に）................................. 190
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を
改善する 191
特別な回線に合わせて設定する 191
回線状況に応じて設定する 191
安心通信モードに設定する 192
ダイヤルトーン検出の設定をする 192
子機の通信状況を改善する 193
通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し
設置場所を調整する 194
初期状態に戻す 195
機能設定を元に戻す 195
ネットワーク設定を元に戻す 195
RSS 設定を元に戻す 196
電話帳・履歴・メモリー・録音データを
消去する 196
すべての設定を元に戻す 197
子機の個人情報を消去する 198
こんなときは 199
インターネット上のサポートの案内を
見るときは 199
最新のドライバーやファームウェアをサポート
サイトからダウンロードして使うときは 200
子機を増設する / 登録抹消する 201
停電になったときは 201
本製品のシリアルナンバーを確認する 202
本製品の設定内容や機能を確認する 202
本製品を輸送するときは 203
本製品を廃棄するときは 203

付　録 205

文字の入力方法 206
親機 206
子機 208
機能一覧 210
親機 210
子機 225
仕様 226
親機 226
子機 228
使用環境 229
索引 231
リモコンアクセスカード 237
関連製品のご案内 239
innobella 239
消耗品 239
消耗品などのご注文について 241
インクカートリッジの回収・
リサイクルのご案内 241
アフターサービスのご案内

付属の CD-ROM に収録「ユーザーズガイド 応用編」の目次

第 1 章　お好みで設定する

画面の設定を変更する
表示言語を設定する *1
ファクスモードに戻る時間を設定する *2、3
ファクス自動再ダイヤル有無を設定する *2、3
おやすみモードを設定する *3
着信音と保留音を設定する *3
ケータイ通話お得サービスを利用する *3

第 2 章　電話

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する *2、3
ネーム・ディスプレイサービスを利用する *2、3
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する *3

第 3 章　ファクス

ファクスの便利な送りかた *2、3
ファクスの便利な受けかた *2、3
通信状態を確かめる *2、3

第 4 章　電話帳

電話帳を利用する *2、3
子機の電話帳を利用する *3
パソコンを使って電話帳に登録する *2、3

第 5 章　転送・リモコン機能

外出先から本製品を操作する *2、3
外出先に転送する *2、3

第 6 章　コピー

いろいろなコピー

第 7 章　デジカメプリント

写真をプリントする

第 8 章　RSS

RSS 機能とは
ネットワークの接続を確認する
RSS の設定をする
RSS を閲覧する
RSS の設定を変更する
RSS の取得状態を確認する

付録

用語解説
索引

＊1：DCP-J925N のみ
＊2：MFC-J825N のみ
＊3：MFC-J955DN/DWN のみ

本書のみかた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

記号	説明
危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡あるいは重傷に至る可能性があり、かつその切迫の度合いが高い内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
確認	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

確認

■ 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で使用されているイラスト

本書では本製品や操作パネルの説明に、MFC-J955DN のイラストを使用しています。

本書で対象となる製品

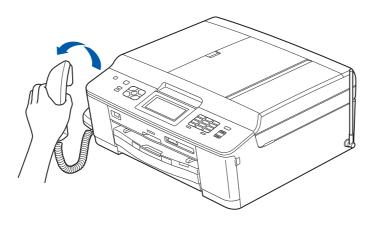
本書は MFC-J955DN、MFC-J955DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に表記していますので、ご確認ください。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は､本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

電話をかける

基本的な電話のかけかたです。電話の操作方法や応用的な使用方法について詳しくは、第 2 章をご覧ください。

1 受話器台から受話器をとる

2 操作パネルのダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

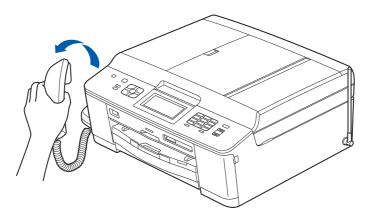
相手が出たら話します。
保留にするときは、♪保留/子機 を押して、受話器を受話器台に戻します。保留ののち、通話を再開するときは、再度受話器をとります。保留が解除されます。

3 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

回線が切断されます。

電話を受ける

基本的な電話の受けかたです。

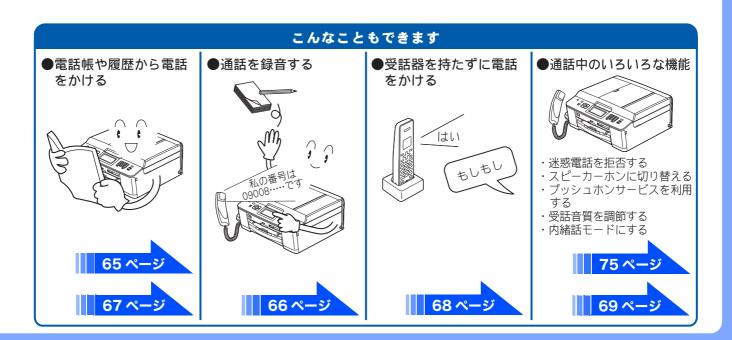
1 着信音が鳴ったら、受話器をとる

かけてきた相手と話します。

・保留にするときは、♪保留/子機 を押して、受話器を受話器台に戻します。保留ののち、通話を再開するときは、再度受話器をとります。保留が解除されます。

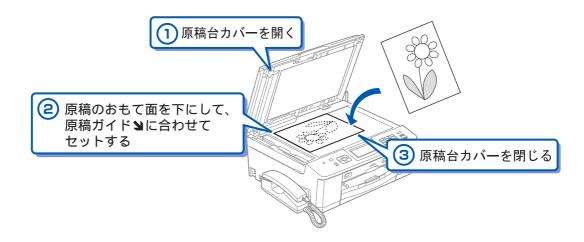
・子機に電話を取り次ぐときは、♪保留/子機 を押し、操作パネルのダイヤルボタンで子機の内線番号を押します。子機の相手が応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて受話器を戻します。子機が応答しない場合は、♪保留/子機 を押して、外線の相手との通話を再開します。

・通話を録音するときは、【録音】を押します。録音をやめるときは 停止 / 終了 を押します。

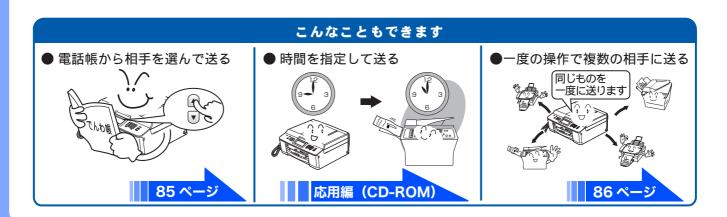
2 通話を終えるときは、受話器を受話器台に戻す

回線が切断されます。

ファクスを送る

ファクスを送ります。

1 原稿をセットする

2 ファクス を押して、操作パネルのダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する

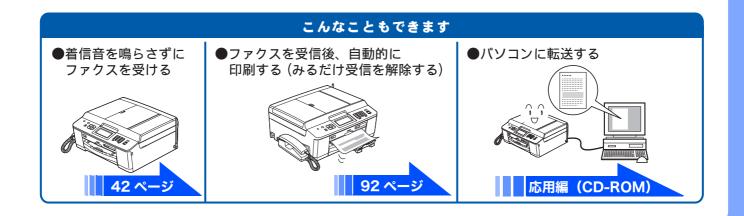
3 モノクロで送る場合は、モノクロスタート を、カラーで送る場合は、スタートカラー を押す

ファクスが送られます。

ファクスを受ける

「みるだけ受信」が設定されていれば、画面でファクスを確認できます。
「みるだけ受信」では、受信したファクスはメモリーに保存され、自動的に印刷されません。内容を確認してから印刷したり、印刷せずに消したりできます。
⇒ 90 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

1 画面に【新着ファクス：XX】と表示されたら、【ファクス確認】を押す

2 確認したいファクスを選ぶ

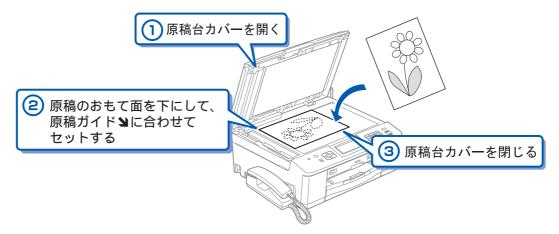
ファクスの内容が表示されます。

こんなこともできます

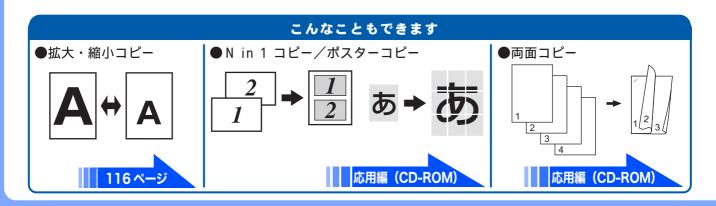
コピーする

モノクロ / カラーでコピーします。

1 原稿をセットする

2 コピー を押し、操作パネルのダイヤルボタンまたは【−】/【+】で部数を入力する

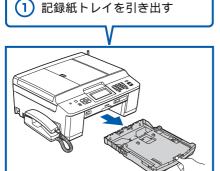
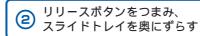
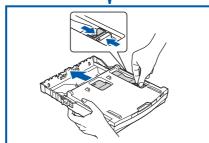
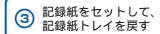
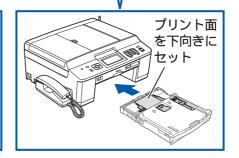
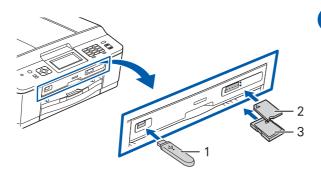
3 モノクロでコピーする場合は、モノクロ スタート を、カラーでコピーする場合は、スタート カラー を押す

コピーが開始されます。

こんなこともできます

写真や動画をプリントする

メモリーカードや USB フラッシュメモリーなどメディアに保存された写真や、動画の画像をプリントします。動画は、本製品で自動的に 9 分割された画像を 1 枚の記録紙にプリントします。

1 記録紙をスライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）にセットする

※L 判の記録紙をセットする場合を説明します。

① 記録紙トレイを引き出す

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを入れる

1. USBフラッシュメモリー
2. メモリースティック™、メモリースティック PRO™、
   メモリースティック デュオ™、
   メモリースティック PRO デュオ™
3. SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード、
   マルチメディアカード、マルチメディアカード plus

※ miniSDカード/microSDカード/miniSDHCカード/microSDHCカード/
メモリースティック マイクロ™（M2™）/マルチメディアカード mobileも使用できます。
本製品にセットするときはアダプターが必要です。

デジタルカメラと本機をUSBケーブルで接続することもできます。

※デジタルカメラからは直接動画を表示したりプリントしたりできません。

3 【かんたんプリント】を選ぶ

4 プリントする画像と枚数を設定する

※複数の写真をプリントするときは、①②③を繰り返します。
※動画は、ファイルを 9 分割して、それぞれ最初のシーンが縦 3 ×横 3 に配置されます。

5 【OK】を押す

6 モノクロスタート または カラースタート を押してプリントする

選択した画像がカラーでプリントされます。

プリンターとして使う

本製品とパソコンを接続して、パソコンから印刷できます。

確認

■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

Windows® の場合

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

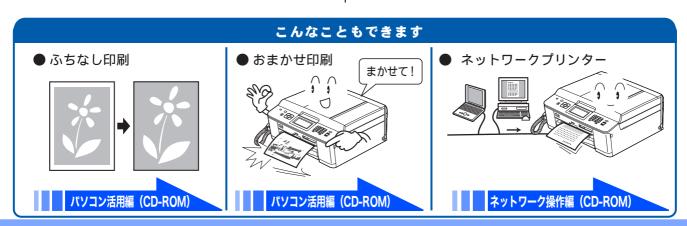
2 ［印刷］ダイアログボックスで、本製品を選び、［OK］をクリックする

Macintosh の場合

1 アプリケーションの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

2 ［対象プリンタ］で本製品のモデル名を選び、［OK］をクリックする

3 アプリケーションの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

4 ［プリント］をクリックする

はがき（年賀状）に印刷する

スライドトレイ（L 判記録紙やはがき専用のトレイ）を使って、はがきや年賀状に印刷します。
操作方法は、お使いの OS やアプリケーションソフトによって異なります。

1 はがきをスライドトレイにセットする

⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」

2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶ

3 ［印刷］ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、［プロパティ］をクリックする

［印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［基本設定］タブをクリックする

5 [用紙種類] と [用紙サイズ] を設定し、[OK] をクリックする

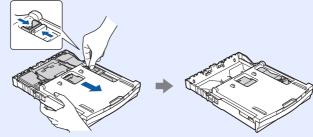
例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合
　[用紙種類] を [インクジェット紙] に設定します。
　[用紙サイズ] を [ハガキ] に設定します。

6 [OK] をクリックする

印刷が始まります。

確認

■ 印刷後、はがき・L 判以外のサイズの記録紙に入れかえるときは、

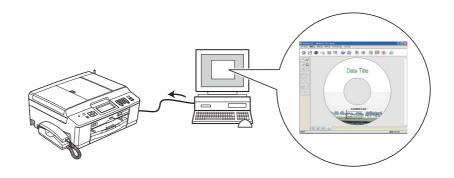
• リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。

• プリンタードライバーの [用紙種類] および [用紙サイズ] を設定し直してください。

ディスクに印刷する（レーベルプリント）

本製品は、記録ディスク（CD-R/RW、DVD-R/RW、ブルーレイディスク ™）のレーベル面へ直接コピーや印刷をすることができます。
本書では、記録ディスクのセット方法を説明しています。⇒ 61 ページ「記録ディスクをセットする」をご覧ください。
印刷には、次の 3 つの方法があります。⇒詳しい手順については、ユーザーズガイド パソコン活用編「レーベルプリント」をご覧ください。

- ディスクレーベルや写真などの原稿をコピーする

- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーからデータを選んで印刷する

- NewSoft CD Labeler で画像を編集し、パソコンから印刷する
  NewSoft CD Labeler をご使用いただくには、付属の CD-ROM またはサポートサイトからインストールする必要があります。⇒インストール方法については、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

確認

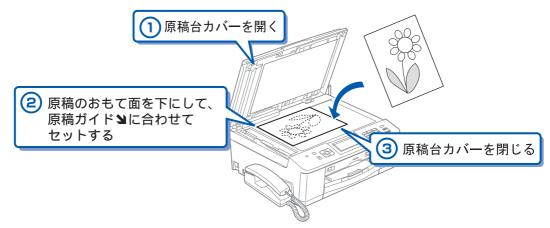
■ 本製品にセットできる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm サイズのディスクのみです。

スキャンする

本製品でスキャンしたデータをパソコンに送ります。

確認

■ パソコンとの接続や、ドライバーのインストール方法は、別冊の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

1 原稿をセットする

2 スキャン を押す

3 【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ、【イメージ：PC 表示】を選ぶ

パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 に進んでください。

4 スキャンした画像を保存するパソコンを選び、【OK】を押す

表示されている中から希望のパソコンまたは【< USB >】を選びます。（USB 接続も同時にしている場合は、そのパソコンが【< USB >】と表示されます。）

5 モノクロスタート または スタートカラー を押す

スキャンが開始されます。

こんなこともできます

RSS を楽しむ

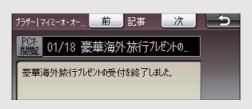
RSS とは、ホームページやブログなどのウェブサイトが更新されたときに、その見出しや要約記事などを簡単にまとめて公開するというような利用方法で、多く使用され始めているウェブ上の新しい文書形式です。本製品はこの RSS 機能に対応し、あらかじめ登録しておいたウェブサイトの RSS を、街角の電光ニュースのように画面上で読むことができます。
RSS 機能を利用するためには、準備 / 設定が必要です。詳しくは、ユーザーズガイド 応用編 第 8 章「RSS」をご覧ください。

1 気になる見出しがあれば、その見出し上で画面を押す

【RSS】を【オン】に設定しておくと、待ち受け画面では、登録したウェブサイトの RSS 形式の見出しが右から左に流れて表示されています。

※ 図中のRSSサイト、見出し、要約記事は架空のものです。

2 要約記事の読みたい見出しを選ぶ

要約記事が表示されます。

※ウェブサイトによっては要約記事が配信されていないこともあります。

こんなこともできます

● PCで閲覧
本製品からパソコンに、ウェブブラウザー起動指令を出す

※ Windows®のみ

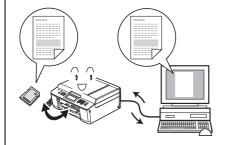
こんなこともできます

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用する[リムーバブルディスクドライブ]

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーが、パソコン上で［リムーバブルディスク］として使用できます。

※リムーバブルディスクドライブとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。パソコンから、ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。

Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macitosh 編」－「Macitosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

パソコン活用編（CD-ROM）

● パソコンからファクスを送る［PC-FAX 送信］

パソコンで作成した書類を、本製品の電話回線を利用して直接ファクスできます。印刷する必要がありません。

パソコン活用編（CD-ROM）

● スキャナー、メモリーカードアクセスなどを簡単に起動する［ControlCenter］

スキャナーやメモリーカードアクセス機能などを簡単に起動できるソフトウェア「ControlCenter」を使用できます。

パソコン活用編（CD-ROM）

● 本製品の設定をパソコンから変更する［リモートセットアップ］

パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更できます。

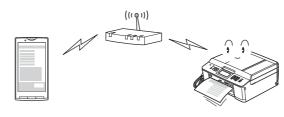
パソコン活用編（CD-ROM）

● 写真をプリント / 加工する［FaceFilter Studio］

写真を簡単にふちなし印刷したり、顔がはっきり見えるように全体の明るさを調整したりできます。赤目の修正や表情を変化させたりすることもできます。
（Windows® のみ）

パソコン活用編（CD-ROM）

● モバイルプリント機能

Android や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷したり、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送することができます。

モバイルプリント&スキャンガイド

その他の機能については、「ユーザーズガイド 応用編」、「ユーザーズガイド パソコン活用編」および「ユーザーズガイド ネットワーク操作編」を参照してください。

第 1 章

ご使用の前に

かならずお読みください

各部の名称とはたらき ... 24
- 外観図 ... 24
  - 外面図 ... 24
  - 内面図 ... 25
- 子機 ... 26
- 操作パネル（本体） ... 27
- 待ち受け画面 ... 28
- タッチパネル ... 30
  - 操作例 ... 30
- 電源ボタンについて ... 31
  - 電源をオフにする ... 31
  - 電源をオンにする ... 31
- ステータスランプについて ... 31
- 操作パネル（子機） ... 32
  - 画面（子機） ... 33

はじめに設定する ... 34
- 回線種別を設定する ... 34
- 日付と時刻を設定する ... 35
  - 親機の場合 ... 35
  - 子機の場合 ... 36
- 送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する ... 36

電話とファクスの受信設定 ... 38
- お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき ... 38
  - 在宅モード：留守番機能がセットされていないとき ... 38
  - 留守モード：留守 を押して、留守番機能をセットしたとき ... 38
- 電話・ファクスの受けかたを変更する ... 39
- ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない ... 42
- 呼出回数を設定する ... 43
- 再呼出の設定をする ... 44

音量を設定する ... 45
- 親機の音量を設定する ... 45
- 子機の音量を設定する ... 46
  - 着信音量を設定する ... 46
  - ボタン確認音を設定する ... 46
  - スピーカー音量を設定する ... 46
  - 受話音量を設定する ... 46

スリープモードに入る時間を設定する ... 47

記録紙のセット ... 48
- 使用できる記録紙 ... 48
- 専用紙・推奨紙 ... 49
- 記録紙の印刷範囲 ... 50
- トレイの種類 ... 50
  - 記録紙トレイ ... 50
  - スライドトレイ ... 50
  - 最大排紙枚数について ... 50
- 記録紙トレイにセットする ... 51
- スライドトレイにセットする ... 55
- 記録紙の種類を設定する ... 57
- 記録紙のサイズを設定する ... 57

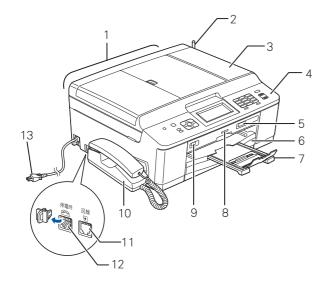
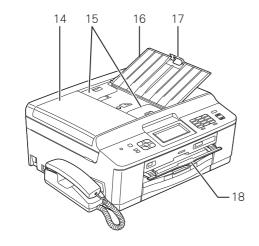
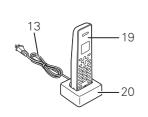
原稿のセット ... 58
- ADF にセットできる原稿 ... 58
  - ADF に原稿をセットする場合の注意事項 ... 58
- 原稿の読み取り範囲 ... 58
- 原稿をセットする ... 59
  - 原稿台ガラスに原稿をセットする ... 59
  - ADF に原稿をセットする ... 59

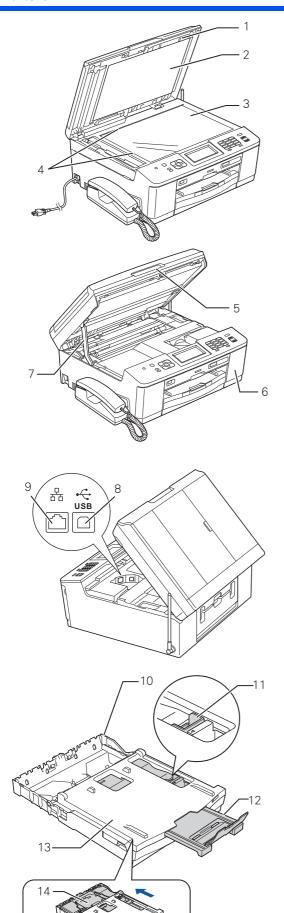
記録ディスクをセットする ... 61

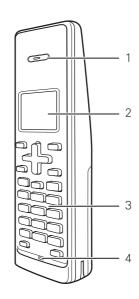
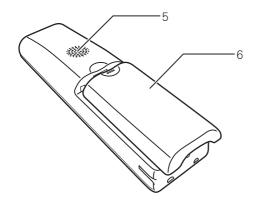
各部の名称とはたらき

かならずお読みください

外観図

外面図

1	ADF（自動原稿送り装置）
2	アンテナ
3	原稿台カバー
4	操作パネル
5	カードスロット
6	記録紙トレイ
7	記録紙ストッパー
8	ステータスランプ
9	PictBridge ケーブル差し込み口 /USB フラッシュメモリー差し込み口
10	受話器（親機）
11	回線接続端子
12	停電用電話機接続端子
13	AC 電源コード
14	ADF カバー
15	ADF ガイド
16	ADF 原稿トレイ
17	ADF 原稿ストッパー
18	ディスクガイド
19	子機
20	子機充電器

内面図

1	ディスクトレイ
2	原稿台カバー
3	原稿台ガラス
4	原稿ガイド
5	本体カバー
6	インクカバー（インク挿入口）
7	本体カバーサポート
8	USB ケーブル差し込み口
9	LAN ケーブル差し込み口
10	記録紙トレイ
11	リリースボタン
12	記録紙ストッパー
13	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。
14	スライドトレイ L 判光沢紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでトレイを奥に移動させます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。

子機

1	受話口
2	画面
3	操作パネル
4	マイクと送話口
5	スピーカー
6	バッテリーカバー

操作パネル（本体）

1	電源ボタン	電源をオン / オフするときに押します。 ⇒ 31 ページ「電源ボタンについて」 電源をオフにした場合でも、定期的にヘッドクリーニングを行います。
2	留守ボタン	留守モードにするときに押します。 ⇒ 107 ページ「留守番機能をセットする」
3	モードボタン	ファクス / スキャン / コピー/ デジカメプリントの各モードに切り替えます。点灯しているボタンが、現在選択されているモードです。 は、待ち受け画面に戻るときに押します。
4	タッチパネル	各種メニュー、操作方法を案内するメッセージが表示されます。画面に直接タッチして各設定を行います。 ⇒ 30 ページ「タッチパネル」
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするとき、コピー部数を入力するときに押します。
6	停止 / 終了ボタン	操作を中止するときや設定を終了するときに押します。
7	モノクロ/カラースタートボタン	ファクス、コピー、デジカメプリントまたはスキャンをスタートするときに押します。
8	オンフックボタン	電話回線を接続 / 切断するときに使用します。押すだけで、受話器をとる / 置く、と同じ役割を果たします。天気予報や各種自動音声案内など、通話が不要なときに受話器を上げずにダイヤルして、そのまま聞いたり、案内に従ってダイヤル操作をしたりすることが可能です。
9	再ダイヤル / 履歴ボタン	再ダイヤルするとき、発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。 ダイヤル中は、ポーズを入力するときに押します。
10	おことわりボタン	迷惑電話がかかってきたときに、拒否メッセージを再生し、回線を切断します。 ⇒ 75 ページ「迷惑電話を拒否する」
11	保留 / 子機ボタン	通話を保留にするとき、子機を呼び出すときに押します。

待ち受け画面

現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時やインク残量などを確認でき、【メニュー】や【ファクス確認】などよく使用するボタンが並んでいます。

メッセージ表示例

1	日時表示 / メッセージ表示	現在の日時および曜日が表示されます。 メッセージがあるときは、メッセージが表示されます。メッセージが重複した場合は、交互に表示されます。
		エラーがあることをお知らせします。[詳細] を押すと本製品の現在の状態や、保守手順を表示します。⇒ 161 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。
		みるだけ受信設定時に新着ファクスの件数が表示されます。
		留守モード時に録音された新着メッセージの件数が表示されます。
		不在着信があることをお知らせします。再ダイヤル/履歴 を押すと着信履歴が表示されます。
		【RSS】が【オン】に設定されている場合に、登録したウェブサイトの RSS 形式の見出しが流れて表示されます。
2	電話帳ボタン	登録されているあて先や短縮ダイヤルを表示させたり、検索するときに押します。新たに登録する場合もここから入れます。
3	レーベルプリントボタン	レーベルプリントメニューを表示させるときに押します。
4	メニューボタン	メインメニューを表示させるときに押します。
5	無線 LAN 電波強度	無線 LAN 接続時に電波強度を 4 段階（ ）で表示します。
6	残量表示 / インクボタン	ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクに関するメニューを表示します。
7	ファクス件数	メモリーに保存されている受信ファクスの件数が表示されます。
8	ファクス確認ボタン / みるだけ受信ボタン	みるだけ受信が設定されているときは、受信したファクスを確認するときに押します。みるだけ受信が設定されていないときは、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。

9	音声件数	メモリーに保存されている音声メッセージの件数が表示されます。
10	留守録再生ボタン	保存されているメッセージの一覧画面および音声再生メニューが表示されます。
11	おやすみモード表示	おやすみモードのオン / オフが表示されます。オンの場合は、電話やファクスの着信音が鳴らないことを示しています。
12	おやすみモード設定ボタン	おやすみモードを設定するときに押します。

タッチパネル

画面に表示された項目やボタンを指で軽く押して使用します。

確認

■ タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。タッチパネルが損傷する恐れがあります。

前の画面に戻ります。

それぞれの項目を押すと次の画面が表示されます。

項目を上下に移動します。

ボタンを押すと設定が有効になります。

ボタンを押して数値を入力します。

設定を確定します。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す

メニュー画面が表示されます。

2 【基本設定】を押す

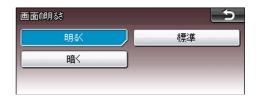
次の階層が表示されます。

3 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

次の階層が表示されます。

4 【画面の明るさ】を押す

5 目的の明るさを押す

画面の明るさが変更されます。

6 停止/終了 を押して設定を終了する

電源ボタンについて

電源ボタンを押すと、本製品の電源をオン / オフできます。電源をオフにした場合でも、印刷品質を維持するために本製品のヘッドクリーニングを定期的に行います。

本体の電源がオフのときは、電話機コードが接続されていても電話はつながりません。電源がオフの場合に使用できない機能は以下のとおりです。

- RSS
- ファクス
- 電話
- 親機 / 子機操作
- パソコンからの印刷
- デジカメプリント
- コピー
- スキャン
- レーベルプリント
- レポート印刷

ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。

ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。

電源をオフにする

1 **On/Off を 2 秒以上押す**

画面に【電源をオフにします　オフ後はファクス / 電話 / 子機が使用できなくなります】と表示され、電源がオフになります。

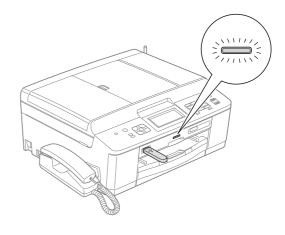
親機の電源をオフにすると子機に【デンゲン Off】と表示されます。

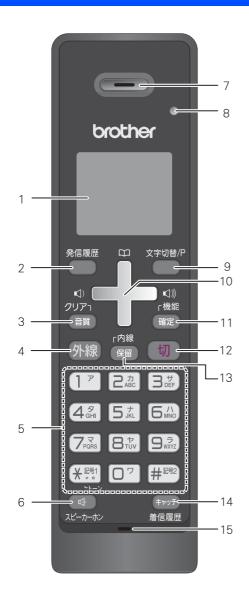
電源をオンにする

1 **On/Off を押す**

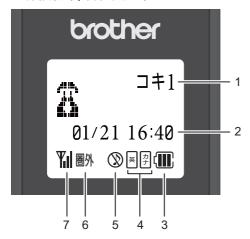
【子機が「デンゲン Off」表示の時は子機の「外線」を押すと使えるようになります】というメッセージが表示され、電源がオンになります。

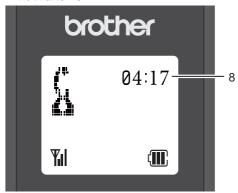
ステータスランプについて

本製品の状態をランプの点灯、点滅で表します。

表示	状態
点灯	電源オン状態です。
点滅	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが読み取り、または書き込み中です。 点滅中は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにさわらないでください。
消灯	電源オフ、またはスリープ状態です。

操作パネル（子機）

1	画面	子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
2	発信履歴ボタン	最近かけた相手にもう一度ダイヤルするときに押します。
3	クリア / 音質ボタン	文字を消すときと、通話中、相手の声の聞こえかたを調整するときに押します。
4	外線ボタン	電話をかけるときや受けるときに押します。
5	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや文字を入力するときに押します。
	記号 1/ トーンボタン	記号を入力するとき、一時的にプッシュホンサービス（トーン信号によるサービス）を利用するときに押します。
	記号 2 ボタン	記号を入力するときに押します。
6	スピーカーホンボタン	子機を持たずに通話するときに押します。
7	受話口	相手の声が聞こえます。
8	充電表示ランプ	充電中に点灯します。充電が終わると消灯します。
9	文字切替 /P ボタン	文字入力の種類を変えるとき、またはダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押します。
10	マルチセレクトボタン	上下を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン	電話帳を表示するときに上を押します。
	音量ボタン	着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整するときに左右を押します。
11	機能 / 確定ボタン	各機能を設定するとき、設定内容を確定するときまたは通話中にメッセージを流して通話を拒否するときに押します。
12	切ボタン	内線通話をするとき、または電話を切るとき、または操作を途中で中止するときに押します。
13	内線 / 保留ボタン	保留にして相手にメロディを流すときに押します。
14	キャッチ / 着信履歴ボタン	キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。
15	マイクと送話口	子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときに使用します。

画面（子機）

ー非接続中/各種設定中ー

※上図の表示は、すべてが同時に出るわけではありません。

ー外線接続中ー

1	内線番号（子機名）	
2	日時表示	
3	[バッテリー表示]	バッテリーの残量の目安を表示します。 〈バッテリ残量の目安〉 ：20%以上　：20%未満 ：10%未満　：要充電
4	英 カナ	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は 文字切替/P を押して切り替えます。 英：アルファベット（大文字、小文字）、数字が入力できます。 カナ：半角カタカナが入力できます。
5	[着信音OFF表示]	着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
6	圏外	電波の届かない場所にいるときに表示されます。
7	[電波表示]	通話中の電波の状態が表示されます。の数が多いほど、電波状態が良好です。
8	外線接続時間の目安（相手につながってからの時間ではなく子機の 外線 を押してからの経過時間）	

はじめに設定する

別冊の「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が既に完了している場合は、次のページにお進みください。引っ越しなどで電話回線の環境に変更があったときは、設定し直してください。

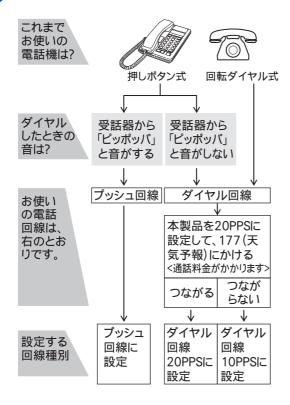
回線種別を設定する

【回線種別設定】

設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引っ越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1 受話器をとり「ツー」という音が聞こえることを確認する

- 聞こえないときは、受話器および電話機コードを正しく接続し直してください。(⇒かんたん設置ガイド)
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

2 回線種別を確認する

3 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

4 回線種別を選ぶ

- 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
- ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

設定が有効になります。

5 停止/終了 を押して設定を終了する

回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報)などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

日付と時刻を設定する

［時計セット］

親機の場合

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は待ち受け画面に表示され、ファクスを送信したときに相手側の記録紙にも印刷されます。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

年の入力画面が表示されます。

2 画面に表示されているテンキーで西暦の下 2 桁を押し、【OK】を押す

2012 年の場合は、【1】【2】を押します。

> 日付や時刻を間違って入力したときは、【×】を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

3 画面に表示されているテンキーで月を 2 桁で押し、【OK】を押す

1 月の場合は、【0】【1】を押します。

日付の入力画面が表示されます。

4 画面に表示されているテンキーで日付を 2 桁で押し、【OK】を押す

21 日の場合は、【2】【1】を押します。

時刻の入力画面が表示されます。

5 画面に表示されているテンキーで時刻を 24 時間制で押し、【OK】を押す

午後 0 時 45 分の場合は、【1】【2】【4】【5】を押します。

日付と時刻が設定されます。

6 停止／終了 を押す

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。

> 時刻は時間が経過すると誤差が生じます。定期的に設定し直すことをお勧めします。

> 発信元登録をしていない場合は、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

子機の場合

子機の日付と時刻を設定します。

1 機能/確定 **を押す**

2 ✥ **で「トケイセッテイ」を選び、機能/確定を押す**

3 **日付を入力し、機能/確定または✥を押す**

例：2012 年 1 月 21 日の場合

1 2 0 1 2 1 と押します。

4 **時刻を 24 時間制（4 桁）で入力し、機能/確定を押す**

例：12 時 45 分の場合

1 2 4 5 と押します。

5 切 **を押して設定を終了する**

- 数字を入れ間違えたときは、✥で間違えた箇所まで■（カーソル）を移動し、入力し直してください。
- 設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

[発信元登録]

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。

2012/01/21 15:25　052XXXXXXXX　山田　太郎　ページ 01/01

〇〇〇のお知らせ

拝啓

平素は格別のお引立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日ご依頼のありました〇〇のカタログを送付いたします。何とぞ詳細にご検討くださいますようお願い申し上げます。

- 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。

1 **画面上の【メニュー】、【初期設定】、【発信元登録】を順に押す**

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

ファクス番号の入力画面が表示されます。

2 **ファクス番号を入力し、【OK】を押す**

20 桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

- ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

名前の入力画面が表示されます。

3 **名前を入力し、【OK】を押す**

16 文字まで入力できます。

⇒ 206 ページ「文字の入力方法」

設定が有効になります。

4 停止/終了 **を押して設定を終了する**

発信元登録を削除するときは

(1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」（36 ページ）の手順 ❶ を行う

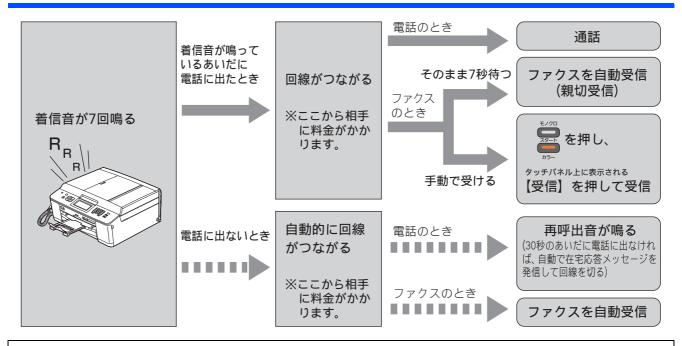
(2) 【×】を 1 秒以上押してファクス番号を削除し、【OK】を押す

(3) 停止 / 終了 を押す

電話とファクスの受信設定

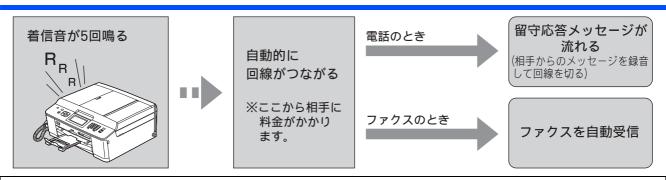
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

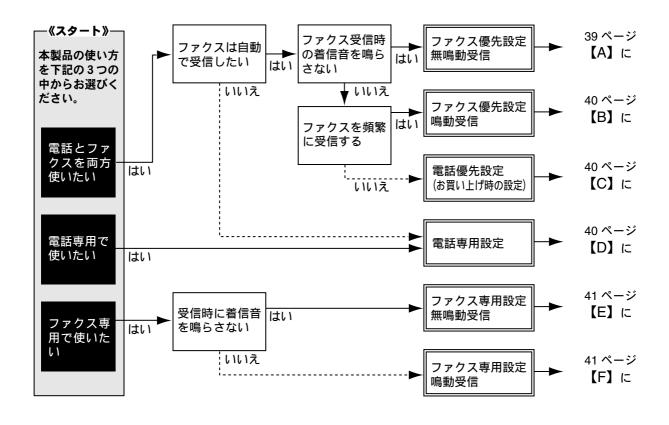
お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。39 ページから 44 ページでは、下表、破線部分に関わる流れを、お客様の使いかたにあった設定に変更する手順をご案内しています。

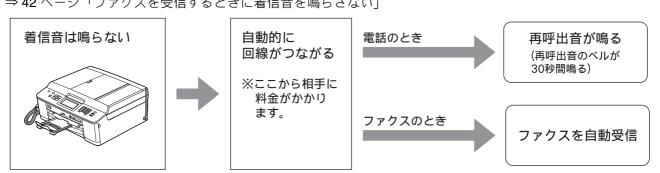
在宅モード：留守番機能がセットされていないとき

着信音をメロディに設定しているときでも、回線が再呼出に切り替わるとベル音が鳴ります。

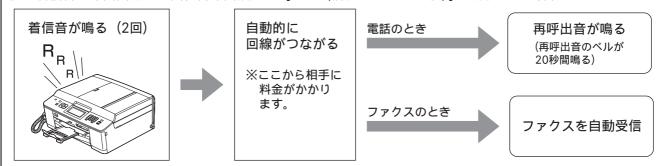
7 回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先には再呼出音が聞こえています。30 秒のあいだ電話に出ないでいると、「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直しください。」というメッセージを流して、数秒後に回線が切れます。

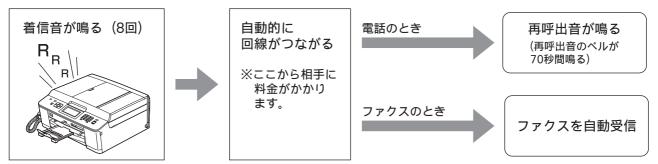
留守モード：留守 を押して、留守番機能をセットしたとき

5 回の着信音が鳴ったあとに自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先に「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」というメッセージを流します。相手からのメッセージを録音後、回線が切れます。

電話・ファクスの受けかたを変更する

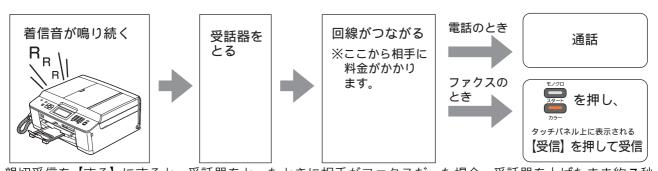
在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。

【A】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定無鳴動受信）

着信音の呼出回数を 0 回にし、再呼出設定を【オン（相手にベル：30 秒）】にします。
⇒ 42 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない」

【B】着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

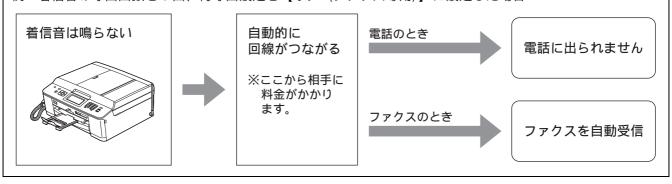
着信音の呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オン】にします。
⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 44 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オン（相手にベル：20 秒）】に設定した場合

【C】電話を優先的に受ける（電話優先設定）

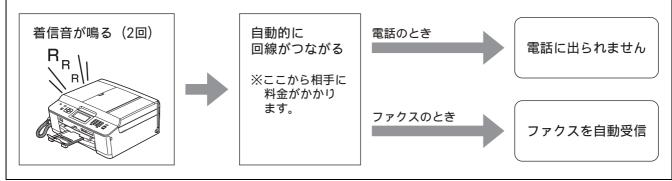
着信音の呼出回数を 7 ～ 15 回にし、再呼出設定を【オン】にします。
⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 44 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 8 回、再呼出設定を【オン（相手にベル：70 秒）】に設定した場合

回線が自動的につながる前に受話器をとって、相手がファクスだった場合は、ファクスを手動で受信してください。
⇒ 88 ページ「電話に出てから受ける」

【D】電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信音の呼出回数を無制限にします。
⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」

親切受信を【する】にすると、受話器をとったときに相手がファクスだった場合、受話器を上げたまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受けることができます。
⇒ 89 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

【E】本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信音の呼出回数を 0 回にし、再呼出設定を【オフ（ファクス専用)】にします。
⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 44 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 0 回、再呼出設定を【オフ（ファクス専用)】に設定した場合

【F】本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信音の呼出回数を 1 ～ 2 回にし、再呼出設定を【オフ（ファクス専用)】にします。
⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」
⇒ 44 ページ「再呼出の設定をする」
例：着信音の呼出回数を 2 回、再呼出設定を【オフ（ファクス専用)】に設定した場合

ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない

［ファクス無鳴動受信］

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。

確認

- ■ ファクス無鳴動受信を【する】に設定すると、電話のときはベル音が鳴ります。このベル音はメロディなどに変更できません。
- ■ ファクス無鳴動受信を【する】に設定すると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話をとらなくても相手側には通話料金が発生します。
- ■ ファクス無鳴動受信を【する】に設定しても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【ファクス無鳴動受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

【ファクスのときは着信音を鳴らさずに自動受信し　電話のときは再呼出音が鳴り　留守モードのときは留守応答メッセージが流れる設定にします／する／しない】と表示されます。

2 【する】を押す

呼出回数は【在宅モード】【留守モード】とも【0】、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒）】になり、ファクス優先無鳴動受信が設定されます。

【しない】を押すと、呼出回数は【在宅モード】が【7】、【留守モード】が【5】、再呼出設定は【オン（相手にベル：30 秒）】になります。無鳴動受信は設定されず、電話、ファクスとも着信音が鳴ります。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

呼出回数を設定する

[呼出回数]

本製品が応答してから、回線が自動的につながる（電話かファクスかを区別する）までに鳴る着信音の回数を設定します。
お買い上げ時は「在宅モード 7 回」、「留守モード 5 回」に設定されています。

0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。また、電話のときは相手に料金がかかります。）

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【呼出回数】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

呼出回数画面が表示されます。

2 【在宅モード】または【留守モード】を選ぶ

3 呼出回数を選ぶ

A）【在宅モード】のとき

【0 ～ 15（回）／無制限】から選びます。目的の呼出回数が表示されていないときは、【◀】/【▶】を押して表示させます。

- 【0 ～ 15（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【無制限】：
  受話器をとるまで着信音が鳴り続けます。受話器をとると回線がつながります。

B）【留守モード】のとき

【0 ～ 7（回）／トールセーバー】から選びます。目的の呼出回数が表示されていないときは、【◀】/【▶】を押して表示させます。

- 【0 ～ 7（回）】：
  設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【トールセーバー】：
  外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
  ⇒ 43 ページ「トールセーバーを利用する」

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

- 2 回：音声メッセージがある
- 5 回：音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

【再呼出設定】

在宅モードで、呼出音（⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」）が鳴ったあとの本製品の動作（再呼出）の設定をします。ファクスは自動的に受信します。
お買い上げ時は、【オン（相手にベル）／ 30 秒】に設定されています。

【再呼出設定】で設定した時間を過ぎると、電話が自動的に切れます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【再呼出設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

再呼出設定画面が表示されます。

2 【オフ】または【オン】を選ぶ

- 【オフ】：
  本製品をファクス専用として使うときに選びます。
  電話は受けられません。
  ファクスは自動的に受信します。
- 【オン】：
  電話とファクスの両方を使うときに選びます。
  電話のときは再呼出音が鳴ります。
  ファクスは自動的に受信します。

A）【オフ】のとき

停止 / 終了 を押して設定を終了する

B）【オン】のとき

再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音を選びます。

- 【相手にベル】：
  「トゥルートゥルー」という音が相手に流れます。
- 【相手にメッセージ】：
  在宅応答メッセージが相手に流れます。お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
  在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
  ⇒105ページ「応答メッセージを録音する」

3 再呼出時間を選ぶ

【20 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 70 秒】から選びます。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

音量を設定する

本製品の音量を調整します。

親機の音量を設定する

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

音量設定画面が表示されます。

2 変更したい音量を選ぶ

- 【着信音量】
  着信時のベルやメロディの音量を調整します。
- 【ボタン確認音量】
  操作パネル上のボタンを押したときに鳴る確認音を調整します。
- 【スピーカー音量】
  オンフック時の音量や留守録モニターの音量を調整します。
- 【受話音量】
  受話器を持って通話するときの音量を調整します。

3 目的の音量を選ぶ

【切／小／中／大】から選びます。

受話音量には【切】はありません。

4 停止／終了 を押して設定を終了する

着信音量は着信中に表示される［小］/［大］でも調整できます。

スピーカー音量は、オンフック を押し、「ツー」という音が聞こえているときに 停止／終了 を押して表示される［小］/［大］を押しても調整できます。

スピーカー音量を【切】に設定していても、下記の場合は【小】の音量で音が鳴ります。

- 留守ボタンを押したときの応答メッセージ再生音
- 留守録再生ボタンを押したときの録音メッセージ再生音

着信音量を【切】に設定していても、下記の音は最小音量で鳴ります。

- 本製品が自動着信したあと、相手が電話だということを知らせる「トゥルッ、トゥルッ」という再呼出音
- 内線呼出音

ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

通話中に受話音量を変える

通話中にタッチパネルに表示されている［小］/［大］を押すと、受話音量を変更できます。

子機の音量を設定する

着信音量を設定する

お買い上げ時は、【■■■□】（3 段階目）に設定されています。

1 を押す

2 で音量を選ぶ

音量はオフ【□□□□】を含めて 5 段階から選べ、オフにすると画面に が表示されます。

2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音を設定する

お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 機能確定 を押す

2 【メイドウオンセッテイ】が選択されていることを確認し、機能確定 を押す

3 で【3. ボタンカクニンオン】を選び、機能確定 を押す

4 で設定を選び、機能確定 を押す

ボタン確認音は【ON ／ OFF】から選びます。

5 切 を押して設定を終了する

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

スピーカーホン を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中のときに設定できます。
お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています。

1 スピーカーホン を押す

2 を押す

3 で音量を選ぶ

スピーカー音量は 4 段階の調整ができます。

4 スピーカーホン を押して設定を終了する

5 通話をしていないときは、切 を押す

2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、スピーカー音量を下げて使用してください。

受話音量を設定する

お買い上げ時は、【■■□□】（2 段階目）に設定されています。

1 通話中に を押す

2 で音量を選ぶ

受話音量は 4 段階の調整ができます。

2 秒間操作しないと元の画面に戻ります。

通話中に「キーン」という音（ハウリング）がしたときは、受話音量を下げて使用してください。

スリープモードに入る時間を設定する

設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、本製品は自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに印刷します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。お買い上げ時は【5 分】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

スリープモードの設定画面が表示されます。

2 希望の時間を選ぶ

【1 分／ 2 分／ 3 分／ 5 分／ 10 分／ 30 分／ 60 分】から選びます。

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

3 停止／終了 を押して設定を終了する

使用するときは、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。また、記録紙をセットしたときは、本製品の「記録紙タイプ」（⇒ 57 ページ「記録紙の種類を設定する」）またはプリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。（Windows® の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」、Macintosh の場合⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」）
記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	厚さ	一度にセットできる枚数	サイズ			参照
			コピー	デジカメプリント	プリンター	
普通紙	$64g/m^2$ ～ $120g/m^2$ （0.08mm ～ 0.15mm）	100[*1]	A4 B5 A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5（JIS） A5 A6	⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」
インクジェット紙	$64g/m^2$ ～ $200g/m^2$ （0.08mm ～ 0.25mm）	20	A4 B5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5（JIS） A5 A6 2L 判[*3]	
光沢紙	$220g/m^2$ 以下（0.25mm 以下）[*2]	20	A4 B5	A4 2L 判[*2]		
OHP フィルム	0.13mm 以下	10	A4 B5	－		
封筒	$75g/m^2$ ～ $95g/m^2$	10	－	－	長形 3 号封筒 長形 4 号封筒 洋形 2 号封筒 洋形 4 号封筒 COM-10 DL 封筒	
ポストカード	0.25mm 以下	20	－	－	101.6mm × 152.4mm	
インデックスカード	$120g/m^2$ 以下（0.15mm 以下）	30	－	－	127mm × 203.2mm	
L 判光沢紙	$220g/m^2$ 以下（0.25mm 以下）[*2]	20	L 判	L 判	L 判	⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」
はがき（普通紙）	$220g/m^2$ 以下（0.25mm 以下）	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	
はがき（インクジェット紙）	$220g/m^2$ 以下（0.25mm 以下）	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	
はがき（写真用光沢はがき）	$220g/m^2$ 以下（0.25mm 以下）[*2]	20	ハガキ	ハガキ	ハガキ	

[*1] $80g/m^2$ の場合

[*2] ブラザーBP71 写真光沢紙の厚さは $260g/m^2$ ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。

[*3] 127mm × 178mm

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20 枚入り
		BP71GLJ50（L 判）	50 枚入り
		BP71GLJ100（L 判）	100 枚入り
		BP71GLJ300（L 判）	300 枚入り
		BP71GLJ500（L 判）	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25 枚入り

- OHP フィルムは以下の推奨品をお使いください。
  住友スリーエム社製 OHP フィルム 型番：CG3410
- OHP フィルムやブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書ー印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。

確認

■ 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙、すでに印刷された記録紙（写真つきはがきを含む）

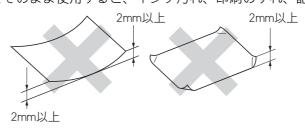
■ 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。

■ ラベル用紙は使用できません。誤って使用すると、正しく印刷されなかったり、ラベルが内部に付着し、故障の原因となることがあります。

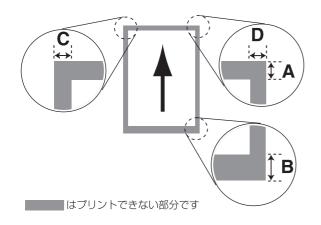
■ 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。

■ 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

- カールしている記録紙について
  特に、はがきや光沢紙（L 判、2L 判）はカールしている場合があるため、曲がりやそりを直して使用してください。
  カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

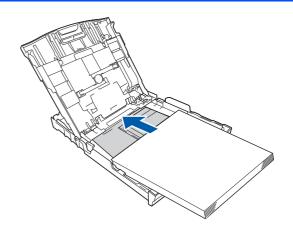
> 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を行っている場合、印刷できる範囲はお使いの OS やプリンタードライバーによって異なります。

（単位：mm）

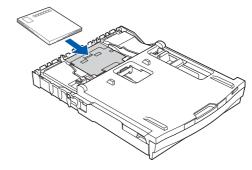
記録紙	A	B	C	D
普通紙 インクジェット紙 光沢紙 OHP フィルム ポストカード インデックスカード	3	3	3	3
封筒 （長形 3 号封筒、 長形 4 号封筒、 洋形 2 号封筒、 洋形 4 号封筒）	12	22	3	3
封筒 （COM-10、 DL 封筒）	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値（A、B、C、D）は、概算値です。また、この数値はお使いの記録紙やプリンタードライバーによっても変わることがあります。

トレイの種類

記録紙をセットするトレイは、「記録紙トレイ」と「スライドトレイ」の 2 種類があります。

記録紙トレイ

主に、A4、B5 などの記録紙、封筒などをセットします。
⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ

L 判光沢紙、はがき（普通紙）、はがき（インクジェット紙）、写真用光沢はがきをセットします。
⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」

最大排紙枚数について

厚さ 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙できます。
写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- 普通紙
- インクジェット紙
- OHP フィルム
- ポストカード
- インデックスカード
- 光沢紙（L 判以外）
- 封筒

はがきおよび L 判光沢紙は、スライドトレイにセットしてください。

⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」

確認

■ 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。

■ インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。

■ 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。

■ 封筒は、坪量 75g/m^2 ～ 95g/m^2 のものをお使いください。

■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。

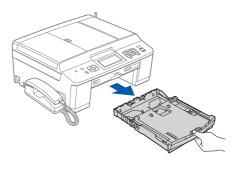
・窓付き封筒

・エンボス加工がされたもの

・留め金のついたもの

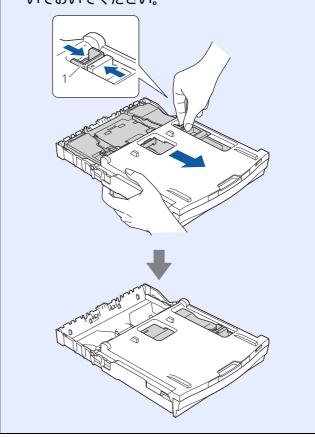
・内側に印刷がほどこされているもの

・ふたにのりが付いているもの

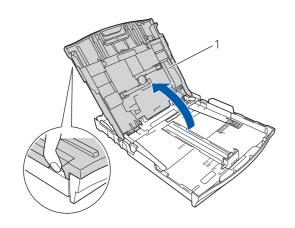
・二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）

❶ 記録紙トレイを引き出す

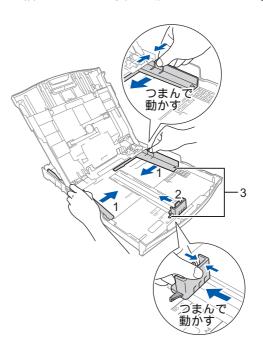
記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてから記録紙トレイを引き出してください。

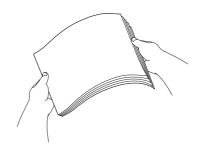
確認

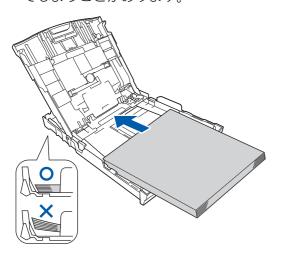
■ 記録紙トレイから印刷するときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。
リリースボタン（1）をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。

2 トレイカバー（1）を開く

⚠注意

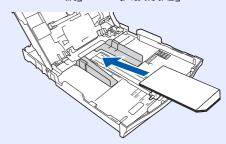
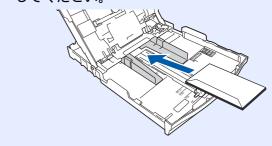
- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

3 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）の△の目印（3）を、記録紙サイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

4 記録紙をさばく

記録紙がカールしていないことを確認してください。
記録紙がカールしていると紙づまりの原因になります。

5 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

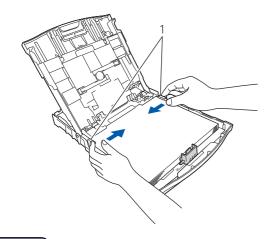
記録紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。

確認

- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

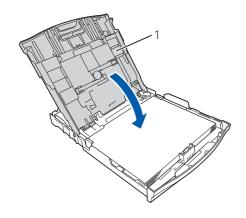
  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 縦長封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。
  また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーの［拡張機能］または［拡張設定］で［上下反転］に設定してください。
  - Windows® の場合
    ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」
  - Macintosh の場合
    ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張設定」

- 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。

6 幅のガイド（1）を、記録紙にぴったりと合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。

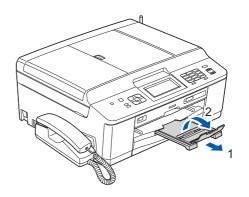
注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

確認

■ 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 トレイカバー（1）を閉める

8 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
力を入れて押し込まないでください。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）

確認

■ 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。

■ 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。

封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

スライドトレイにセットする

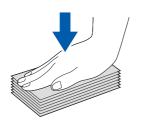
スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

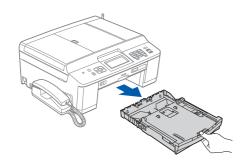
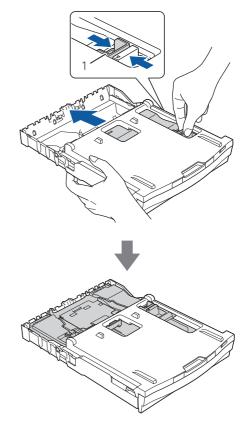
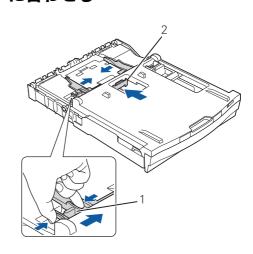
- はがき（普通紙）
- はがき（インクジェット紙）
- はがき（写真用光沢はがき）
- L 判光沢紙

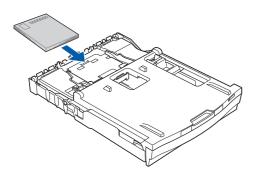
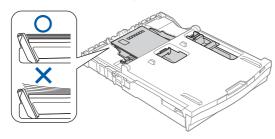
確認

■ はがき（普通紙）を自動で両面印刷する場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛て先面から先に印刷することをお勧めします。

■ はがき（インクジェット紙）、写真用光沢はがきを自動両面印刷することはできません。宛て先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛て先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。

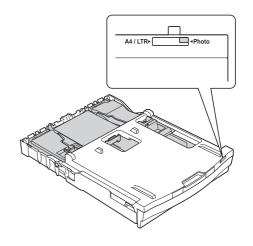
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする

記録紙がそっているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、そりを直します。

2 記録紙トレイを引き出す

3 リリースボタン（1）をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす

4 幅のガイド（1）と長さのガイド（2）を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

5 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。

記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。

確認

- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。

  ※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

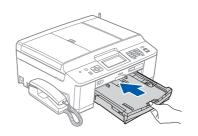
スイッチが Photo 側になっていることを確認します。

本体に記録紙トレイをセットした状態で、スライドトレイの位置を確認できます。

A4/LTR 側：記録紙トレイから給紙

Photo 側：スライドトレイから給紙

6 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

力を入れて押し込まないでください。トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。

記録紙の種類を設定する

【記録紙タイプ】

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

- コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
  ⇒ 116 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする(設定変更の操作例)」
  ⇒ 126 ページ「L 判、はがきに写真をプリントする(設定変更の操作例)」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Windows® 編」−「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Macintosh 編」−「印刷の設定を変更する」

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【記録紙タイプ】を順に押す

記録紙タイプ設定画面が表示されます。

2 記録紙タイプを選ぶ

【普通紙/インクジェット紙/ブラザー BP71 光沢/ブラザー BP61 光沢/その他光沢/OHP フィルム】から選びます。

- ブラザー BP71、BP61 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
- カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

設定が有効になります。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

記録紙のサイズを設定する

【記録紙サイズ】

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

- コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
  ⇒ 116 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする(設定変更の操作例)」
  ⇒ 126 ページ「L 判、はがきに写真をプリントする(設定変更の操作例)」
- パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Windows® 編」−「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
  「Macintosh 編」−「印刷の設定を変更する」

1 画面上の【メニュー】、【基本設定】、【記録紙サイズ】を順に押す

記録紙サイズ設定画面が表示されます。

2 記録紙サイズを選ぶ

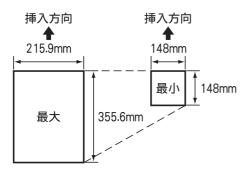
【A4 / A5 / B5 /ハガキ/ 2L 判/ L 判】から選びます。

設定が有効になります。

3 停止/終了 を押して設定を終了する

原稿のセット

ADF にセットできる原稿

ADF にセットできる原稿サイズは下記のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。

厚さ：0.08mm ～ 0.12mm
坪量：64g/m^2 ～ 90g/m^2

ADFに原稿をセットする場合の注意事項

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜて ADF にセットしないでください。
- ADF に原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADF にセットしないでください。原稿台ガラスにセットしてください。

しわ、折り目のついた原稿

カールした原稿

折ってある原稿

クリップの付いた原稿

ホチキスでとじてある原稿

破れた原稿

とじ穴のある原稿

付箋など接着面のある原稿

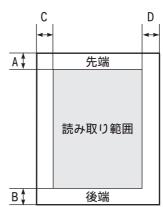
トレーシングペーパーのような半透明な原稿

セロハンテープなどでつなぎ合わせてある原稿

カーボン紙、ノーカーボン紙、裏カーボン紙の原稿

その他特殊な原稿

原稿の読み取り範囲

ADF または原稿台ガラスに、原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。

（単位：mm）

機能	A	B	C	D
ファクス	3		原稿台ガラス：3 ADF：1	
コピー	3		3	
スキャン	3		3	

原稿をセットする

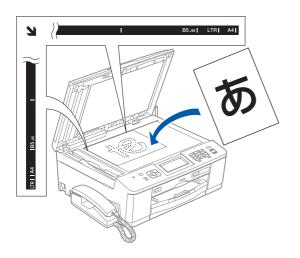
原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

確認

■ インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを持ち上げる

2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする

3 原稿台カバーを閉じる

本などの厚みのある原稿のときは、上から軽く押さえてください。

確認

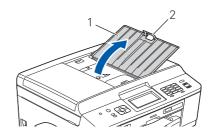
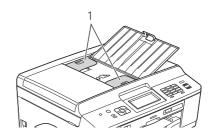
■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

■ 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF に原稿をセットする

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときは、ADF に原稿をセットすると便利です。

1 ADF 原稿トレイ（1）と ADF 原稿ストッパー（2）を開く

A4 サイズ以上の原稿をセットする場合は、ADF 原稿ストッパー (2) を開かないでください。

2 ADF ガイド（1）を原稿の幅に合わせる

3 原稿をさばく

4 原稿をそろえ、読み取りたい面を下にして、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

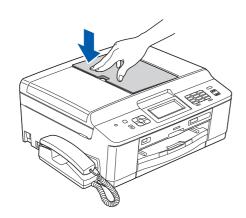
一度に 15 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み取られます。

複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上に上向きで排出されます。

確認

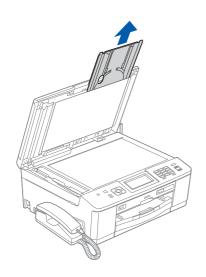
■ ADF ガイドで左右から原稿を強くはさみつけないでください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み取りができなくなることがあります。

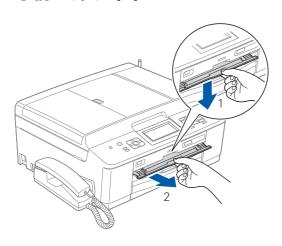
5 ADF を使い終わったら、ADF 原稿ストッパー、ADF 原稿トレイを閉じる

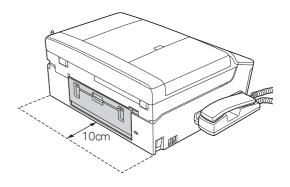
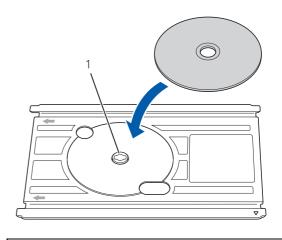
ADF 原稿トレイの左上部分を押して、確実に閉じてください。

記録ディスクをセットする

ここでは記録ディスクのセット方法について説明します。印刷方法については、⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「レーベルプリント」をご覧ください。

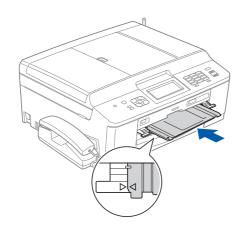
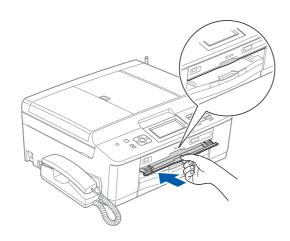
レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm サイズの CD/DVD/BD です。

1 原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを引き出す

2 原稿台カバーを閉じる

3 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引く（2）

4 本製品の背面に 10cm 以上のスペースが空いていることを確認する

印刷時は、ディスクトレイがいったん後ろに突き出るため、本製品の背面にスペースが必要です。

5 記録ディスクの穴を、ディスクトレイの爪（1）にしっかりはめる

記録ディスクは、印刷面を上にして置いてください。

記録ディスクを置く際は、トレイ上に何も無いことを確認してください。

6 ディスクトレイをディスクガイドに挿入し、△印の位置に合わせる

7 印刷が終わったらディスクトレイを取り出し、ディスクガイドを閉じる

8 原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納スペースに収納する

確認

- 印刷位置がずれてディスクトレイ上に印刷された場合や、記録ディスク内側の透明部分に印刷された場合はすぐに拭き取ってください。
- ディスクトレイは、印刷が終了したら必ず原稿台カバーに収納してください。ディスクトレイが反ったり変形したりすると動作不良の原因になる恐れがあります。

電話

基本

電話をかける / 受ける 64
電話をかける 64
親機の場合 64
子機の場合 64
電話を受ける 64
親機の場合 64
子機の場合 64
電話帳からかける 65
通話を保留にする 65
親機の場合 65
子機の場合 65
通話を録音する（親機のみ） 66
いろいろな電話のかけかた 67

通話のときは 69

電話を取り次ぐ 70
親機から子機へ電話を取り次ぐ 70
子機から親機へ電話を取り次ぐ 70
子機から子機へ電話を取り次ぐ 71
用件を伝えずに電話を取り次ぐ 71
親機から子機へ 71
子機から親機へ 71

内線通話をする 72
親機から子機へかける 72
子機から親機へかける 72
子機から子機へかける 73
3 人で同時に話す 73
親機から子機を呼び出してトリプル通話をする 73
子機から親機を呼び出してトリプル通話をする 74
子機 1 から子機 2 を呼び出してトリプル通話をする 74

迷惑電話を拒否する 75
通話前に迷惑電話を拒否する 75
通話中の迷惑電話を拒否する 75
親機の場合 75
子機の場合 75

オプションサービス

キャッチホンサービスを利用する 76
キャッチホンで電話を受けた場合 76
キャッチホンでファクスを受けた場合 76

下記の機能については・・・
■ ナンバー・ディスプレイ / ネーム・ディスプレイ / キャッチホン・ディスプレイ

電話をかける / 受ける

基本

親機や子機で電話をかけたり受けたりできます。

電話をかける

親機の場合

1 受話器をとる

ファクスモードに切り替わります。

2 0 ～ 9 で相手の電話番号を押す

通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

1 充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、
外線 を押します。

2 0ワ ～ 9ラWXYZ で相手の電話番号を押す

通話が終わったら子機を充電器に戻します。
切 を押しても通話が終了します。

電話を受ける

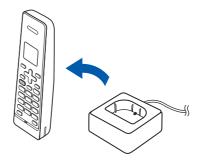
親機の場合

1 電話がかかってきたら、受話器をとって受ける

通話が終わったら受話器を戻します。

子機の場合

1 電話がかかってきたら、充電器から子機をとる

子機を充電器に置いていないときは、
外線 を押します。

通話が終わったら子機を充電器に戻します。
切 を押しても通話が終了します。

電話帳からかける

［電話帳 / 短縮（親機）］

親機の電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。
⇒ 98 ページ「親機の電話帳を利用する」

1 待ち受け画面の【電話帳】を押す

2 電話をかける相手を選ぶ

目的の相手先が表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 受話器をとり、【電話をかける】を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

> *01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。*01 あ のときは五十音順に、*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

子機の電話帳からかける
(1) 充電器から子機をとる
(2) ［ボタン］を押す
(3) ［ボタン］で電話をかける相手を選ぶ
(4) 外線 を押す

通話を保留にする

親機の場合

1 通話中に ♪保留/子機 を押す

保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

2 受話器を受話器台に戻す

3 通話に戻るときは、受話器をとる

子機の場合

1 通話中に 内線 保留 を押す

保留メロディが流れます。（相手にこちらの声が聞こえなくなります。）

2 通話に戻るときは、内線 保留 を押す

通話を録音する（親機のみ）

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。

- 180 秒まで録音できます。180 秒を過ぎると、録音は終了します。
- 録音した内容は、留守録メモリーに記憶されます。再生する場合は、受話器を置いて、待ち受け画面の【留守録再生】を押します。

1 通話中に【録音】を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、停止/終了 を押す

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

親機の場合

(1) 受話器をとる

(2) 再ダイヤル/履歴 を押す

子機の場合

(1) 充電器から子機をとる

(2) 発信履歴 を押す

最近かけた相手にかける（発信履歴）

親機の場合

(1) 受話器をとる

(2) 【履歴】を押す

(3) 相手先を選ぶ
目的の相手先が表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

(4) 【電話をかける】を押す

子機の場合

(1) 充電器から子機をとる

(2) 切 を押す

(3) 外線 が消灯していることを確認し、
発信履歴 を押す

(4) で相手先を選ぶ

(5) 外線 を押す

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合のみ、使用できます。

親機の場合

(1) 受話器をとる

(2) 【履歴】を押す

(3) 【着信履歴】を押す

(4) 相手先を選ぶ
目的の相手先が表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

(5) 【電話をかける】を押す

子機の場合

(1) 充電器から子機をとる

(2) 切 を押す

(3) 外線 が消灯していることを確認し、
キャッチ 着信履歴 を押す

(4) で相手先を選ぶ

(5) 外線 を押す

受話器を置いたままかける

親機の場合

(1) オンフックを押し、相手先の電話番号を押す

(2) 相手が出たら、受話器をとる

※途中で操作をやめるときやかけ直すときは、もう一度オンフックを押します。

子機の場合

(1) スピーカーホン を押す

(2) 相手先の電話番号を押す

(3) 相手が出たら、マイクに向かって話す

※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器からとって話してください。

通話のときは

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える（子機のみ）

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) 通話中に スピーカーホン を押す

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) スピーカーホン通話をやめるときは、スピーカーホン を押す

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。
ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1) 受話器をとり、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

(2) ダイヤル回線の場合は、＊（子機の場合は ＊記号1 トーン）を押す

(3) サービスの指示に従って操作パネルまたは子機のダイヤルボタンを押す

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を調節する（子機のみ）

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) 通話中に クリア/音質 を押す

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2) クリア/音質 を押して音質を調整する

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する（子機のみ）

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) 通話中に クリア/音質 を約 2 秒押す

◆「ナイショ：ON」と表示されます。

※設定を解除するには、もう一度 クリア/音質 を約 2 秒押します。
※スピーカーホン通話中は、内緒話モードを設定しても内緒話モードに切り替わりません。

電話を取り次ぐ

親機から子機へ電話を取り次ぐ

親機で受けた電話を子機に取り次ぎます。

1 通話中に ♪保留/子機 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 取り次ぐ子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

呼び出している子機が出ないときなど、保留している相手ともう一度話すときは ♪保留/子機 を押します。

3 子機を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線保留 または 外線 を押します。

4 子機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、受話器を置く

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機の内線番号について

子機の内線番号は、以下のように設定されています。

機種＼通話先	子機 1	子機 2	増設子機 2	増設子機 3	増設子機 4
MFC-J955DN	1	—	2	3	4
MFC-J955DWN	1	2	—	3	4

子機から親機へ電話を取り次ぐ

子機で受けた電話を親機に取り次ぎます。

1 通話中に 内線保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥で「オヤキ」を選び、機能確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

親機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは 内線保留 を押します。

3 親機の受話器をとる

4 親機の相手に電話を取り次ぐことを伝えて 切 を押す

親機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から子機へ電話を取り次ぐ

子機を 2 台以上使用しているとき、子機でとった電話を別の子機に取り次ぐことができます。ここでは「子機 1 で受け、子機 2 へ取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 通話中に 内線/保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 ✥ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

呼び出している子機 2 が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、内線/保留 を押します。

3 子機 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

4 子機 2 の相手に電話を取り次ぐことを伝えて、切 を押す

子機2と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

電話を簡単に取り次ぐことができます。

親機から子機へ

1 通話中に ♪保留/子機 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 親機の受話器を置く

3 充電器から子機をとる

充電器に置いていないときは 外線 を押します。

子機と外線の相手が通話できるようになります。

子機から親機へ

1 通話中に 内線/保留 を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 子機を充電器に戻す

3 親機の受話器をとり、♪保留/子機 を押す

親機と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

親機から子機へ、子機から親機へ、子機から子機へ内線電話をかけることができます。

親機から子機へかける

1 受話器をとって、♪保留/子機 を押す

2 通話したい子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 子機を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

親機と子機で通話できます。

子機から親機へかける

1 子機を充電器からとり、切 を押してから 内線/保留 を押す

2 で「オヤキ」を選び、機能/確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 親機の受話器をとる

親機と子機で通話できます。

内線通話中に外線がかかってきたときは、内線通話状態のまま親機の着信音が鳴ります。親機の受話器を戻して、もう一度受話器をとると外線と電話がつながります。

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。
外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。
⇒ 71 ページ「子機から子機へ電話を取り次ぐ」
ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線をかける場合」を例に説明します。

1 子機を充電器からとり、切 を押してから 内線/保留 を押す

2 ✚ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

子機 1 と子機 2 で通話できます。

電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3 人で同時に話す

親機と子機と外線の相手、または子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。

確認

- 外線の相手2人と同時に通話することはできません。
- いったんトリプル通話をすると、そのあと保留にはできません。
- トリプル通話から二者通話に戻す場合は、親機の受話器を受話器台に戻すか、子機の 切 を押してください。

親機から子機を呼び出してトリプル通話をする

1 親機で外線通話中に ♪保留/子機 を押す

通話が保留になります。

2 通話したい子機の内線番号を押す

子機が 1 台の場合は、1 を押します。

子機の内線呼出音が鳴ります。

3 子機を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

4 子機の相手に 3 人で話すことを伝えて、♪保留/子機 を押す

トリプル通話が始まります。

子機から親機を呼び出してトリプル通話をする

1 子機で外線通話中に 内線/保留 を押す

通話が保留になります。

2 ✥ で「オヤキ」を選び、機能/確定 を押す

親機の内線呼出音が鳴ります。

3 親機の受話器をとる

4 親機の相手に３人で話すことを伝えて、内線/保留 を押す

トリプル通話が始まります。

子機１から子機２を呼び出してトリプル通話をする

1 子機 1 で外線通話中に 内線/保留 を押す

通話が保留になります。

2 ✥ で「コキ 2」を選び、機能/確定 を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 2 を充電器からとる

充電器から外しているときは、内線/保留 または 外線 を押します。

4 子機２の相手に３人で話すことを伝えて、内線/保留 を押す

トリプル通話が始まります。

迷惑電話を拒否する

かかってきた電話が迷惑電話だったときに、拒否メッセージを再生し、回線を切断します。

通話前に迷惑電話を拒否する

1 **かかってきた電話が迷惑電話の場合、おことわり を押す**

【おことわりしますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

2 **【はい】を押す**

メッセージが流れ、電話が切れます。

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

通話中の迷惑電話を拒否する

親機の場合

1 **通話中の電話が迷惑電話の場合、おことわり を押す**

【おことわりしますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

2 **【はい】を押す**

メッセージが流れ、電話が切れます。

【はい】を押すと、「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 **受話器を受話器台に戻す**

子機の場合

1 **通話中の電話が迷惑電話の場合、機能 確定 を長押しする**

メッセージが流れ、電話が切れます。

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

2 **子機を充電器に戻す**

子機からは通話中のみ迷惑電話を拒否できます。

キャッチホンサービスを利用する オプションサービス

本製品では、電話会社（NTT など）との契約によって「キャッチホンサービス」をご利用いただくことができます。

キャッチホン／キャッチホン II は、外線通話中に別の電話やファクスを受けられる、電話会社のサービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

確認

- 「キャッチホン／キャッチホン II」を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。（有料）
- ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、【キャッチ】を押す（子機の場合は キャッチ/着信履歴 を押す）

こちらから電話をかけた場合は、【▶】で画面をスクロールさせ【キャッチ】を押します。

先の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、再度【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押す

最初の相手に戻ります。

【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押すたびに、通話の相手が切り替わります。

キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、【キャッチ】を押す（子機の場合は キャッチ/着信履歴 を押す）

こちらから電話をかけた場合は、【▶】で画面をスクロールさせ【キャッチ】を押します。

「ピー、ピー」という音が聞こえます。
先の相手との通話は保留になります。

2 再度【キャッチ】（キャッチ/着信履歴）を押して、いったん最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 **最初の相手との通話を手短に終えて、もう一度【キャッチ】（キャッチ 着信履歴）を押す**

キャッチの相手（ファクス）につながります。

確認

■ 最初の相手との回線がつながったままでは、ファクスを受信できません。ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短に話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

4 **親機の（モノクロスタート）または（スタートカラー）を押し、【受信】を押す**

5 **画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す**

ファクス

基本

ファクスを送る 80
ADF からファクスを送る 80
原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき） 81
原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき） 82
設定を変えてファクスするには 83
画質や濃度を変更する 83
電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る 85
複数の相手先に同じ原稿を送る 86

ファクスを受ける 88
自動的に受ける 88
電話に出てから受ける 88
電話に出ると自動的に受ける（親切受信） 89
親切受信でファクスを受ける 89
親切受信を設定する 89

ファクスの見かた 90
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する 90
すべてのファクスを印刷する 91
すべてのファクスを消去する 91
ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する） 92
みるだけ受信を設定する 92

ファクスの便利な受けかた 94
ファクスをメモリーで受信する 94
メモリー受信したファクスを印刷する 94
ファクスメッセージをメモリーから消去する 95

通信管理

通信状態を確かめる 96
送信待ちファクスを確認・解除する 96

下記の機能については・・・

- **発信・着信履歴からの送信 / 手動送信 / みてから送信 / タイマー送信 / とりまとめ送信 / リアルタイム送信 / ポーリング送信**
- **海外送信モード**
- **自動縮小受信 / リモート受信 / ポーリング受信**
- **ファクス転送**
- **PC ファクス受信**

ファクスを送る

基本

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質を変更することもできます。

確認

- 相手先のファクシミリがモノクロの場合は、カラーで送ってもモノクロで受信されます。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。
- ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くかかります。
- ファクスをカラーで送ると、メモリーに読み込まれずに送信されます。そのため、メモリーを使った送信（同報送信、タイマー送信、とりまとめ送信、ポーリング送信、デュアルアクセス）をすることができません。

ADF からファクスを送る

[自動送信]

本製品には、複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる ADF（自動原稿送り装置）が搭載されています。複数枚の原稿を送るときは、ADF に原稿をセットしてファクスを送ります。

1 ADF に原稿をセットする

⇒ 58 ページ「ADF にセットできる原稿」
⇒ 59 ページ「ADF に原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル/履歴 を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは スタート カラー を押す

モノクロ スタート を押した場合：
原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、ファクスが送られます。
スタート カラー を押した場合：
相手につながってから原稿の読み取りが開始されます。

送信する前にファクスをキャンセルするには

ダイヤル中または送信中に、停止 / 終了 を押してください。
※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ？／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスをキャンセルするには

ファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは 5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は次のように行います。
モノクロ送信の場合は、ファクスデータはメモリーに蓄積されます。【メニュー】から【ファクス / 電話】を選び、【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。(96 ページ) 再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。
カラー送信の場合は、画面に【再ダイヤル待機中】と表示されます。【×】を押してメッセージを閉じると再ダイヤルが中止されます。この場合、通信レポートは印刷されません。
※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「相手先の受信音を確認してから送る」）の場合は、自動で再ダイヤルしません。
※【ファクス自動再ダイヤル】が【オフ】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ファクス自動再ダイヤル有無を設定する」

原稿台ガラスからファクスを送る（1 枚のとき）

［自動送信］

1 枚のファクスを送ります。

1 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

確認

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

オンフック は押さないでください。

再ダイヤル/履歴 を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは スタート カラー を押す

- モノクロ スタート を押した場合：
  原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わり、【次の原稿はありますか ? ／はい ／いいえ 】と表示されたら、【いいえ】または モノクロ スタート を押してください。
- スタート カラー を押した場合：
  【カラーファクスを 1 枚のみ送信します 複数枚送信のときは [いいえ] を選びモノクロスタートを押してください／はい（カラー送信）／いいえ】と表示されたら、【はい（カラー送信）】を押してください。

原稿の送信が開始されます。

送信する前にファクスをキャンセルするには

ダイヤル中または送信中に、停止 / 終了 を押してください。

※モノクロ送信の場合は、【停止しますか ? ／はい／いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスをキャンセルするには

モノクロでファクスを送る場合、相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5 分おきに 3 回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、【メニュー】から【ファクス / 電話】を選び、【通信待ち一覧】を選んでキャンセルします。(96 ページ)

再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。

※手動送信（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「相手先の受信音を確認してから送る」）や、カラー送信の場合は、自動で再ダイヤルしません。

※【ファクス自動再ダイヤル】が【オフ】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ファクス自動再ダイヤル有無を設定する」

原稿台ガラスからファクスを送る（2 枚以上のとき）

［自動送信］

モノクロでファクスを送る場合に限り、原稿台ガラスからも複数枚の原稿を送ることができます。この場合は、すべての原稿をメモリーに蓄積してから送信します。ADF が使用できない原稿を送る場合に使用します。（⇒ 58 ページ「ADF に原稿をセットする場合の注意事項」）

確認

■ リアルタイム送信を【する】にしている場合は、原稿台ガラスから複数枚のファクスを送ることができません。原稿台ガラスから複数枚のファクスを送る場合は、リアルタイム送信を【しない】にしてください。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「原稿をすぐに送る」

■ カラーで複数枚送信する場合は、ADF を使用してください。
⇒ 80 ページ「ADF からファクスを送る」

1）1 枚目の原稿を読み込む

1 1 枚目の原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

確認

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

2 ファクス を押す

3 ダイヤルボタンで相手のファクス番号をダイヤルする

- オンフック は押さないでください。
- 再ダイヤル/履歴 を押すと、最後にダイヤルした相手にダイヤルできます。

4 モノクロスタート を押す

1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

【次の原稿をセットして／スタートキーを押してください】と表示されます。

2）2 枚目の原稿を読み込む

6 原稿台に 2 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート を押す

2 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 3 枚目の原稿がある場合 ⇒手順 7 へ
- これで送信する場合 ⇒手順 8 へ

3）3 枚目の原稿を読み込む

7 【はい】を押し、3 枚目の原稿をセットして、モノクロスタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 5、6 を繰り返します。

8 最後の原稿を読み取ったら、【いいえ】または モノクロスタート を押す

ファクスが送られます。

送信・印刷中の次の原稿の読み取り（デュアルアクセス）について

本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。これを「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号が表示されます。
※カラーファクスの場合は、デュアルアクセス機能は無効になります。

設定を変えてファクスするには

ファクス を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。

例：原稿濃度

【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ【原稿濃度】を押す

設定を選ぶ

画質や濃度を変更する

【ファクス画質 / 原稿濃度】

ファクス を押して表示されるメニューから、ファクスを送るときの設定を変えることができます。ここで変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。
⇒ 84 ページ「変更した設定を保持する」

1 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【ファクス画質】または【原稿濃度】を選ぶ

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

4 設定を選ぶ

画質は以下から選びます。

- 【標準】：
  お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】：
  原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】：
  原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】：
  原稿に写真が含まれているときに選びます。

濃度は以下から選びます。

- 【自動】：
  読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】：
  原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】：
  原稿が濃いときに選びます。

5 相手のファクス番号をダイヤルして、モノクロで送るときは モノクロスタート を、カラーで送るときは カラースタート を押す

画質と濃度を変更して、ファクスが送られます。

- ファイン、スーパーファイン、写真モードで送ると、標準に比べて送信時間がかかります。
- 写真モードで送っても、相手のファクシミリが標準モードで受け取ると、画質が劣化します。
- 原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなることがあります。
- カラーファクスを送信するときや、ファクス画質で【写真】を選択したときは、原稿濃度は【自動】で送信されます。
- カラーファクスを送信するときは、画質を【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【ファイン】で送信されます。

変更した設定を保持する

(1) ファクス を押す

(2) **表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する**

保持できる設定項目は以下のとおりです。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- みてから送信
- リアルタイム送信

みてから送信、リアルタイム送信を設定する場合は、【便利なファクス設定】を押し、【みてから送信】または【リアルタイム送信】を選びます。

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

(3) **【設定を保持する】を押す**

◆【設定を保持しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(4) **【はい】を押す**

◆変更した設定内容が初期値になります。

※お買い上げ時の状態に戻すには、手順 (1) のあと、手順 (3) に進み【◀】/【▶】で画面をスクロールさせ【設定をリセットする】を選びます。

電話帳・短縮ダイヤルを使ってファクスを送る

【電話帳 / 短縮】

あらかじめ電話帳に短縮ダイヤルなどを登録しておくと、簡単な操作でダイヤルできます。

1 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 【電話帳 / 短縮】を押す

4 ファクスを送る相手を選ぶ

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で画面をスクロールさせます。

5 【ファクス送信】を押す

6 モノクロで送るときは モノクロ スタート を、カラーで送るときは スタート カラー を押す

ファクスが送られます。

*01 あ を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。*01 あ のときは五十音順に、*01 あ のときは短縮番号順に並べ替えられます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

［同報送信］

1 回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、ダイヤルボタン・電話帳 / 短縮ダイヤル・グループダイヤルから、合わせて最大 250 箇所まで指定できます。

確認

■ 同報送信のときは、モノクロで送信されます。（カラーでの送信はできません。）

1 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿をセットする」

2 ファクス を押す

3 画面上の【便利なファクス設定】、【同報送信】を順に押す

キーが表示されていないときは、
【◀】/【▶】または【▼】/【▲】で、
画面をスクロールさせます。

4 【番号追加】または【電話帳検索】を選ぶ

5 【番号追加】を選んだ場合は、画面に表示されているテンキーで、相手先のファクス番号をダイヤルして、【OK】を押す

【電話帳検索】を選んだ場合は、リストから相手先を選び【OK】を押す

グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「グループダイヤルを登録する」

[*01 | あ] を押すと、電話帳を短縮番号順または五十音順に並べ替えることができます。
[*01 | あ] のときは五十音順に、
[*01 | あ] のときは短縮番号順に並べ替えられます。

【番号追加】を選んだ場合⇒手順 6 へ
【電話帳検索】を選んだ場合⇒手順 7 へ

6 手順 4、5 を繰り返し、2 件目以降の相手先を選ぶ

7 すべての相手先を選び終わったら、【OK】を押す

8 モノクロ スタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが開始され、ファクスが送られます。原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、画面に【次の原稿はありますか？／はい／いいえ】と表示されます。
送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 10 へ
送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして モノクロ スタート を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、この手順を繰り返します。

10 【いいえ】または モノクロ スタート を押す

指定した相手先にファクスが送られます。すべての相手先に送り終わると、自動的に「同報送信レポート」が印刷されます。

送るのをやめるときは

(1) 停止/終了 を押す

◆【同報送信をキャンセルします　現在のあて先のみか　全ての送信先かを選択してください／XXX（現在の番号または電話帳に登録してある名前）／全ての同報送信】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブをキャンセルする場合は、番号（または名前）が表示されているボタンを押します。

※キャンセルを中止する場合は、停止/終了 を押します。

(3) 【はい】を押す

すべての同報送信をキャンセルした場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブをキャンセルした場合は、次の番号のダイヤルが始まり、画面に番号（または名前）が表示されます。続けてキャンセルする場合は（1）～（3）を繰り返します。

※キャンセルを中止する場合は、【いいえ】または 停止/終了 を押します。

- 同報送信レポートでは、指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できます。エラーなどで送ることのできなかった相手先がある場合は、個別に送り直してください。
- 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。
- 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- 原稿読み込み中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら、停止/終了 を押して送信を中止するか、モノクロスタート を押して読み込まれた分だけ送ります。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付　録

ファクスを受ける

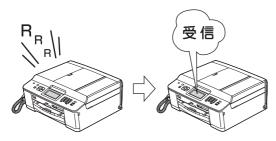
本製品では、以下の方法でファクスを受けることができます。
また、電話・ファクスの受け方を用途に合わせて設定することができます。
⇒ 39 ページ「電話・ファクスの受けかたを変更する」

確認

■ カラーインクのいずれかが残り少なくなり、画面に【まもなくインク切れ】と表示されると、カラーファクスはモノクロで印刷されます。カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。
⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」

自動的に受ける

［自動受信］

設定した回数の着信音が鳴り終わると、本製品が自動的にメモリーに受信します。受信したファクスは、画面または記録紙のいずれかで確認できます。お買い上げ時は、「みるだけ受信」が設定されているため、画面で確認します。

確認

■ 着信音を鳴らさずにファクスを受信したい場合は、「ファクス無鳴動受信」を設定してください。
⇒ 42 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない」

■ 在宅モードで呼出回数を【無制限】に設定しているときは自動的に受信しません。
⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」

電話に出てから受ける

［手動受信］

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、電話に出る

2 「ポーポー」と音がしていたら、親機の ファクス を押してファクスモードにしてから、モノクロスタート または スタートカラー を押す

相手と通話したあとにファクスを受信するには、相手へファクスに切り替えることを伝えて モノクロスタート または スタートカラー を押します。

【ファクスしますか ？ ／送信／受信】と表示されます。

【ファクスしますか ?】のメッセージが表示されないときは、停止／終了 を押して、

モノクロスタート または スタートカラー を押してください。

3 【受信】を押す

ファクスを受信します。

4 親機の画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

親切受信（⇒ 89 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」）が設定されている場合は、電話に出て約 7 秒待つと、自動的にファクスを受信します。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

［親切受信］

親切受信が設定されている場合（お買い上げ時の設定）、電話に出たときにファクスであれば、受話器または子機を持ったまま約 7 秒待つと自動的にファクスを受信できます。

親切受信でファクスを受ける

1 着信音が鳴ったら、電話に出る

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 そのまま 7 秒待つ

約 7 秒後に、自動的にファクスを受信します。

3 親機の画面に【受信中】と表示されたら、受話器を戻す

確認

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。

- ファクスの受信が始まったら受話器または子機を置いてください。
- 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。
⇒ 88 ページ「電話に出てから受ける」
- 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。
⇒ 88 ページ「電話に出てから受ける」
- 親切受信は、電話に出たあと、約 40 秒間有効です。40 秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、電話に出たまま手動で受信してください。
⇒ 88 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【する】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【親切受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】を押す

設定は【する／しない】から選びます。

- 【する】：
親切受信をする
- 【しない】：
親切受信をしない

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する

[みるだけ受信]

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。お買い上げ時は、みるだけ受信が設定されています。受信したファクスを自動的に印刷したいときは、みるだけ受信を解除してください。（⇒ 92 ページ）

確認

- 【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。
- 【みるだけ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。

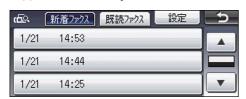
1 【新着ファクス：XX】が表示されたら、【ファクス確認】を押す

現在メモリーに保存されているファクスの件数は、【ファクス確認】の右に表示されています。

新着ファクスの一覧が表示されます。

新着ファクスがないときは、既読ファクスの一覧が表示されます。

2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。
既読ファクスを見るには、【既読ファクス】を押してください。

ファクスの内容が表示されます。

表示されたファクスは、既読ファクスの一覧に移動します。

3 下表を参考にして操作を行う

ボタン	操作内容
（戻るボタン）	リスト画面に戻ります。
【▼】/【▲】	縦方向にスクロールします。
【◀】/【▶】	横方向にスクロールします。
（拡大）/（縮小）	拡大 / 縮小表示します。
（前ページ）/（次ページ）	前のページ/次のページを表示します。
（回転）	90°ずつ右回転します。
（ごみ箱）	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 91 ページ「ファクスをメモリーから消去する」
（印刷）	ファクスを印刷します。 ⇒ 91 ページ「ファクスを印刷する」
【×】	プレビュー画面のメニューバーを閉じます。
【設定】	プレビュー画面でメニューバーを表示します。

受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。

メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

ファクスを印刷する

(1) **印刷したいファクスが画面に表示された状態で [印刷] を押す**

◆見ているファクスが 1 ページだけであればすぐに印刷されます。(3)に進んでください。

◆見ているファクスが複数ページあるときは、(2) に進んでください。

(2) **次のいずれかを行って、ファクスを印刷する**

◆すべてのページを印刷する場合は、【すべてのページをプリント】を押して、(3) に進みます。

◆見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、(4) に進みます。

◆見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、(4) に進みます。

(3) **ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す**

(4) **停止 / 終了 を押す**

ファクスをメモリーから消去する

(1) **消去したいファクスが画面に表示された状態で、[消去] を押す**

◆【すべてのページを消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) **【はい】を押す**

◆ファクスのデータが消去されます。

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

1 待ち受け画面の【ファクス確認】を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【設定】を押す

3 【すべてプリント】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて印刷されます。

4 停止 / 終了 を押す

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。

1 待ち受け画面の【ファクス確認】を押す

新着ファクスまたは既読ファクスの一覧が表示されます。

2 【設定】を押す

3 【すべて消去】を押す

【消去しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。

5 停止 / 終了 を押す

ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する/設定する）

[みるだけ受信]

【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】に設定すると、みるだけ受信が解除され、以降受信するファクスは自動的に印刷されます。

確認

- みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたいデータがある場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。
  ⇒ 91 ページ「ファクスを印刷する」
  ⇒ 91 ページ「すべてのファクスを印刷する」
- 【みるだけ受信】と【ファクス転送】を同時に設定している場合は、本製品にファクスの受信データは残らず、転送先に送信されます。また、【ファクス転送】で【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 待ち受け画面の【ファクス確認】を押す

2 【設定】を押す

3 【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】を押す

【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除をキャンセルします。

4 【はい】を押す

メモリー内にファクスデータがない場合：操作は終了です。

メモリー内にファクスデータがある場合：【みるだけ受信をしないにすると受信ファクスが消去されます／消去する／全て印刷してから消去／キャンセル】と表示されます。

5 【消去する】または【全て印刷してから消去】を押す

【消去する】を押すと、【全てのファクスを消去します。よろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 6 へ

【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。

6 【はい】を押す

みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると本製品で自動的に印刷します。

みるだけ受信を設定する

「みるだけ受信」をお買い上げ時と同じ設定に戻すときの操作です。

1 待ち受け画面の【みるだけ受信】を押す

【みるだけ受信を［する（画面で確認）］にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 メッセージを確認して、【はい】を押す

【受信したファクスはメモリに保存され画面で確認できます　印刷はされませんがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 メッセージを確認して、【はい】を押す

みるだけ受信が設定されます。

4 停止／終了 を押して設定を終了する

受信したファクスが印刷できないときは（メモリー代行受信）

【みるだけ受信をしない（受信したら印刷）】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合は、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
- インクがなくなったとき
- 記録紙が詰まったとき
- 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき

画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。

※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。

※メモリー代行受信できるのは約 400 枚です。

ファクスの便利な受けかた

ファクスをメモリーで受信する

[メモリー受信]

メモリー受信を設定すると、みるだけ受信する / しないにかかわらず、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。
お買い上げ時は【オフ】に設定されています。

確認

■【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
■【メモリ保持のみ】は、【ファクス転送】【PC ファクス受信】と同時に設定できません。
■ 保存されたファクスデータは画面で確認できます。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【メモリ保持のみ】を押す

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

メモリー受信は最大 99 件で 400 ページまでできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。

メモリーに受信データが残っていて、みるだけ受信を設定していない場合は、手順 2 で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？ ／はい／いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

メモリー受信したファクスを印刷する

[ファクス出力]

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【ファクス出力】を順に押す

2 モノクロスタート または スタートカラー を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

ファクスメッセージをメモリーから消去する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス/電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【オフ】を押す

以下のメッセージが表示されます。

・【ファクス転送】、【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定しているときに、未転送のファクスがある場合：

【すべてのファクスをプリントしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

・上記以外の設定にしている場合：

【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去されます。

メモリー受信の設定が解除されます。

4 停止/終了 を押して設定を終了する

通信状態を確かめる

通信管理

送信待ちファクスを確認・解除する

[通信待ち一覧]

タイマー送信などで待機している通信を解除できます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【通信待ち一覧】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

保留されている通信の一覧が表示されます。
- 確認を終了するとき⇒手順 4 へ
- 送信を解除するとき⇒手順 2 へ

2 解除する設定を選び、【OK】を押す

【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を押す

送信待ちのファクスが解除されます。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

第 4 章

電話帳

電話帳

親機の電話帳を利用する 98
　電話帳に登録する 98
　親機の電話帳を子機へ転送する 100
　電話帳リストを印刷する 100

子機の電話帳を利用する 101
　電話帳に登録する 101

下記の機能については・・・
■ 発信・着信履歴から親機または子機の電話帳に登録する
■ ファクス送付先をグループ登録する（親機）
■ 子機の電話帳から親機に転送する
■ パソコンから電話帳に登録 / 編集する（リモートセットアップ）

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジカメプリント
こんなときは
付録

親機の電話帳を利用する

電話帳

よく電話をかける相手や緊急時の連絡先などを電話帳に登録します。
さらに、ナンバー・ディスプレイサービスをご利用の場合は、相手先に応じた着信音の鳴り分けや、着信拒否などを設定できます。(⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」)
また、複数の相手先をグループダイヤルに登録すると、ひとつのグループ番号を指定するだけで複数の相手先にファクスを送ることができます。

「リモートセットアップ」を使用して、パソコンから簡単に電話帳に登録することもできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「パソコンを使って電話帳に登録する」

電話帳に登録する

[電話帳登録]

相手先の電話(またはファクス)番号と名称を、2 桁の短縮番号 00 〜 99(最大 100 件× 2 番号)に登録します。

1 待ち受け画面の【電話帳】または、ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳 / 短縮】を押す

2 【設定】を押す

3 【電話帳登録】を押す

名前を入力する画面が表示されます。

4 画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す

名前は 10 文字まで入力できます。読みがなは、自動的に 16 文字まで入力されます。

⇒ 206 ページ「文字の入力方法」

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

5 画面に表示されているキーボードで読みがなを編集し、【OK】を押す

読みがなは、電話帳検索時、五十音順に並べ替えるときに使われます。
読みがなを編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

操作パネルのダイヤルボタンは使用できません。

6 画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す

電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。入力できる文字は、以下のとおりです。

- 数字 (0 〜 9)
- 記号 (＊、#)
- スペース
  【▶】を押す
- ポーズ (p)

※電話番号にハイフン、カッコは入力できません。

7 同様の手順で、2 つめとして登録したい番号を入力し、【OK】を押す

2 つめを登録しない場合は、そのまま【OK】を押します。

8 画面に表示されているテンキーで短縮番号を入力し、【OK】を押す

短縮番号を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

9 登録内容を確認し、【OK】を押す

短縮ダイヤルが電話帳に登録されます。

10 停止/終了 を押して登録を終了する

確認

■ 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すことになります。新しくファクス番号を登録したときは、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 100 ページ「電話帳リストを印刷する」

短縮ダイヤルを忘れてしまったときは、電話帳リストを印刷すると確認できます。
(⇒ 100 ページ「電話帳リストを印刷する」)

こんなときは～電話番号を登録するとき～

(A) 「186」または「184」を付ける場合
同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例)
○ 186 XXX XXX XXXX
(市外局番) (市内局番) (相手先番号)
× 186 XXX XXXX
(市内局番) (相手先番号)

(B) 構内交換機(PBX)で“0”発信の場合
“0”のあとにポーズ(約 3 秒の待ち時間)を入れてください。

(C) 国際電話の場合
国番号のあとにポーズ(約 3 秒の待ち時間)を入れてください。
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
- 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
(国際電話サービス会社指定の番号)
+010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号

※入力したポーズは「p」で表示されます。

電話帳から電話をかける

⇒ 65 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更するには

(1) 「電話帳に登録する」の手順 3 で、【変更】を押す
(2) 変更したい相手先を選ぶ
(3) 変更したい項目を選ぶ
(4) 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す
複数の項目を変更する場合は、手順 (3) (4) を繰り返します。
(5) 【OK】を押す
◆変更した内容が反映されます。
(6) 停止/終了 を押す

電話帳の内容を削除するには

(1) 「電話帳に登録する」の手順 3 で【消去】を押す
(2) 消去したい相手先を選び、【OK】を押す
【消去しますか ? /はい/いいえ】と表示されます。
(3) 【はい】を押す
◆選んだ番号が削除されます。
(4) 停止/終了 を押す

親機の電話帳を子機へ転送する

［子機に転送］

確認

■ 親機の電話帳を子機へ転送するときは、充電器に子機を置いた状態で操作してください。また、転送が終わるまでは、充電器から子機をとらないでください。

1 待ち受け画面の【電話帳】、または ファクス を押して表示されるファクスモード画面で【電話帳 / 短縮】を押す

2 【設定】を押す

3 【子機に転送】を押す

子機に転送する相手先を選ぶ画面が表示されます。
子機が複数ある場合は、子機を選択する画面が表示されます。操作パネルのダイヤルボタンの 1 ～ 4 を押して子機を選ぶと、相手先を選ぶ画面が表示されます。

4 子機に転送する相手先を選び、【OK】を押す

一度に転送できる相手先は 20 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。

【選択した電話帳を子機に転送します　転送中は電話が使えません　よろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。

5 【はい】を押す

電話帳が転送されます。
引き続き別の相手先を転送する場合は、手順 4、5 を繰り返してください。

6 停止 / 終了 を押す

- 相手先登録情報のうち、ヨミガナが子機の登録名として転送されます。
- 子機の登録名の最大文字数は 11 文字です。親機の登録ヨミガナが 12 文字以上の場合、12 文字目以降の文字は消去されます。
  例）親機の登録ヨミガナ：ﾌﾞﾗｻﾞｰｺｳｷﾞｮｳ
  ↓
  子機の登録名：ﾌﾞﾗｻﾞｰｺｳｷﾞｮ
  （「ｳ」は消去される）
- 以下の場合は、電話帳を転送できません。
  - 外線使用中
  - 親子内線通話中、呼び出し中
  - 子機が待ち受け画面でない場合

電話帳リストを印刷する

［電話帳リスト］

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。

確認

■ 電話帳リストは、モノクロでしか印刷できません。

1 記録紙をセットする

⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】、【電話帳リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 【あいうえお順】または【番号順】を選ぶ

4 モノクロスタート を押す

電話帳リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、停止 / 終了 を押す

子機の電話帳を利用する

電話帳には 100 件まで登録できます。

電話帳に登録する

1 を押す

2 で「デンワチョウトウロク」を選び、機能確定 を押す

3 名前を入力し、機能確定 を押す

名前は 11 文字まで入力できます。
⇒ 208 ページ「子機」

4 電話番号を入力し、機能確定 を押す

電話番号は 20 桁まで入力できます。
（数字、＊、＃、P（ポーズ）のみ。）

電話番号が登録されます。

5 切 を押す

ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているときは、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「電話帳に登録している相手からの着信音を変える（子機）」

「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。
⇒ 99 ページ「こんなときは〜電話番号を登録するとき〜」

電話帳の内容を変更するには

(1) を押す

(2) で変更したい電話帳データを選び、機能確定 を押す

(3) で「ヘンコウ」を選び、機能確定 を押す

(4) 「電話帳に登録する」の手順 3 以降の手順で登録内容を変更する

※ 変更しない項目は、機能確定 を押すと次の手順へ進むことができます。

(5) 切 を押す

電話帳の内容を削除するには

(1) を押す

(2) で削除したい電話帳データを選び、機能確定 を押す

(3) で「ショウキョ」を選び、機能確定 を押す

(4) 1ア を押す

◆選んだ電話帳データが削除されます。

(5) 切 を押す

留守番機能

留守番機能

留守番機能を設定する 104
留守番機能で設定できること 104
メッセージの録音時間を設定する 105
応答メッセージを録音する 105
留守録モニターを設定する 106

出かけるとき 107
留守番機能をセットする 107
留守応答メッセージを選ぶ 107

帰ってきたとき 108
留守番機能を解除する 108
メモリー内のメッセージを一括再生する 108

下記の機能については・・・

- ■ 外出先から本製品を操作する（リモコンアクセス）
- ■ 外出中に届いたファクスを外出先に転送する / 留守録メッセージを外出先で聞く

留守番機能を設定する

留守番機能

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。
留守番機能では、以下のような設定をすることができます。

留守番機能で設定できること

● **メッセージの録音時間**

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの 1 回あたりの録音時間を設定することができます。

⇒ 105 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

> メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● **留守応答メッセージ**

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音することができます。

⇒ 105 ページ「応答メッセージを録音する」

また、録音した留守応答メッセージは、留守モードにしたあとで選ぶことができます。

⇒ 107 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

> お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」と録音されています。
>
> 在宅時の応答メッセージは、【再呼出設定】を【オン（相手にメッセージ）】に設定すると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話のかたは、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● **呼出回数**

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定することができます。

⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」

● **留守録モニター**

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

⇒ 106 ページ「留守録モニターを設定する」

> 留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
> ⇒ 45 ページ「親機の音量を設定する」

メッセージの録音時間を設定する

［録音時間］

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの 1 回あたりの録音時間を設定します。

1 回の最大録音時間は約 3 分、最大件数は 99 件、合計で 29 分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60 秒】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【録音時間】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 録音時間を選ぶ

【0 秒（応答メッセージのみ）／ 30 秒／ 60 秒／ 120 秒／ 180 秒】から選びます。

【0 秒（応答メッセージのみ）】に設定すると、本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。
⇒ 105 ページ「メッセージの録音時間【0 秒（応答メッセージのみ）】を選んだときの注意」

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

メッセージの録音時間【0 秒（応答メッセージのみ）】を選んだときの注意

【0 秒（応答メッセージのみ）】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファクスのかたはそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時）。この設定では、録音（ファクス送信）する時間は設けられていないので、応答メッセージの内容と矛盾が生じてしまいます。
録音時間【0 秒（応答メッセージのみ）】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけなおしください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。
⇒ 105 ページ「応答メッセージを録音する」
⇒ 107 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

応答メッセージを録音する

［応答メッセージ］

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて 2 種類の留守応答メッセージと 1 種類の在宅応答メッセージを、それぞれ 20 秒まで自分の声で録音することができます。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【応答メッセージ】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 設定したい応答メッセージを選ぶ

録音したいメッセージの種類を【留守応答 1 ／留守応答 2 ／在宅応答】から選びます。

3 【応答録音】を押す

4 受話器をとり、モノクロスタート を押してメッセージを録音する

5 録音が終わったら受話器を受話器台に戻す

今録音した内容が自動的に再生されます。

6 停止 / 終了 を押して設定を終了する

応答メッセージを削除する

(1) 「応答メッセージを録音する」の手順 3 で、【応答消去】を押す
◆【応答を消去しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(2) 【はい】を押す

(3) 停止 / 終了 を押す
◆応答メッセージが消去されます。

※本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する

(1) 「応答メッセージを録音する」の手順 ❸ で、【応答再生】を押す

◆応答メッセージが再生されます。

(2) 停止/終了 を押す

◆確認を終了します。

留守録モニターを設定する

[留守録モニター]

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【留守番電話設定】、【留守録モニター】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【する】または【しない】を選ぶ

3 停止/終了 を押して設定を終了する

留守録モニターの音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。

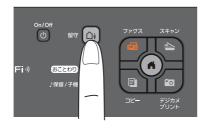
⇒ 45 ページ「親機の音量を設定する」

出かけるとき

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 留守 を押す

留守 が点灯し、留守モードになります。

留守番機能を解除するときは、もう一度 留守 を押します。

留守応答メッセージを選ぶ

自分の声で留守応答メッセージを録音してあるとき、留守応答メッセージを選ぶことができます。

1 留守 を押す

ボタンが点灯しているときは、留守 を押し、ボタンを消灯させてから再度 留守 を押してください。

2 メッセージ再生中に、◀◀ または ▶▶ で留守応答メッセージを選ぶ

応答メッセージは、【応答再生／応答再生 1／応答再生 2】から選択します。

- 【応答再生】：
  あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【応答再生 1】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【応答再生 2】：
  自分で録音した留守応答メッセージ 2

メッセージを再生後、選んだメッセージで、留守モードにセットされます。
いったん選ばれたメッセージは、そのあと選び直さないかぎり有効です。

応答メッセージが登録されていない場合、◀◀ または ▶▶ を押すことはできません。

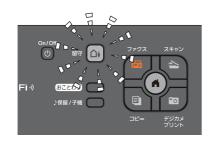
メッセージ再生中に 停止/終了 を押すと、再生を中止し、前回選んだメッセージで留守モードにセットされます。

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、留守 が点滅しています。

1 留守 を押す

留守 が消灯し、留守モードが解除されます。新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。

メモリー内のメッセージを一括再生する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生することができます。

1 待ち受け画面の【留守録再生】を押す

保存されているメッセージの一覧画面が表示されます。
新しいメッセージが録音されているときは、メッセージを再生してから一覧画面が表示されます。

2 【▶】を押す

音声メッセージを確認する

(A) 再生中のメッセージを聞き直すとき

◀◀ を押す。

◆再生中のメッセージの最初に戻ります。

※ ◀◀ を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージが再生されます。

(B) 次のメッセージを聞くとき

▶▶ を押す。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

再生中に 停止/終了 を押す。

(D) メッセージを 1 件消去するとき

再生中に【消去】を押し、【この用件を消去しますか ?】と表示されたら、【はい】を押す。

◆再生中のメッセージが消去されます。

※消去をキャンセルする場合は、【この用件を消去しますか ?】と表示中に【いいえ】を押します。

(E) すべてのメッセージを消去するとき

【留守録再生】を押したあと 🗑 を押し、【音声消去しますか ?】と表示されたら、【はい】を押す。

◆すべてのメッセージが消去されます。

メッセージの一覧画面のいずれか 1 つを押して個別に再生することもできます。

ファクスが届いているとき

「みるだけ受信」で受信した新着ファクスがあるときは、画面に【新着ファクス：XX】が表示されます。
【ファクス確認】を押して、受信したファクスの内容を確認できます。
⇒ 90 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」

「みるだけ受信」を設定していない場合は、受信したファクスが印刷されています。
記録紙がなくなると、画面に、【記録紙を送れません　トレイに記録紙を入れ直してください　スライドトレイを正しい位置にセットし　スタート を押してください】と表示されます。このとき、ファクスはメモリーに記憶されています。記録紙をセットして［モノクロ スタート］または
を押してください。

第６章

コピー

基本

コピーに関するご注意 112

コピーする 113

1 部コピーする 113

複数部コピーする 113

設定を変えてコピーするには 114

L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例） 116

下記の機能については・・・

■ インク節約モード

■ スタックコピー / ソートコピー / レイアウトコピー / ブックコピー / 透かしコピー / 両面コピー

コピーに関するご注意 基本

コピーを行うときは、以下の点にご注意ください。

- **法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）**
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用の郵便切手やはがき
  - 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類
- **著作権のあるもの**
  - 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。
- **その他注意を要するもの**
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など
- **記録紙について**
  - しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
  - 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。
  - コピーをする場合（特にカラーの場合）は、記録紙の選択が印刷品質に大きな影響を与えます。推奨紙をお使いください。
- **原稿について**
  - インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。スキャナー（読み取り部）が汚れて、印刷品質が悪くなることがあります。
    ⇒ 58 ページ「ADF にセットできる原稿」
- **スキャナー（読み取り部）について**
  - スキャナー（読み取り部）は常にきれいにしておいてください。汚れているときれいにコピーできません。
    ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

原稿の読み取り範囲について
⇒ 58 ページ「原稿の読み取り範囲」

コピーする

モノクロまたはカラーでコピーします。

確認

■ スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているときれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」をご覧ください。

1 部コピーする

1枚の原稿をモノクロまたはカラーでコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 画面で設定を確認する

画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。
⇒ 114 ページ「設定を変えてコピーするには」

4 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

途中でコピーを中止するには、[停止/終了] を押してください。

原稿がコピーされます。

複数部コピーする

1～99部までコピーする枚数を指定してコピーします。

1 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿をセットする」

2 [コピー] を押す

3 操作パネルのダイヤルボタンで部数を入力する

1 ～ 99 部まで設定できます。

①を押して表示されるテンキーを押したり、②でも部数の入力ができます。

入力した部数を取り消すには、①を押して表示される画面で【クリア】を押します。

4 モノクロでコピーするときは [モノクロスタート] を、カラーでコピーするときは [カラースタート] を押す

途中でコピーを中止するには、[停止/終了] を押してください。

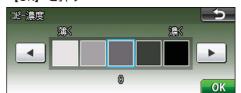
原稿がコピーされます。

設定を変えてコピーするには

コピーを押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容は、待ち受け画面に戻った時点で初期値（お買い上げ時の状態）に戻ります。

例：コピー濃度

【◀】/【▶】を押して画面をスクロールさせ【コピー濃度】を押す

【◀】/【▶】で設定値を選び【OK】を押す

(1) コピー画質
コピーの画質を設定します。 • 【高速】 速くコピーしたい場合に選びます。 • 【標準】 通常のコピーを行う場合に選びます。 • 【高画質】 写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。 ※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。 ※【高速】に設定していても、「便利なコピー設定」（⇒ 115 ページ）では、時間がかかることがあります。

(2) 記録紙タイプ
使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。 【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム】

(3) 記録紙サイズ
使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。 【A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判】

(4) 拡大 / 縮小	
倍率を変更してコピーします。 【等倍 100%】 【拡大】 • 【240% L 判 ⇒ A4】 • 【204% ハガキ ⇒ A4】 • 【141% A5 ⇒ A4】 • 【115% B5 ⇒ A4】 • 【113% L 判 ⇒ ハガキ】[*1] 【縮小】 • 【86% A4 ⇒ B5】 • 【69% A4 ⇒ A5】 • 【46% A4 ⇒ ハガキ】 • 【40% A4 ⇒ L 判】 【用紙に合わせる】[*2] 【カスタム（25-400%）】[*3]	拡大 / 縮小とレイアウトコピーは同時に設定できません。 [*1] L 判タテ向きの写真（127mm × 89mm）をハガキにフィットさせます。 [*2] 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。【用紙に合わせる】は次のような制約があります。 • ADF は使用できません。原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。 • 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ソートコピー、レイアウトコピー、両面コピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピーと同時に設定できません。 [*3] 画面に表示されているテンキーや操作パネルのダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。

(5) コピー濃度

コピーの濃度を調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すと濃くなり、【◀】を押すと薄くなります。

(6) スタック / ソート

複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー）、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「スタック / ソートコピーする」

(7) レイアウト コピー

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「レイアウトコピーする」

(8) 両面コピー

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定により、うら面のコピー方向が選べます。
⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「両面コピーする」

(9) 便利なコピー設定

その他のいろいろなコピーができます。

- インク節約モード
  文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「インクを節約してコピーする」
- 裏写り除去コピー
  コピー時の裏写りを軽減します。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「裏写りを軽減してコピーする」
- ブックコピー
  原稿台ガラスに本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「ブックコピーする」
- 透かしコピー
  コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を同時に追加できます。
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「コピーに文字や画像を重ねる」

(10) お気に入り設定

コピーのいろいろな設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。

(1) コピー を押して表示される画面で、初期値にしたい設定に変更する

(2) 【お気に入り設定】を押す

(3) 【保存】を押す

(4) お気に入り設定の保存先を選ぶ

保存先は【お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3】から選びます。

(5) 画面に表示されているキーボードでお気に入り設定の名前を入力して【OK】を押す

6 文字まで入力できます。
お気に入り設定の名前を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。

◆変更した設定がお気に入りに登録されます。

※登録したお気に入りの名前を変更するには、【お気に入り設定】、【名前の変更】、変更したいお気に入りのボタンの順に押し、表示されているキーボードで名前を入力して、【OK】を押します。

(11) お気に入り

「お気に入り設定」で登録した設定値を呼び出します。

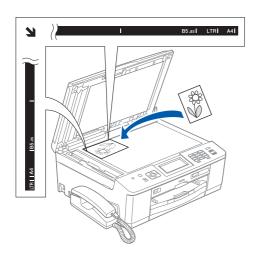
L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）

L 判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

1 スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」

2 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする

3 原稿台カバーを閉じる

4 [コピー] を押す

5 複数部コピーするときは、部数を入力する

⇒ 113 ページ「複数部コピーする」

1）コピー画質を設定する

6 【コピー画質】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

7 【高画質】を押す

2）記録紙タイプを設定する

8 【記録紙タイプ】を押す

9 【その他光沢】を押す

3）記録紙サイズを設定する

10 【記録紙サイズ】を押す

11 【ハガキ】を押す

4）拡大・縮小率を設定する

12 【拡大 / 縮小】を押す

13 【拡大】を押す

14 【113% L 判 ⇒ ハガキ】を押す

15 [スタート カラー] を押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

第 7 章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真をプリントする前に 118
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする 119
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況 120
動画プリントについて 121
写真をプリントする 122
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする 122
いろいろなプリント方法 124
設定を変えてプリントするには 124
L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例） 126
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする 127
PictBridge とは 127
デジタルカメラで行う設定 127
写真をプリントする 128

その他の機能

スキャン to メディア 129
スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する 129

下記の機能については・・・

■ インデックスプリント / 番号指定プリント

■ 写真を美しく補正するこだわりプリント

写真をプリントする前に

デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを、本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に差し込んで直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

確認

■ L 判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」

■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。

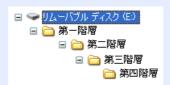
■ 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。(プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式には対応していません。)

■ 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。(拡張子の大文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。)

■ 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。

■ 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ (横幅が 8192 ピクセル以内) を超えた場合は、印刷できません。

■ 日本語のファイル名が付けられたデータは、インデックスプリント (⇒ユーザーズガイド 応用編 第 7 章「インデックスシートをプリントする」) を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。

■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像は、4 階層までしか認識されません。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにパソコン上から書き込んだ場合、5 階層以上のフォルダーに保存しないでください。

■ メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。

■ デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。

■ Macintosh では、デスクトップ上にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンが表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアイコンをいったんゴミ箱に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

1 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 つだけ差し込む

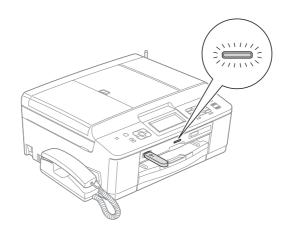
下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーを使用できます。

種類		セットする位置
• メモリースティック TM (最大 128MB) • メモリースティック PRO TM (最大 32GB)		上段に
• メモリースティック デュオ TM (最大 128MB) • メモリースティック PRO デュオ TM (最大 32GB)		
• メモリースティック マイクロ TM (M2 TM) (最大 32GB)	アダプターが必要です	
• SD メモリーカード (最大 2GB) • SDHC メモリーカード (最大 32GB) • SDXC メモリーカード (最大 64GB) • マルチメディアカード (最大 2GB) • マルチメディアカード plus (最大 4GB)		下段に
• miniSD カード (最大 2GB) • microSD カード (最大 2GB) • miniSDHC カード (最大 32GB) • microSDHC カード (最大 32GB) • マルチメディアカード mobile (最大 1GB)	アダプターが必要です	
• USB フラッシュメモリー (最大 32GB)	22mm 以下 11mm 以下	

確認

- ■ 著作権保護機能には対応していません。
- ■ カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。内部を壊す恐れがあります。
- ■ 2 つのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを同時に挿入しても、最初に挿入したカードしか読み込みません。
- ■ ステータスランプが点滅しているときは、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのアクセス状況

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー読み取り、または書き込み中は、ステータスランプが点滅します。このときはメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにさわらないでください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが認識されないときは、記録した機器に戻して確認してください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出すときは

ステータスランプが点滅していないことを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、ステータスランプが点滅していないことを確認して、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを引き抜いてください。

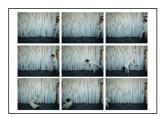
パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする

本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口にセットしたメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは、接続しているパソコンからもアクセスできます。
詳しくは、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1 枚の記録紙にプリントすることができます。

写真と共に保存されている動画も表示されます

印刷設定画面

出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 128 ページ「写真をプリントする」

確認

- ■ 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- ■ 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1 ファイルのサイズが 1GB（撮影時間およそ 30 分）以上の AVI ファイル、2GB（撮影時間およそ 60 分）以上の MOV ファイルはプリントできません。
  使用できないデータは、 と表示されます。

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

> パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスし、【PC接続中】と表示されている間はデジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を見る・プリントする

[かんたんプリント]

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする

⇒119ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、デジカメプリントを押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

2 【かんたんプリント】を押す

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像が表示されます。

> 画像のファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

> 画面上部の（スライドショーボタン）を押すとスライドショーが始まります。⇒ユーザーズガイド 応用編 第7章「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する」

3 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

> メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントしたいときは、（まとめてプリントボタン）を押します。100枚目までの画像をすべて1枚プリントするように設定できます。
> ⇒ユーザーズガイド 応用編 第7章「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする」

4 【−】/【+】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

プリント枚数

- プリント枚数表示を押して表示されるテンキーを押すことでも部数の入力ができます。
- を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

5 手順 3、4 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

6 画面で設定を確認する

プリント合計枚数

- を押すと、色や明るさを補正することができます。
- 画質や記録紙のサイズなど、設定を変えることもできます。
⇒ 124 ページ「設定を変えてプリントするには」

7 モノクロスタート または スタートカラー を押す

選択した画像がプリントされます。

DPOF を使用する場合

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット）[*1]を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットすると、【DPOF で印刷しますか ?／はい／いいえ】というメッセージが表示されます。
DPOF でプリントする場合は、以下の手順で操作してください。

(1) 【はい】を押す

(2) 【印刷設定】を押す
◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

(3) 【記録紙サイズ】を押す

(4) 記録紙サイズを選ぶ
◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。

(5) モノクロスタート または スタートカラー を押す
◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

[*1] デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

※DPOF から動画のプリントはできません。

いろいろなプリント方法

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定画面で、プリントする際の設定を変更できます。

例：明るさ

【▲】/【▼】を押して画面をスクロールさせ【明るさ】を押す

【◀】/【▶】で設定値を選び【OK】を押す

(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

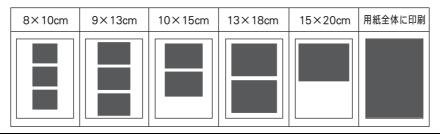
- 【標準】
  速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
  よりきれいにプリントする場合に選びます。

※DPOF を使用していない場合に設定できます。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。
【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。
【L 判／ 2L 判／ハガキ／ A4】
【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

(4) 明るさ（こだわりプリントでは、「トリミング」を設定した場合のみ調整可能です）

プリントする際の明るさを調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すと明るくなり、【◀】を押すと暗くなります。

(5) コントラスト（こだわりプリントでは、「トリミング」を設定した場合のみ調整可能です）

プリントする際のコントラストを調整します。5 段階の調整ができます。【▶】を押すとコントラストが強くなり、【◀】を押すとコントラストが弱くなります。

(6) 画質強調（こだわりプリントでは、「トリミング」を設定した場合のみ調整可能です）

(1) 【▼】/【▲】を押して画面をスクロールさせ、【画質強調】を押す

(2) 【する】を押す

(3) 設定する項目を選ぶ

- 【ホワイトバランス】
  画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
- 【シャープネス】
  画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
- 【カラー調整】
  画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。

(4) 【◀】/【▶】でレベルを調整し、【OK】を押す

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返して、3 つの項目を調整する

(6) 調整が終わったら、設定確認画面に戻るまで [戻る] を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像に対して有効に働きます。
メガピクセルクラスのカメラで撮影した写真は、そのままプリントしてください。
なお、画素数の多い画像に画質強調を行うと、処理に数十分以上かかる場合があります。

(7) 画像トリミング

プリント領域いっぱいに画像がプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も【しない】に設定してください。

- 【する】
  横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。

- 【しない】
  画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。

(8) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいにプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※ふちなし印刷を【する】に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(9) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。【する】または【しない】を選びます。
※DPOF を使用していない場合にプリントできます。
※動画は、【する】に設定しても日付はプリントされません。

(10) 設定を保持する

設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(11) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L 判、はがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）

写真を L 判サイズやはがきサイズの記録紙にプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 119 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、（デジカメプリント）を押してデジカメプリントモードに切り替えてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。

3 【かんたんプリント】を押す

ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

4 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

【◀】/【▶】を長押しすると画面を速くスクロールできます。

5 【－】/【＋】でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

プリント枚数表示の 1 を押して表示されるテンキーを使って部数を入力することもできます。

（回転ボタン）を押すたびに 90°ずつ右回りに回転します。

6 【OK】を押す

デジカメプリントの設定確認画面が表示されます。

7 【印刷設定】を押す

8 【記録紙タイプ】を押す

9 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【ブラザー BP61 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

10 【記録紙サイズ】を押す

11 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L 判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

12 （戻る）を押す

13 （モノクロスタート）または（スタートカラー）を押す

選択した写真がプリントされます。

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。

確認

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。
- PictBridge 使用中はメモリーカードの使用はできません。
- 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントできますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、はがき
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOFプリント*1	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

*1 DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

デジタルカメラから設定ができない場合、またはデジタルカメラでプリンター設定を選んだ場合は、以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L 判
- 画質強調：しない
- ふちなし印刷：する

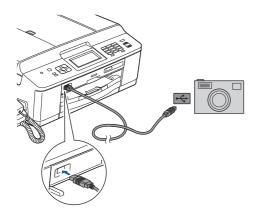
写真をプリントする

確認

- PictBridge 使用中は、ファクスの送受信ができません。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。

確認

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が損傷する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。
⇒ 127 ページ「デジタルカメラで行う設定」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

確認

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。
⇒ 123 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャン to メディア

その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式（.TIF）または PDF ファイル形式（.PDF）を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンしたデータをメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する

［メディア保存］

1 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

⇒ 119 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」

2 原稿をセットする

⇒ 59 ページ「原稿をセットする」

3 スキャン を押す

スキャンメニューが表示されます。

4 【メディア保存】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

5 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

【カラー 100 dpi ／カラー 200 dpi ／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 100 dpi ／モノクロ 200 dpi ／モノクロ 300 dpi】から選びます。

6 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合【PDF ／ JPEG】から選びます。
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合【TIFF ／ PDF】から選びます。

7 【ファイル名】を押し、画面に表示されているキーボードで保存するファイルの名前を入力し、【OK】を押す

ファイル名は 6 文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、通し番号が自動的に追加されます。
例）2012 年 5 月 3 日にスキャンすると、ファイル名は「120503XX」（「XX」は通し番号）になります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、【×】を押して消去します。

8 モノクロスタート または カラースタート を押す

ADF に原稿をセットしたときは、スキャンが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1 枚目の原稿を読み取り後、【メディアを抜かないで下さい　次の原稿はありますか？／はい ／いいえ 】と表示されます。

読み取る原稿が 1 枚の場合 ⇒手順 11 へ

読み取る原稿が複数枚の場合 ⇒手順 9 へ

❾【はい】を押す

【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されます。

確認

■【次の原稿をセットしてスタートキーを押してください】と表示されたあと、停止/終了を押すと、それまでに読み取っていたスキャンデータはすべて消去されます。操作しないでしばらく放置した場合は、それまでに読み取っていたスキャンデータのみ保存されます。

❿原稿台ガラスに次の原稿をセットして、モノクロスタート または カラースタート を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する原稿の枚数だけ、手順❾、❿を繰り返します。

⓫すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押してスキャンを終了する

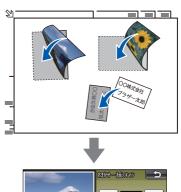
確認

■ ステータスランプが点滅しているときは、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。
Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Windows® 編」－「スキャナーとして使う前に」
Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編
「Macintosh 編」－「スキャナーとして使う前に」

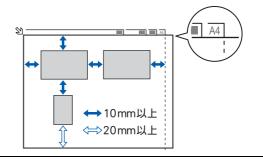
パソコンで PDF ファイルを閲覧するには、Adobe® Reader® または Adobe® Acrobat® が必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする（おまかせ一括スキャン）

複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。

(1) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

(2) 原稿をセットする

下記に注意して原稿をセットしてください。

- ADF からおまかせ一括スキャンはできません。必ず原稿台ガラスに原稿をセットしてください。
- すべての角が直角（90°）の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
  左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
  手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
  右：A4 サイズの線から 10mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10°以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚（名刺は 8 枚）です。

(3) スキャン を押す

(4) 【メディア保存】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

(5) 【スキャン画質】を押し、画質を選ぶ

(6) 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

- 【PDF ／ TIFF】：
  複数のページで構成される1つのファイルとして保存します。
- 【JPEG】：
  個別のファイルとして保存します。

(7) 【おまかせ一括スキャン】を押す

(8) 【オン】を押す

(9) モノクロスタート または スタートカラー を押す

◆スキャンできた原稿の枚数が画面に表示されます。

(10)【OK】を押す

◆スキャン結果が画面に表示されます。

※【◀】/【▶】で前後の画像を確認できます。

(11)【全て保存】を押す

◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。

設定を保持する

(1) スキャン を押す

(2) 【メディア保存】を押す

キーが表示されていないときは、【◀】/【▶】で、画面をスクロールさせます。

(3) 初期値にしたい設定に変更する

(4) 【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ？ ／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

◆変更した設定が初期値として登録されます。

※手順 (1)、(2) のあと、手順 (4) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

こんなときは

日常のお手入れ

本製品が汚れたら 134
タッチパネルを清掃する 134
本製品の外側を清掃する 134
スキャナー（読み取り部）を清掃する 135
給紙ローラーを清掃する 136
排紙ローラーを清掃する 138
本体内部を清掃する 139
子機と充電器を清掃する 140

インクがなくなったときは 141
インクカートリッジを交換する 142
インク残量を確認する 144

印刷が汚いときは 145
定期メンテナンスについて 145
プリントヘッドをクリーニングする 145
記録紙のうら面が汚れるときは 146
印刷テストを行う 146
印刷品質をチェックする 146
印刷位置のズレをチェックする 147

受話器（親機）を使用しないときは 149

子機のバッテリーを交換するときは 150

困ったときは

紙が詰まったときは 152
記録紙が詰まったときは 152
記録紙が前面に詰まったときは 152
記録紙が背面に詰まったときは 153
記録紙が前面と背面に詰まったときは 154
紙づまりが解消しないときは 156
ADF に原稿が詰まったときは 158

ディスクが詰まったときは 159
ディスクが前面に詰まったときは 159
ディスクが背面に詰まったときは 159

画面にメッセージが表示されたときは 161
エラーが発生したときのファクスの転送方法 168
子機のメッセージ 169

故障かな？と思ったときは
（修理を依頼される前に） 170

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に） 190

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を
改善する 191
特別な回線に合わせて設定する 191
回線状況に応じて設定する 191
安心通信モードに設定する 192
ダイヤルトーン検出の設定をする 192
子機の通信状況を改善する 193
子機通信チャンネルを変更する 193
通話パワーの設定を変更する 193
通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し
設置場所を調整する 194

初期状態に戻す 195
機能設定を元に戻す 195
ネットワーク設定を元に戻す 195
RSS 設定を元に戻す 196
電話帳・履歴・メモリー・録音データを
消去する 196
すべての設定を元に戻す 197
子機の個人情報を消去する 198

こんなときは 199
インターネット上のサポートの案内を
見るときは 199
Windows® の場合 199
Macintosh の場合 199
最新のドライバーやファームウェアをサポート
サイトからダウンロードして使うときは 200
サポートサイト
（ブラザーソリューションセンター）の URL 200
ドライバーやファームウェアをサポートサイトから
ダウンロードするときは 200
ドライバーをインストールするときの注意 200
ファームウェアをインストールするときの注意 200
子機を増設する / 登録抹消する 201
停電になったときは 201
本製品のシリアルナンバーを確認する 202
本製品の設定内容や機能を確認する 202
本製品を輸送するときは 203
本製品を廃棄するときは 203

本製品が汚れたら

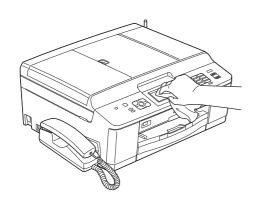
日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

タッチパネルを清掃する

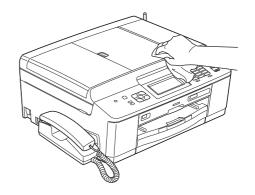
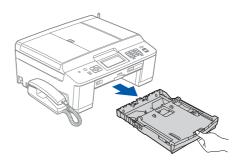
確認

- タッチパネルを清掃するときは、本製品の電源をオフしてください。
- 液体の洗浄剤は使用しないでください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

本製品の外側を清掃する

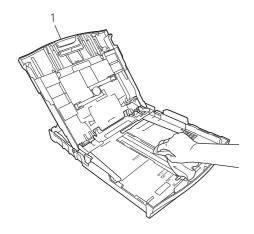
確認

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。本製品の操作パネルの文字が消えることがあります。

1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で本体を軽く拭く

2 記録紙トレイを引き出す

記録紙ストッパーが開いている場合は、閉じてから記録紙トレイを引き出してください。

3 トレイカバー（1）を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側を軽く拭く

⚠注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

4 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

スキャナー（読み取り部）を清掃する

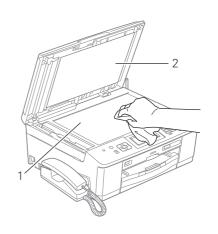
スキャナー（読み取り部）が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー（読み取り部）を清掃してください。

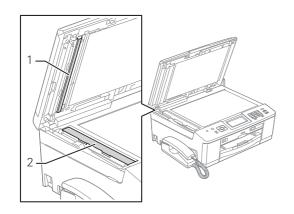
確認

■ 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス（1）、原稿台カバーのプラスチック面（2）を拭いてください。

3 ADF 読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、白色のバー（1）と ADF 読み取り部（2）を拭いてください。

確認

■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部（2）を清掃してください。
非常に細かい汚れ（ボールペンのインクや修正液など）が付着している場合がありますので、念入りに拭いてください。
汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のグラスを手で触ってどこに汚れがあるかを確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液（イソプロピルアルコール）などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。
最後に ADF からコピーしてみて、黒い縦線が消えていることを確認してください。

4 原稿台カバーを閉じる

5 電源プラグをコンセントに差し込む

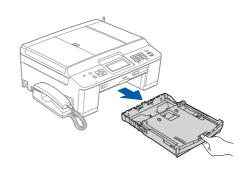
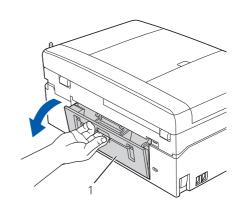
清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できます。

給紙ローラーを清掃する

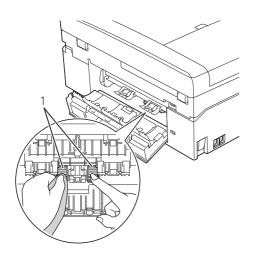
給紙ローラーが汚れていると、記録紙の汚れが発生したり給紙しにくくなったりします。

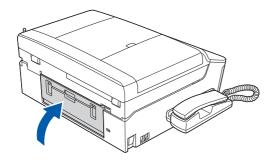
1 電源プラグをコンセントから抜く

2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る

3 記録紙トレイを引き出す

4 本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く

5 給紙ローラー（1）を拭く

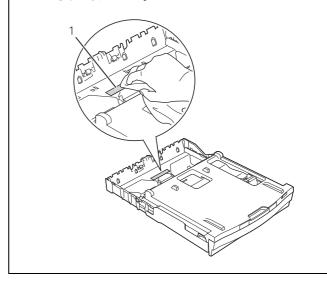
ローラーを縦方向にゆっくり回転させながら、横方向にふいてください。

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

6 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。

7 記録紙トレイを元に戻す

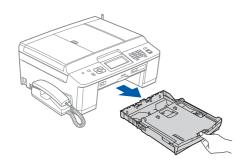
8 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙が重なって給紙されてしまうときは

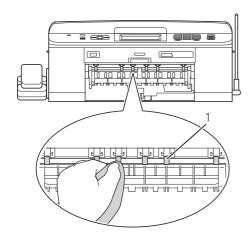
記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分（1）を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。

排紙ローラーを清掃する

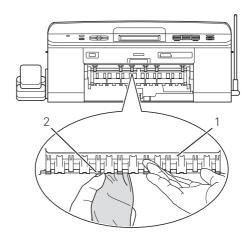
排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されなかったり、両面印刷ができなくなったりします。

1. **電源プラグをコンセントから抜く**

2. **記録紙トレイを引き出す**

3. **柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る**

4. **排紙ローラー（1）を拭く**

   そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

5. **フラップ（1）を手前に持ち上げて排紙ローラー（2）のうら側を拭く**

   そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。

6. **記録紙トレイをゆっくりと戻す**

7. **電源プラグをコンセントに差し込む**

本体内部を清掃する

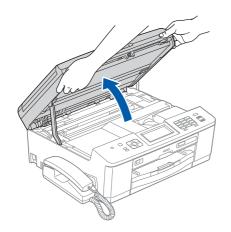
記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れている可能性があります。

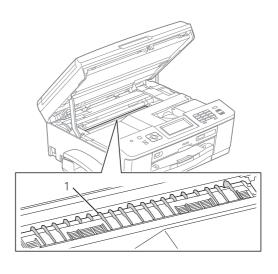
警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

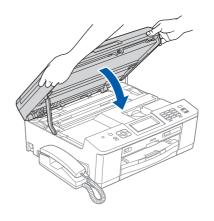
2 両手で本体カバーを開く

本体カバーが固定される位置まで上げてください。

3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン（1）を軽く拭く

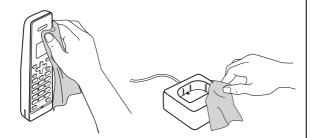
インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉める

注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

子機と充電器を清掃する

1. **充電器から子機をとり、切 を押す**
2. **充電器の電源プラグを抜く**
3. **乾いた柔らかい布で子機と充電器を拭く**

4. **充電器の電源プラグをコンセントに差し込む**
5. **子機を充電器に戻す**

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。インクの残りが少なくなると、文字のカスレなどが発生しやすくなります。
インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき：【印刷できません　インク交換 BK ブラック】

確認

■【モノクロ印刷のみ可能です】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、「印刷設定」をモノクロに設定する必要があります。
  Windows® の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「印刷の設定を変更する」
  Macintosh の場合
  ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
- 記録紙タイプが、コピーの場合は【普通紙】に、ファクスの場合は【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができなくなりますので、速やかにインクカートリッジを交換してください。

- 空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしている場合

■ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

■ インクカートリッジは、色によってセットする場所が決められています。間違った色の場所にインクカートリッジをセットしないようご注意ください。

必要なときに、インク残量を確認することもできます。⇒ 144 ページ「インク残量を確認する」

インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。
⇒ 239 ページ「消耗品」
⇒ 241 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません　インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠注意

● 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

確認

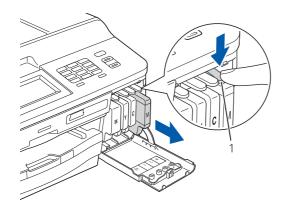
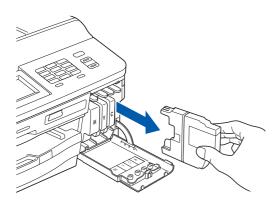
■ インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。

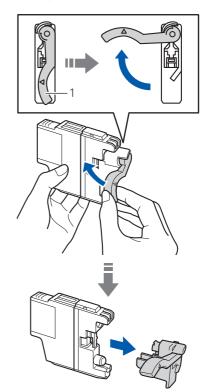
■ 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。
（6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。）

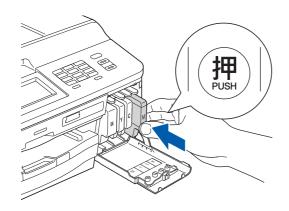
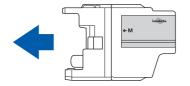
■ 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

■ インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる可能性があります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー（1）を押し下げる

3 インクカートリッジを取り出す

4 新しいインクカートリッジを準備する

緑色の取っ手（1）を図のように回して封印を開放し、オレンジ色の保護カバーを引き抜きます。

5 新しいインクカートリッジを取り付ける

「カチッ」と音がしてリリースレバーが上がるまで、「押」の部分を押し込みます。

本製品に向かって左の面にラベルがあるように、垂直にして差し込みます。

確認

- 間違った色のインクをセットしてしまった場合は、正しい色の場所に付け直したあと、プリントヘッドのクリーニングを複数回行ってください。
  ⇒ 145 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」

6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

確認

- 画面に【インクを交換しましたか／BK ブラック／はい／いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。
- インクカートリッジはリリースレバーの色に合わせて正しい位置にセットしてください。間違った位置にセットすると正しい色で印刷されません。

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。（インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。）
また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 241 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

インク残量を確認する

［インク残量］

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 待ち受け画面の を押す

2 【インク残量】を押す

インク残量が表示されます。

3 停止／終了 を押して確認を終了する

パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。

Windows® の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する（ステータスモニター）」

Macintosh の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「本製品の設定を確認・変更する」

印刷が汚いときは

横縞が目立つときなど、印刷画質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングや、印刷ズレを補正する必要があります。

印刷したものに横縞が目立つときは、ヘッドクリーニングが効果的です。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品は自動的にプリントヘッドをクリーニングしています。目詰まりを防ぎ、長く快適にご利用いただくために以下の点にご注意ください。

確認

- ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、本製品の電源プラグはコンセントに差したままご利用になることをお勧めします。
- On/Off で電源を切ることにより、本製品を使用しないときの消費電力を極力抑えることができます。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする

[ヘッドクリーニング]

プリントヘッドをクリーニングします。1 回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを 5 回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。

目詰まり時

正常

ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1 待ち受け画面の を押す

2 【ヘッドクリーニング】を押す

ヘッドクリーニングの設定画面が表示されます。

3 クリーニングする色を選ぶ

【ブラック／カラー／全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約 1、2 分かかります。【全色】を選んだときは、約 3 分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙 / 排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 本体内部のプラテンを清掃する

⇒ 139 ページ「本体内部を清掃する」

2 紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 排紙ローラーに汚れがないかを確認する

⇒ 138 ページ「排紙ローラーを清掃する」

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙をセットする

⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 待ち受け画面の [インクアイコン] を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷品質チェックシート】を押す

5 [スタート カラー] を押す

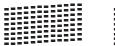
「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。

6 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1 色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

＜良い例＞

＜悪い例＞

【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 11 へ進みます。

【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。手順 7 へ進みます。

7 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

8 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？スタートボタンを押す】と表示されます。

9 スタート カラー を押す

プリントヘッドがクリーニングされます。

クリーニングが終わると、【スタートボタンを押す】と表示されます。

10 スタート カラー を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。

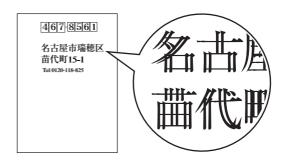
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？／はい／いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

11 停止 / 終了 を押してチェックを終了する

確認

■ 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

印刷位置のズレをチェックする

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。

1 A4 サイズの記録紙をセットする

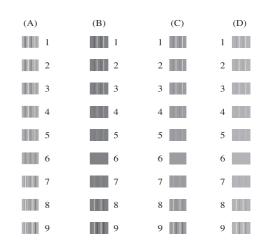
⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 待ち受け画面の を押す

3 【テストプリント】を押す

4 【印刷位置チェックシート】を押す

5 モノクロ スタート を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。

6 (A) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

7 (B) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

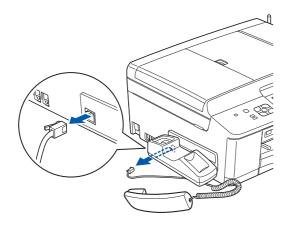
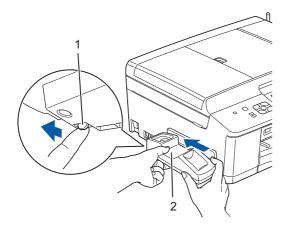
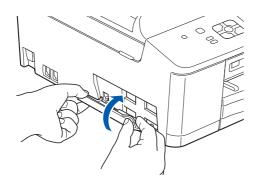
8 (C) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

9 (D) について、縦筋が最も目立たないパターンの番号を入力する

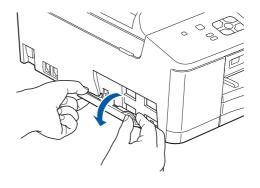
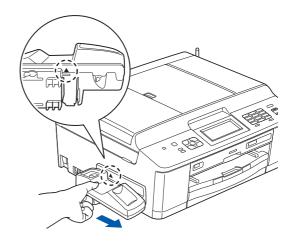
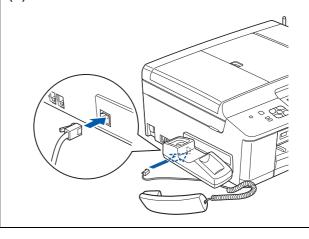
10 停止 / 終了 を押してチェックを終了する

受話器（親機）を使用しないときは

受話器を使用しない場合は、以下の手順で受話器台を取り外すことができます。

1 受話器コードを外す

2 つまみ（1）を手前に引き、受話器台（2）を矢印の方向に外す

3 受話器台外し口カバーをつける

受話器台を再度取り付ける場合

外した受話器台を取り付ける場合は、以下の手順で行ってください。

(1) **受話器台外し口カバーを外す**
※受話器台外し口カバーを手で外すのが難しい場合は、コインなどを差し込んで外してください。

(2) **本製品と受話器台の▲印を合わせて矢印の方向に引いて取り付ける**

(3) **受話器コードを接続する**

子機のバッテリーを交換するときは

子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店でお買い求めください。

⚠危険

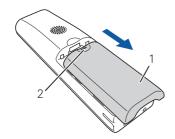
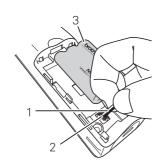
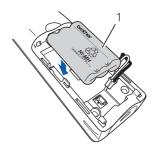
バッテリーの取り扱いは、充分にご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

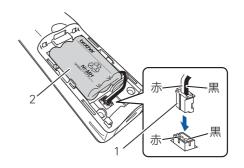
確認

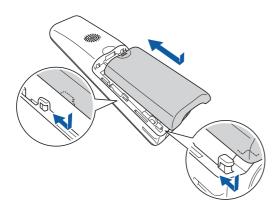
■ バッテリーを交換したら必ず 12 時間以上充電してください。

■ バッテリーを覆っている白色のビニールカバーは、はがさないでください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。

2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を上に引き抜き、バッテリー（3）を取り出す

3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる

4 バッテリーのコネクタ（1）を差し込む

バッテリーのビニールカバー（2）を傷付けないように注意して、コネクタを下図の向きに奥まで完全に差し込みます。向きを間違えないように注意してください。

5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。

確認

■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。
- ビニールカバーははがさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■ 使用済み電池の届け出先は、⇒ 151 ページ「使用済み電池の届け出」をご覧ください。

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
  電話：03-6403-5673
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com
- 社団法人 電池工業会
  電話：03-3434-0261
  ホームページ：http://www.baj.or.jp
- ブラザー販売（株）　ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株）東京事業所
  〒 104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
  電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株）関西事業所
  〒 564-0045　大阪府吹田市金田町 28-21
  電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株）　ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
  ※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。
- 一般社団法人 JBRC
  電話：03-6403-5673
  ホームページ：
  http://www.jbrc.com

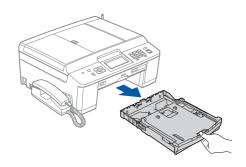
紙が詰まったときは

記録紙が詰まったときは

確認

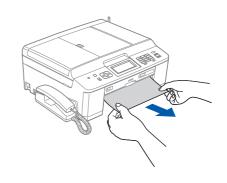
- 紙づまりが解消されても本体カバーの開け閉めは必ず行ってください。
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 何度も紙が詰まるときは…。
  - 紙の曲がりやそりを直して使用してください。
    ⇒ 49 ページ「カールしている記録紙について」
  - 給紙ローラーを清掃してください。
    ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」
  - 紙づまり解除カバーがしっかりと閉められていることを確認してください。
    ⇒ 153 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 4
  - 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
  - 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
    ⇒ 49 ページ「専用紙・推奨紙」
  - それでもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグの抜き差しを行ってください。

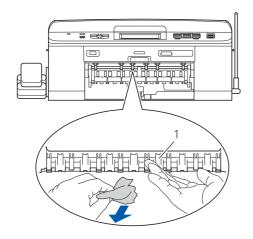
記録紙が前面に詰まったときは

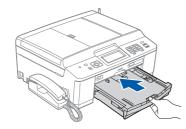
前面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています　前】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

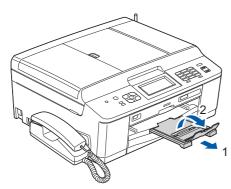
2 記録紙トレイを引き出す

3 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

4 **フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る**

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

5 **記録紙トレイを元に戻す**

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

6 **トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）**

確認

■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

7 **電源プラグをコンセントに差し込む**

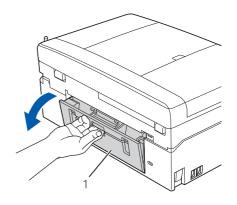
8 **エラーメッセージが消えていることを確認する**

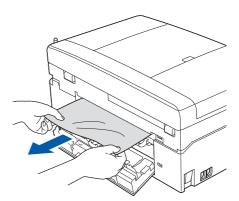
記録紙が背面に詰まったときは

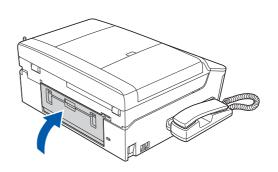
背面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています　後ろ】と表示されます。

1 **電源プラグをコンセントから抜く**

2 **本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く**

中央のつまみをつまんで、手前に引いて開きます。

3 **詰まった記録紙を手前に抜き取る**

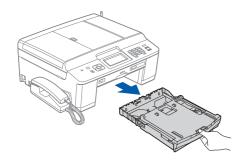
紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

4 **紙づまり解除カバーを閉じる**

カバーを押して確実に閉じてください。

5 **電源プラグをコンセントに差し込む**

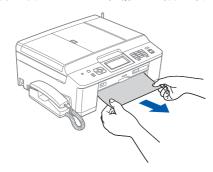
6 **エラーメッセージが消えていることを確認する**

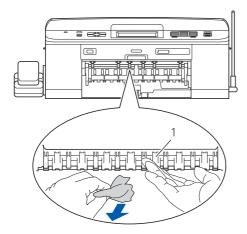
記録紙が前面と背面に詰まったときは

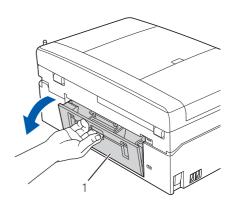
前面と背面に記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています　前，後ろ】と表示されます。

1 **電源プラグをコンセントから抜く**

2 **記録紙トレイを引き出す**

3 **挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く**

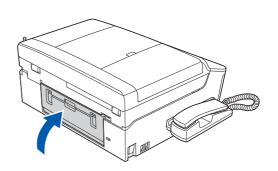
紙が破れないよう、静かに抜き取ります

4 **フラップ（1）を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る**

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

5 **本体背面の紙づまり解除カバー（1）を開く**

中央のつまみをつまんで、手前に引いて開きます。

6 **詰まった記録紙を手前に抜き取る**

紙が破れないよう、静かに抜き取ります。

7 **紙づまり解除カバーを閉じる**

カバーを押して確実に閉じてください。

8 両手で本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

本体カバーが固定される位置まで上げてください。
残っている記録紙があれば取り除いてください。
紙が破れないように静かに抜き取ります。

確認

■ プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

■ 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

■ プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。

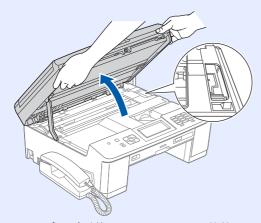
(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、停止/終了 を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

(3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

■ 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

9 本体カバーを閉める

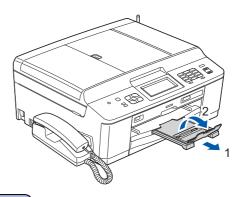
⚠注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。

10 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

11 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）

確認

■ 記録紙ストッパーは確実に引き出してください。

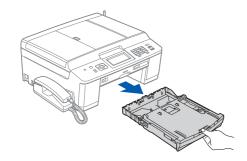
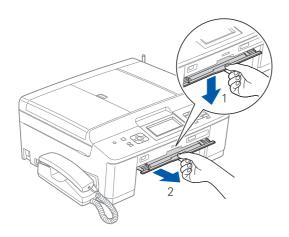
12 電源プラグをコンセントに差し込む

13 エラーメッセージが消えていることを確認する

紙づまりが解消しないときは

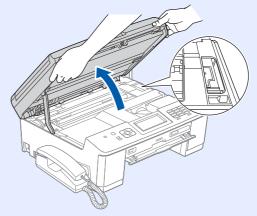
前面、背面の紙を取り除いても紙づまりが解消しない場合は、ディスクガイドを確認してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙トレイを引き出す

3 ディスクガイドを押し下げ（1）、手前に引く（2）

4 両手で本体カバー（1）を開いて、内部に記録紙が残っていないかを確認する

本体カバーが固定される位置まで上げてください。
残っている記録紙があれば取り除いてください。
紙が破れないように静かに抜き取ります。

確認

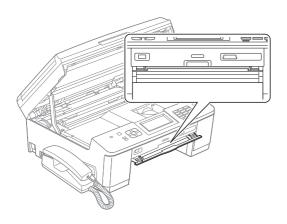
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは、電源プラグを抜いてからプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。

(1)電源プラグが差し込まれたままの状態で、［停止/終了］を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。

(2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く

(3)本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

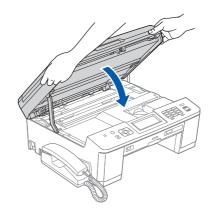
5 ディスクガイドに記録紙が残っていないかを確認する

残っている記録紙があれば取り除いてください。
紙が破れないように静かに抜き取ります。

6 ディスクガイドを閉じる

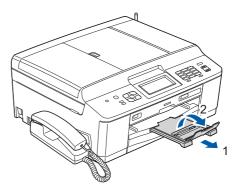
7 本体カバーを閉める

注意

- 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくりと閉じてください。

8 記録紙トレイを元に戻す

本製品から引き出した記録紙トレイを押して、元に戻します。

9 トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し（1）、フラップを開く（2）

10 電源プラグをコンセントに差し込む

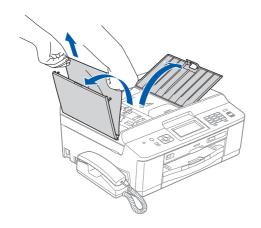
11 エラーメッセージが消えていることを確認する

ADF に原稿が詰まったときは

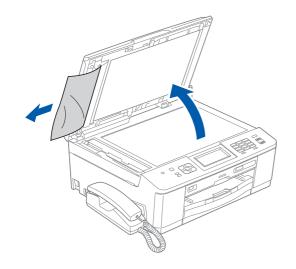
ADF に原稿が詰まると、画面に【原稿が詰まっています】と表示されます。

1 ADF から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

2 ADF カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。

3 ADF カバーを閉める

4 原稿台カバーを開き、詰まった原稿を抜き取る

原稿が破れないように静かに抜き取ります。

5 原稿台カバーを閉める

6 停止 / 終了 を押す

ディスクが詰まったときは

ディスクが前面に詰まったときは

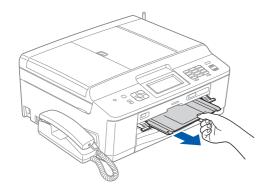
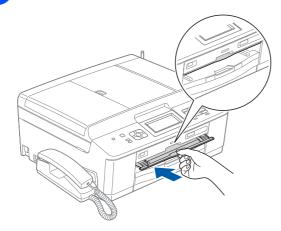
前面に記録ディスクが詰まると、画面に【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

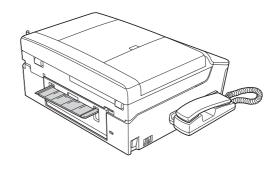
2 ディスクトレイを取り出す

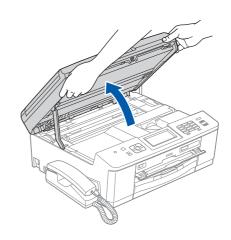
3 ディスクガイドを閉じる

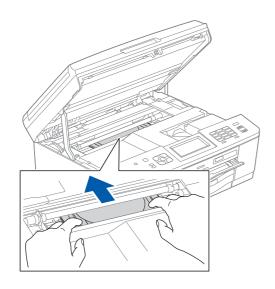
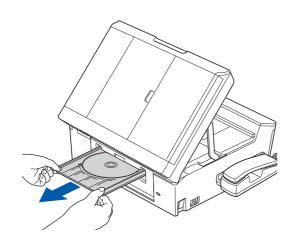
4 電源プラグをコンセントに差し込む

ディスクが背面に詰まったときは

背面に記録ディスクが詰まると、画面に【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示されます。

1 電源プラグをコンセントから抜く

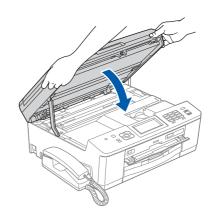
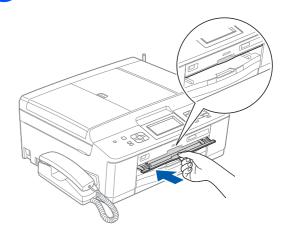
2 本体の背面にディスクトレイを取り出すことができるスペースを確保する

3 両手で本体カバーを開く

本体カバーが固定される位置まで上げてください。

4 指でディスクトレイを本体の背面方向に進める

強く押さないでください。

5 本体の背面からディスクトレイを取り出す

6 本体カバーを閉める

注意

● 本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

両手で本体カバーを持ち、ゆっくり閉じてください。

7 ディスクガイドを閉じる

8 電源プラグをコンセントに差し込む

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒142ページ「インクカートリッジを交換する」
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押してセットします。
印刷できません インク交換 BK ブラック Y イエロー C シアン M マゼンタ	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。ファクスメッセージはすべてモノクロでメモリーに記憶されます。 一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒142ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません　XX ※ XXはエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒152ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒168ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
回線種別を設定できませんでした	ADSLのIPフォンに接続している。 PBXに接続している。 マンションアダプター回線に接続している。	手動で回線種別を設定し直してください。 ⇒34ページ「回線種別を設定する」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が640pixel以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8：3より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしておりません。
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを閉め直してください。

メッセージ	原因	対処
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	本体カバーが完全に閉まっていない。	本体カバーを閉め直してください。
記録ディスクが詰まっています 前	印刷中に記録ディスクが詰まった。	ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 159 ページ「ディスクが前面に詰まったときは」
記録ディスクが詰まっています 後ろ	印刷中に記録ディスクが詰まった。	本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 159 ページ「ディスクが背面に詰まったときは」
記録ディスクを確認してください	ディスクトレイに記録ディスクがない。 レーベルプリントできない記録ディスクが挿入されている。	記録ディスクを取り出し、正しい記録ディスクを入れ直してください。 レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm の CD/DVD/BD です。 ⇒ 61 ページ「記録ディスクをセットする」
記録紙が詰まっています　後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 153 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」
記録紙が詰まっています　前	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「記録紙が前面に詰まったときは」
記録紙が詰まっています　前，後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 154 ページ「記録紙が前面と背面に詰まったときは」
記録紙サイズが違います 正しいサイズの記録紙をセットしてスタートを押してください	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	設定したサイズの記録紙をセットして または を押してください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
記録紙を送れません トレイに記録紙を入れ直してください スライドトレイを正しい位置にセットし スタートを押してください	記録紙がないか、正しくセットされていない。	トレイに記録紙を入れ直してください。 スライドトレイを使用する場合は、スライドトレイを正しい位置にセットして、 または を押してください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
	スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」
	スライドトレイが手前にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「記録紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 153 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 4
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」

メッセージ	原因	対処
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 145 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
原稿が詰まっています	原稿が ADF に詰まっている。	詰まった原稿を取り除き、停止 / 終了 を押した後、原稿を正しくセットし直してください。原稿づまりが解消されてもADFカバーの開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 158 ページ「ADF に原稿が詰まったときは」
子機使用中	子機で通話している。	通話中の相手以外へファクスを送るには、子機の通話終了後に行ってください。
室温が高すぎます 室温を下げてください	室温が高くなっている。	室温を下げてお使いください。
室温が低すぎます 室温を上げてください	室温が低くなっている。	室温を上げてお使いください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外して On/Off ボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから写真をプリントすることもできます。 ⇒ 119 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能なUSB機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンでフォーマットしてください。 または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能なUSBハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。 ※使用可能な USB 機器の詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）にある「よくあるご質問（Q&A）」の「USB フラッシュメモリーの他社製品動作確認情報」をご覧ください。

メッセージ	原因	対処
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「記録紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いて、本体カバーを閉めてください。 ⇒ 152 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 168 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
切断されました	通信中に相手機から回線が切断された。	相手先に電話をし、原因を解除してもらい、再度送信してください。
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。
中間機器（モデムなど）の接続や電源状態を 確認してください 解決しない時は　回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください	モデムやターミナルアダプターなどの接続が外れているか、電源がオフになっている可能性がある。	モデムやターミナルアダプターなどが正しく接続されていること、また、これらの機器の電源がオンになっていることを確認してください。解決しない場合は、回線事業者へ「回線からの供給電圧がない」ことをお伝えください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。

メッセージ	原因	対処
データが残っています	印刷データが本体のメモリーに残っている。	停止/終了 を押してください。 （印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。）
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ディスクトレイが背面に当たりました	トレイを搬送したときに背面に 10cm 以上のスペースがなかった。	前面にトレイが戻ってきた場合は、前面からディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 159 ページ「ディスクが前面に詰まったときは」
		途中で止まってしまった場合は、本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、背面からディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 159 ページ「ディスクが背面に詰まったときは」
ディスクトレイを送れません	ディスクトレイがディスクガイドにセットされていない。	ディスクトレイを正しくセットしてください。 ⇒ 61 ページ「記録ディスクをセットする」
電話・ファクスが使えない状態です 電話回線が接続されていない可能性があります 接続されていない場合は　正しく接続してください	電話回線が接続されていない可能性がある。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。⇒かんたん設置ガイド「接続する」
廃インク吸収パッド満杯です	廃インク吸収パッド[*1]の吸収量が限界に達した。 [*1] ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
話し中/応答がありません	相手先が話し中か、応答がなかった。	少し時間を置いて、もう一度かけ直してください。相手がファクスではない場合は応答しないので、再ダイヤルを繰り返したあと、【話し中／応答がありません】になります。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリが少なくなりました	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒91ページ「ファクスをメモリーから消去する」（一部） ⇒91ページ「すべてのファクスを消去する」（すべて）
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 94 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 95 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 94 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
プリンタ使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。

メッセージ	原因	対処
まもなくインク切れ	インクの残りが少なくなっている。 カラーインクのいずれかが残り少なくなると、カラーファクスの受信が中止されるため、カラーファクスが送られてきても、モノクロで受信されます。また、一部のファクシミリからは、送信が中止されることがあります。この場合は、モノクロで送信してもらうようにしてください。	カラーファクスを受信するには、新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 241 ページ「消耗品などのご注文について」 なお、モノクロでのファクス受信に影響はありません。【印刷できません】になるまで、利用できます。 カラーコピーの場合は、【モノクロ印刷のみ可能です】になるまで利用できます。
まもなく廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に近づいている。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアがいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 フォルダーとファイルの数が 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
メモリがいっぱいです	空きメモリーが不足している。	メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 91 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 91 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒94ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 95 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 • 留守録メッセージ ⇒ 108 ページ「音声メッセージを確認する」
メモリがいっぱいです を押してください	空きメモリーが不足している。	停止 / 終了 を押して、送信またはコピーをキャンセルします。 メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 91 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 91 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒94ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 95 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 • 留守録メッセージ ⇒ 108 ページ「音声メッセージを確認する」
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。

メッセージ	原因	対処
メモリがいっぱいです 読み取り分送信 ⇒ スタート を押して下さい 中止 ⇒	空きメモリーが不足している。	すでに読み取りが終わっているファクス原稿は、スタート カラー または モノクロ スタート を押すと送信されます。 停止／終了 を押すと送信をキャンセルします。 メモリーに記録されている不要な留守録メッセージやファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 91 ページ「ファクスを印刷する」 ⇒ 91 ページ「ファクスをメモリーから消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒94ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 95 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 • 留守録メッセージ ⇒ 108 ページ「音声メッセージを確認する」
メモリがいっぱいです 読み取り分コピー ⇒ 中止 ⇒	空きメモリーが不足している。	すでに読み取りが終わっているコピー原稿は、スタート カラー または モノクロ スタート を押すとコピーされます。 停止／終了 を押すとコピーをキャンセルします。
メモリカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
モノクロ印刷のみ可能です インク交換 Y イエロー C シアン M マゼンタ	1 色以上のカラーインクがなくなっている。 この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。 • 印刷 プリンタードライバーからモノクロ印刷の指示をすれば、モノクロで引き続き印刷できます。通常の使用頻度で約 1 ヶ月間使用できます。ただし、両面印刷はできません。 • コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合、モノクロでコピーできます。ただし、両面コピーはできません。 • ファクス 記録紙タイプを【普通紙】【インクジェット紙】に設定している場合、モノクロで受信し、印刷します。 ただし、次の場合は新しいインクカートリッジを取り付けるまで、モノクロでも印刷できません。 • 空のインクカートリッジを取り外した場合 • プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしている場合	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、本製品でファクスメッセージを印刷できません。以下の方法でメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクシミリかパソコンに転送できます。

別のファクシミリに転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 画面上の【メニュー】、【サービス】、【データ転送】、【ファクス転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。

◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順 (3) に進んでください。

(3) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

本製品と接続しているパソコンにファクスメッセージを転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 画面上の【メニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PC ファクス受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

(3) メッセージを確認して、【OK】を押す

◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

(4) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選び、【OK】を押す

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか ? ／はい／いいえ】と表示されます。

(5) 【はい】を押す

◆現在「みるだけ受信」が設定されていない場合は、このあと、本体で印刷するかどうかを選択する画面が表示されます。【本体では印刷しない】を選んでください。

(6) 停止/終了 を押す

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ／ファクス転送／メモリ保持のみ）に戻してください。（212 ページ）

通信管理レポートを別のファクシミリに転送する場合

(1) 停止/終了 を押して、エラーメッセージを閉じる

(2) 画面上の【メニュー】、【サービス】、【データ転送】、【レポート転送】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

(3) 転送先のファクス番号を入力し、モノクロスタート を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

子機のメッセージ

エラーメッセージ	原因	対処
ガイセン　シヨウチュウ	親機またはその他の子機が使用中。	使い終わるのを待ってください。
オヤキヲ サガシテイマス	通話中のコードレス子機の使用圏内（親機から、障害物のない直線距離で約 100m 以内）を越えた。	通話中は、使用圏内に戻ってください。
ツウワ　ケンガイ	電波状態が悪い、親機の電源プラグが抜けている。	親機の状態を確認してください。 子機の外線を押してください。
デンゲン　Off	親機の電源が入っていない。	
＜デンチノコリナシ＞ ジュウデン シテクダサイ	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。
ガイセンボタンヲ オシテクダサイ	子機が充電器に正しくセットされていない。 充電器の電源プラグが抜けている。	子機を充電器に正しくセットしてください。 充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
コキガ ハズレテイマス		
デンワチョウガ イッパイデス ！	電話帳に登録できる件数を超えている。	不要な電話番号を消去してください。
デンワチョウトウロク トウロクガ　アリマセン	電話帳に登録がない。	電話帳を登録してください。 ⇒ 101 ページ「子機の電話帳を利用する」
ハッシンリレキ　ナシ	発信履歴がない。	－
ジュウデン　デキマセン。 モウイチド セット　シテクダサイ。	充電器に異物が付着している、または設置不良。（すき間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。

故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp/）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない/電話を受けられない。	モジュラージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッタを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュラージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるか確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
	電話がかけられない。（受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	回線種別が正しく設定されていますか。	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
		電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 再ダイヤル/履歴（親機）または 文字切替/P（子機）を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」または「P」が入っていませんか。	「－」または「P」を削除して登録してください。
	スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ 45 ページ「親機の音量を設定する」
	通話中に 🔊 🔉 で受話音量の設定ができない。	機能設定中に電話を受けましたか。	機能設定中に電話を受けた場合は、停止/終了 を押してから 🔊 🔉 で受話音量を変更してください。
	電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	着信音量を大きくしてください。 ⇒ 45 ページ「親機の音量を設定する」
	受話器からの相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 45 ページ「親機の音量を設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	相手に声が聞こえないと言われる。	受話器の送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	子機でスピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	スピーカーホン を押して子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	呼出回数が0回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。 ⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【あり】になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を【なし】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	携帯電話に電話がかけられない。	ひかり電話サービス、直収電話サービス、ケーブルTV 局が提供する電話サービスをご利用していて、ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを【しない】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ケータイ通話お得サービスを設定する」
	受話器から「ツー」という音が聞こえない。	オンフック（親機）を押して、スピーカーから「ツー」という音が聞こえていますか。	「ツー」という音が聞こえている場合は、受話器コードが親機にしっかり接続されているか確認してください。 「ツー」という音が聞こえていない場合は、電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
		電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。 ⇒ 89 ページ「親切受信を設定する」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバー・ディスプレイサービス（有料）の契約はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバー・ディスプレイサービスを契約する必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバーディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 191 ページ「回線状況に応じて設定する」	
	本製品のメロディが鳴りだして止まらない。	【デモ動作設定】が【する】になっていませんか。	メロディは 停止/終了 を押すと止まります。 本製品は、電話回線を接続しない状態で【デモ動作設定】が【する】に設定されていると、本製品の機能をメロディにのせて紹介するデモ動作を開始します。【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【デモ動作設定】の順に押して、デモ動作を【しない】に変更すると、以後はデモ動作をやめることができます。
	電話がかかってきても応答しない/着信音が鳴らない。	おやすみモードが設定されていませんか。	おやすみタイマーの開始 / 終了時刻を変更してください。または、おやすみモードを解除してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「おやすみモードを設定する」
	ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。	
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約されていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ 45 ページ「音量を設定する」
	電話がかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート（ターミナルアダプターの接続口）を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているか確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているか確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1 ～ 2 回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。（初期値のままで使用可能です。）
			契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
		相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。	相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。 この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいことになります。
		ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。
	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDN の交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【ISDN】にしてください。 ⇒ 191 ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 （電話も使えない）	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続（並列接続）していませんか。	ブランチ接続（並列接続）をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
	携帯電話にかけられない。	ケータイ通話お得サービスを【する】に設定していませんか。	ケータイ通話お得サービスを【しない】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「ケータイ通話お得サービスを設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ひかり電話	ナンバー･ディスプレイが動作しない。	VoIP アダプター側が、ナンバー･ディスプレイを使用しない設定になっていませんか。	VoIP アダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIP アダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIP アダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
子機	動作しない/着信音が鳴らない。	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていませんか。	バッテリーを充電してください。
			バッテリーを交換してください。 ⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
		着信音量がオフ【□□□□】になっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒ 46 ページ「着信音量を設定する」
		親機の呼出回数が1回に設定されていませんか。	親機の呼出回数を 2 回以上に設定してください。子機は親機よりも遅れて着信音が鳴り始める場合があります。
		親機から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、(子機を) 親機に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。 ⇒ 194 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
		親機で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が0本〜 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		携帯電話の充電器や、AC アダプターが近くにあったり、電源が一緒になっていませんか。	親機や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		2.4GHz 帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。 ⇒ 194 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、「親切受信」を【しない】に設定してください。 ⇒ 89 ページ「親切受信を設定する」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒ 88 ページ「電話に出てから受ける」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話が切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので IP 網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイサービスを契約しているのに、ナンバー・ディスプレイの設定が【なし】になっていませんか。	親機で、ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 2 章「ナンバー・ディスプレイサービスを設定する」
	雑音が入りやすい。	近くに電気製品や障害物はありませんか。	設置環境を確認してください。 ⇒ 194 ページ「通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する」
			親機のアンテナを立てたり、向きを調節してみてください。
			親機や子機の置き場所や向きを変えてみてください。
			親機、子機、電気製品の電源を別々のコンセントに接続してみてください。
		移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
		親機を使っても同様に雑音が入りますか。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒ 191 ページ「回線状況に応じて設定する」
	雑音が入りやすい。 通話が切れる。	子機のアンテナ表示が0本～ 2 本になっていませんか。	子機のアンテナが 3 本表示されるところでご使用ください。
			子機の通話パワーを「ツヨイ」に設定してください。 ⇒193ページ「通話パワーの設定を変更する」
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
		受話音量の設定が小さくありませんか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 46 ページ「受話音量を設定する」
	相手から聞こえないと言われる。	送話口（マイク）に向かって話していますか。 また、送話口を髪でふさいだり、顔に押し付けたりして話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面にくるようにし、ふさがないようにして話してください。
		通話音質を変更していませんか。	【通話音質調整】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 191 ページ「回線状況に応じて設定する」
	通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 191 ページ「回線状況に応じて設定する」	
	子機の着信音が遅れて鳴る。	故障ではありません。（電波を使用しているため、電話がかかってくると最初に親機の着信音が鳴り、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。）	そのままお使いください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	充電器に置いても「ジュウデンチュウ」と表示されない。	充電器の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	充電器の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
		充電器に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を充電器に置いて約 2 分後に「ジュウデンチュウ」と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。
	子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。
	充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して、充電器にセットしてください。 • 表示する場合 バッテリーの寿命もしくはバッテリーコードを確認してください。 • 表示しない場合 充電器の電源プラグと充電器を確認してください。
	充電器からとったり、外線を押すと、「ピッピッピッ」と鳴る。	親機や他の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		親機から離れすぎていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
	充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に「<デンチノコリナシ>ジュウデンシテクダサイ」と表示される。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 150 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
	警告音（ピーピーピー）が鳴り、画面に「コキガ　ハズレテイマス」と表示される。	充電器から子機をとり、ダイヤル操作なしで 60 秒経過していませんか。	子機を充電器に戻してください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ）が鳴る。	子機で通話中に電波の届かない所に出ていませんか。	親機の近く（通話圏内）に戻ってください。
	通話中に警告音（ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ）が鳴る。	バッテリーが少なくなっていませんか。	通話を終了して子機を充電器に戻してください。
			通話を保留にして子機を充電器に戻し、親機で通話を続けてください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号（ピッポッパッ）が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		携帯電話からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	モノクロスタートまたはカラースタートを押す前に、受話器を戻していませんか。	モノクロスタートまたはカラースタートを押してから受話器を戻してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「話をしてから送る」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。（ISDN 回線の場合）	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送信 / 受信ができないことがあります。IP 網を使わずに送信 / 受信してください。 不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
			安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 192 ページ「安心通信モードに設定する」
		ファクスを送信/受信できる相手とできない相手がいますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心（VoIP）】の順にお試しください。 ⇒ 192 ページ「安心通信モードに設定する」
		みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 90 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除してください。 ⇒ 92 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 テストしたい原稿を下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス送信先：052-824-4773	
	ファクスを受信できない。	転送電話（ボイスワープ）の契約をしていませんか。	転送電話（ボイスワープ）の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	カラーファクス受信ができない。	みるだけ受信を【する（画面で確認）】にしていませんか。	カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【ファクス転送】にしていませんか。	カラーファクスを転送することはできません。カラーファクスは転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	カラーファクス受信ができない。	メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。 排紙トレイを確認してください。
		安心通信モードを【安心（VoIP）】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。 カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】または【高速】にしてください。 ⇒ 192 ページ「安心通信モードに設定する」
		残り少なくなっているインクがありませんか。	インクが残り少なくなるとカラーファクスの印刷ができません。カラーファクスを印刷するには、新しいインクカートリッジに交換する必要があります。 ⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」
	ファクスを送信できない場合がある。（IP 網を使用している場合）	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに 再ダイヤル/履歴 を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。
		自動送信機能を利用していますか。	
		手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。
	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。
	ファクスを複数枚送信できない。	リアルタイム送信を【する】にしていませんか。	リアルタイム送信を【しない】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「原稿をすぐに送る」
		オンフック を押してファクスを送信していませんか。	オンフック を押さずに送信してください。
		カラーファクスを原稿台ガラスから送信していませんか。	カラーファクスを複数枚送るときは、ADF をお使いください。 ⇒ 80 ページ「ADF からファクスを送る」
	送信後、相手から画像が乱れている（黒い縦の線が入る）と連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認してください。または、別のファクスから相手先に送信してください。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整してください。 ⇒ 83 ページ「画質や濃度を変更する」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホン II」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。	ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。 ⇒かんたん設置ガイド

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	送信後、受信側から受信したファクスに縦の線が入っているという連絡があった。	本製品の読み取り部分、または受信側ファクシミリのプリンターのヘッドが汚れていませんか。	読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 192 ページ「安心通信モードに設定する」
	受信したファクスに白抜けした所がある。		
	受信 / コピーしても、記録紙が出てこない。	記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙、本体カバーを正しくセットしてください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がなくなっていませんか。	
		本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。	
		記録紙が詰まっていませんか。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「記録紙が詰まったときは」
		インクの残量は十分ですか。	インク残量を確認してください。 ⇒ 144 ページ「インク残量を確認する」
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 90 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 92 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる。	相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。 ⇒ 113 ページ「コピーする」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
	コピーに黒い縦の線が入る。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 147 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	2 枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿が A4 より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「自動的に縮小して受ける」
	自動受信できない。	呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出回数を6回以下に、留守モードのときは呼出回数を 2 回以下に設定してください。 ⇒ 43 ページ「呼出回数を設定する」 または、モノクロスタートやスタートカラーを押して手動で受信してください。
		「みるだけ受信」が設定されていませんか。	「みるだけ受信」が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 90 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」 自動で記録紙に印刷するには、「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 92 ページ「ファクスを自動的に印刷する（みるだけ受信を解除する / 設定する）」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	構内交換機（PBX）に内線接続したときに、ファクス受信できない。	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認します。	特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒ 191 ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 152 ページ「記録紙が詰まったときは」
	自動両面コピーのとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 138 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面コピーのとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	あんしん設定（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 6 章「両面コピーする」）をお試しください。
	ADF 使用時、原稿が送り込まれていかない。	画面に【原稿セット OK】と表示される位置まで原稿をしっかりと差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF カバーは確実に閉まっていますか。	ADF カバーを閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス/コピー	ADF 使用時、原稿が送り込まれていかない。	原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF 使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。	ADF ガイドを原稿の幅に合わせてから原稿をセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていませんか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。
	ADF 使用時、本製品の動作が遅くなる。	大量の原稿を連続で読み取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてからご使用ください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
	拡大 / 縮小で【用紙に合わせる】が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わせる】が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
	印刷面の下部が汚れる。	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	スキャナー（読み取り部）を清掃してください。 ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ❾
プリント(印刷)	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 137 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	パソコンから印刷できない。 （①～⑪の順番に試してください。）	① 本製品とパソコンの接続方式（USB、有線 LAN、無線 LAN）を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド また、有線 LAN と無線 LAN を切り替える場合は、インストール作業を行う前に、本製品のネットワークメニューから【有線 / 無線切替え】で、新しい接続方式に設定を切り替えてください（【メニュー】→【ネットワーク】→【有線 / 無線切替え】→新たに変更したい接続方式、の順に選択）。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。 （①〜⑪の順番に試してください。）	② 本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 161 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」
		③ USB ケーブルはパソコンと本体側にしっかりと接続されていますか。 また、LAN ケーブルでの接続の場合は正しく接続されていますか。無線LAN接続の場合、正しくセットアップされていますか。	本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USBハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」をご覧ください。
		④ インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」
		⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。[プリンター] アイコンを開き、[プリンター] から [すべてのドキュメントの取り消し] を行ってください。 <Windows® 7> [スタート] − [デバイスとプリンター] − [プリンターと FAX] の順にクリックします。 <Windows Vista®> [スタート] − [コントロールパネル] − [ハードウェアとサウンド] − [プリンタ] の順にクリックします。 <Windows® XP> [スタート] − [コントロールパネル] − [プリンタとその他のハードウェア] − [プリンタと FAX] の順にクリックします。
		⑥ [通常使用するプリンター] の設定になっていますか。	プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックをつけます。
		⑦ [一時停止] の状態になっていませんか。	プリンターアイコンを右クリックして、[印刷の再開] がメニューにある場合は、一時停止の状態です。[印刷の再開] をクリックしてください。
		⑧ [オフライン] の状態になっていませんか。	プリンターアイコンを右クリックして、[プリンターをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオンラインで使用する] をクリックしてください。
		⑨ 印刷先（ポート）の設定は正しいですか。	プリンターアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。[ポート] タブをクリックして印刷先のポートが正しく設定されているか確認してください。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	パソコンから印刷できない。（①～⑪の順番に試してください。）	⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、別冊の「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法（Windows® のみ） ［スタート］ － ［すべてのプログラム（プログラム）］ － ［Brother］ － ［MFC-XXXX*1］ － ［アンインストール］ の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 *1 XXXX はモデルの型式名です。	
	斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 153 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 4
	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 9
		記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 153 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 4
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	コルクの部分を清掃してください。 ⇒ 137 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 48 ページ「記録紙のセット」
	印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの［基本設定］タブで［乾きにくい紙］をチェックしてください。
	文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 55 ページ「スライドトレイにセットする」
		紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 153 ページ「記録紙が背面に詰まったときは」手順 4
	印刷速度が極端に遅い。	［画質強調］が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がなければ、次のように設定します。 Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［画質強調］のチェックを外す。 Macintosh の場合 カラー設定画面で［カラー詳細設定］から［画質強調］のチェックを外す。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント(印刷)	印刷速度が極端に遅い。	［ふちなし印刷］の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常よりも速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がなければ、次のように設定します。 Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［基本設定］タブの順にクリックし、［ふちなし印刷］のチェックを外す。 Macintosh の場合 ［ファイル］、［ページ設定］をクリックし、［用紙サイズ］のプリダウンメニューから［(ふちなし)］の記載がないサイズを選ぶ。
	［画質強調］が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では［画質強調］は機能しません。この機能をご利用になるには少なくとも24ビットカラー以上をご使用ください。Windows® の［スタート］メニューから（［設定］ー）［コントロールパネル］ー［画面］ー［設定］を選び、画面の色を 24 ビット以上に設定してください。
		画素数の多いカメラで撮影した画像ですか。	メガピクセルのカメラで撮影した画像は［画質強調］に設定する必要はありません。画素数の少ないカメラで撮影した画像に対して有効です。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていないですか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。 パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内でご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを「カチッ」と音がするまで確実に引き出してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 9
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 139 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 136 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 138 ページ「排紙ローラーを清掃する」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷された記録紙にしわがよる。	［双方向印刷］の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、［双方向印刷］に設定されています。［双方向印刷］では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。［双方向印刷］を解除して印刷をお試しください。ただし、［双方向印刷］を解除すると、印刷速度は落ちます。 Windows® の場合 印刷設定画面で、［プロパティ］、［拡張機能］タブ、［カラー設定］の順にクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。 Macintosh の場合 印刷設定画面で［拡張機能］タブをクリックし、［双方向印刷］のチェックを外す。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 147 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
	印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 145 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 48 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 49 ページ「専用紙・推奨紙」
	カラーで受信したはずのファクスがモノクロで印刷される。	カラーインクカートリッジが空かほとんど空になっていませんか。	カラー用のカートリッジを交換してください。 ⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」
	印刷ページの端や中央がかすむ。	本製品は、平らで水平な場所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、ヘッドクリーニングを数回行ってみてください。 ⇒ 145 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場合はインクカートリッジを交換してください。それでもまだ、印刷の質に問題がある場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れていませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 142 ページ「インクカートリッジを交換する」
		プリントヘッドがずれていませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 147 ページ「印刷位置のズレをチェックする」
		プリンタードライバーの基本設定で、用紙種類を正しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント（印刷）	印刷の質が悪い。	インクカートリッジの有効期限が過ぎていませんか。	有効期限内のインクカートリッジをお使いください。
		本製品に取り付けられているインクカートリッジが、6ヶ月以上取り付けられたままになっていませんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ってください。
		純正以外のインクを使用していませんか。	4 色とも純正インクカートリッジと交換して、ヘッドクリーニングを数回行ってください。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
		記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 48 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 49 ページ「専用紙・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20 ～ 33 ℃の状態でご利用になることをお勧めします。 ⇒ 227 ページ「電源その他」
	写真用光沢紙で印刷したとき、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 57 ページ「記録紙の種類を設定する」
	インクが乾くのに時間がかかる。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にして、セットしてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの［基本設定］タブの用紙種類で設定します。
	［2 ページ］印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで［2 ページ］を設定している場合は、プリンタードライバーの［2 ページ］の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 156 ページ「紙づまりが解消しないときは」
	自動両面印刷のとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 138 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 Windows® の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Windows® 編」－「［拡張機能］タブの設定」 Macintosh の場合 ⇒ユーザーズガイド　パソコン活用編「Macintosh 編」－「拡張設定」
	はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているか確認してください。 ⇒55ページ「スライドトレイにセットする」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
デジカメプリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真や動画の画像の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
スキャナー	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで［ファイル］－［TWAIN 対応機器の選択］の選択をして、ブラザー TWAIN ドライバーを選択し、［選択］をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	ADF を使ってきれいにスキャンできない。 （黒い縦の線が入る）	スキャナー（読み取り部）が汚れていませんか。	ADF 読み取り部を清掃してください。 ⇒ 135 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
ソフト Windows®	［本製品接続エラー］か［本製品はビジー状態です。］というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。	電源を入れてください。
		USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	USB ケーブルは他の周辺機器（Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど）を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません インク交換 XX*1】と表示されていませんか。 *1XX は BK など、インクのカラー表示です。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。 ※リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。 ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で［取り出し］操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。（メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、［取り出し］操作はできません。）
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、［カスタム］をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 ・IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」－「IP 取得方法」 ・ネットワーク設定リストの印刷 ⇒かんたん設置ガイド「ネットワーク設定リストを印刷する」	
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から［検索］をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器（本製品）を選び、再度設定してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク操作編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」
その他	電源が入らない。	On/Off を押して電源をオンにしましたか。	操作パネル上の On/Off を押して、電源をオンにしてください。 ⇒ 31 ページ「電源ボタンについて」
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを閉じたままにしていませんか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。記録紙ストッパーを開いてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」
	出力された記録紙がそろわない。		

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	画面の文字が読みにくい。	親機： 画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「画面設定を変更する」
		子機： 画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 1 章「子機の画面設定を変更する」
	スピーカーからの音（キータッチ音など）が割れる。	アンテナとスピーカーの位置が近くないですか。	アンテナを回転してスピーカーから遠ざけてください。
	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷していなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 134 ページ「本製品の外側を清掃する」
	プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていませんか。	以下の手順で操作してください。 ① 停止 / 終了 を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 本製品の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、ユーザーズガイド ネットワーク操作編「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	本製品の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。【タッチパネルエラー】というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、本製品に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、**電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。**
これによって、改善される場合があります。
上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する

通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

[特別回線対応]

ファクスがうまく送信・受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。
お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【特別回線対応】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 回線種別を選ぶ

お使いの環境に合わせて、【一般／ ISDN ／ PBX】から選びます。

3 停止 / 終了 を押して設定を終了する

> 【PBX】に設定すると、ナンバー・ディスプレイの設定が自動的に【なし】になります。ナンバー・ディスプレイの設定を【あり】にするときは、特別回線対応の設定を【一般】にしてください。

回線状況に応じて設定する

[通話音質調整]

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。
お買い上げ時は、【設定 1】に設定されています。
設定は、親機で行います。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【通話音質調整】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【子機通話調整】または【親機通話調整】を選ぶ

3 現在とは異なる設定値を選んで、声の響きを確認する

【子機通話調整】は、【設定 1】→【設定 2】→【設定 3】→【設定 4】の順にお試しください。
【親機通話調整】は、【設定 1】→【設定 2】→【設定 3】の順にお試しください。

> 【子機通話調整】を変更したときは、画面に【お待ちください】→【設定しました】と表示されます。

> 【設定 1】→【設定 2】→【設定 3】→【設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声がはっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感じることがあります。

4 停止 / 終了 を押して設定を終了する

安心通信モードに設定する

［安心通信モード］

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、【安心通信モード】の設定を変えます。
お買い上げ時は【高速】に設定されているので、【安心（VoIP)】に設定してお試しください。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【安心通信モード】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【安心（VoIP)】を押す

設定を戻すときは、【高速】または【標準】を選びます。

確認

■【安心（VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。（相手のファクシミリによっては、モノクロに変換して受信します。）

3 停止/終了を押して設定を終了する

- ファクスの送信・受信にかかる時間は、【高速】→【標準】→【安心（VoIP)】の順に、長くなります。
- IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ 4 つ）を付けておかけください。このとき、通信料は NTT などの一般の加入電話からの請求になります。
ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ 4 つ）を付けてかけることができません。
- 【安心（VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【高速】または【標準】に設定して使用します。
- ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
  - 通信回線の品質
  - 信号レベル
  - 通信相手機の影響
  - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

［ダイヤルトーン設定］

ファクス送信時に、「おかけになった番号は現在使われておりません」などのメッセージが流れて正しく自動送信ができない場合は、ダイヤルトーンを【検知する】に設定してください。お買い上げ時は【検知しない】に設定されています。

確認

■ 使用している PBX や IP 電話のアダプターによっては、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。その場合は【検知しない】のままお使いください。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【ダイヤルトーン設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 【検知する】を押す

設定を戻すときは、【検知しない】を選びます。

3 停止/終了を押して設定を終了する

- ダイヤルトーンの設定を【検知する】にするのは、はじめに述べた状況のみに限定してください。通常は【検知しない】に設定して使用します。

子機の通信状況を改善する

［子機通信チャンネル］

子機通信チャンネルを変更する

無線LANの通信速度が低下する場合や通話状況がよくない場合、無線 LAN で使用している電波と、親機～子機間の通信で使用している電波が干渉している可能性があります。この場合、親機～子機間の通信チャンネルを切り替えると、改善されることがあります。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【その他】、【子機通信チャンネル】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

2 設定を選ぶ

画面に【お待ちください】→【設定しました】と表示されます。

3 停止／終了 を押して設定を終了する

通話パワーの設定を変更する

子機の電波状況がよくないとき、通話パワーを「ツヨイ」にすると、通話品質が改善されることがあります。お買い上げ時は、「ヒョウジュン」に設定されています。

確認

■ 通話パワーを「ツヨイ」に設定したときは、「ヒョウジュン」の設定に比べ連続通話時間が短くなることがあります。

1 子機の 機能／確定 を押す

2 ✚ で「ツウワパワー」を選び、機能／確定 を押す

3 ✚ で「ツヨイ」を選び、機能／確定 を押す

4 切 を押して設定を終了する

通信や子機の使用に影響をおよぼす環境を確認し設置場所を調整する

親機や子機の近くに微弱な電波を発する電気製品がある場合は、通話や子機の使用に影響を受けることがあります。通話状況が良くないときは、下図を参考に本製品の設置場所を調整してください。また、別冊の「安全にお使いいただくために」の「子機の使用について」を必ずご確認ください。

なるべく離す

強い電波源には特にご注意ください

必ず3m以上離す

電子レンジ

携帯電話

ACアダプター

充電器

無線LAN対応AV機器

親機

短距離無線通信対応製品

携帯電話

マウス

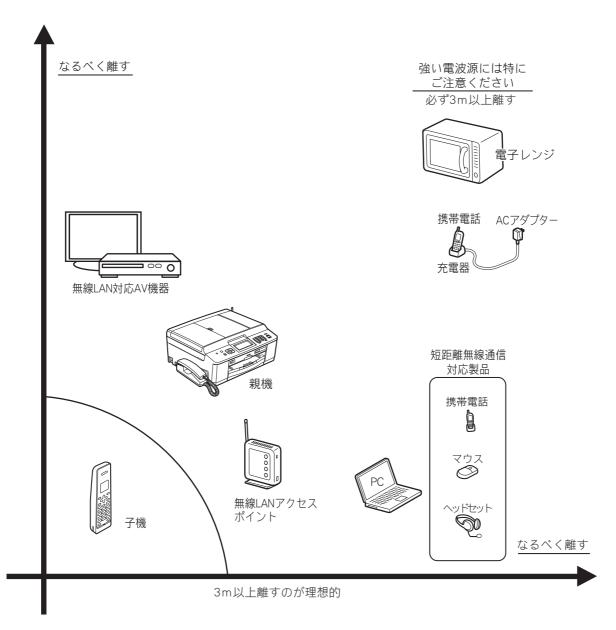
ヘッドセット

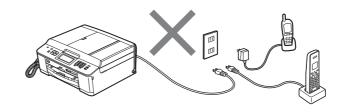
PC

無線LANアクセスポイント

子機

なるべく離す

3m以上離すのが理想的

接続するコンセントも確認

右図にあるような電気製品などと同じコンセントに接続すると、通話や子機の使用に不具合が起こる場合があります。

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。

機能設定を元に戻す

[機能設定リセット]

本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
電話帳・履歴・メモリー内のデータは消去されません。

確認

- ■ 録音した応答メッセージは消去されます。
⇒ 105 ページ「応答メッセージを録音する」
- ■ 通信待ちのファクスは消去されます。
⇒ 96 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」
- ■ 外線使用中または子機使用中は、機能設定リセットを使用できません。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【機能設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

【機能設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を 2 秒以上押す

設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。回線種別の自動設定が始まります。

ネットワーク設定を元に戻す

[ネットワーク設定リセット]

本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【ネットワーク設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

【ネットワーク設定をリセットしますか ？／はい／いいえ 】と表示されます。

2 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を 2 秒以上押す

ネットワーク設定が消去され、本製品が自動的に再起動します。

確認

- ■ RSS の設定時に、プロキシ設定をした場合、【ネットワーク設定リセット】を行うと、プロキシの情報も初期化されます。ネットワークの再設定の際は、RSS のためにプロキシ情報も再度設定してください。

RSS 設定を元に戻す

[RSS 設定リセット]

本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【RSS 設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

【RSS 設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

【実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を 2 秒以上押す

RSS 設定が消去されます。

【メニュー】、【RSS】、【RSS 設定リセット】の順に押しても、RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去する

[電話帳 & ファクスリセット]

本製品の以下の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お客様の名前・電話番号
  ⇒ 36 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」
- 電話帳の内容
  ⇒ 98 ページ「親機の電話帳を利用する」
- グループダイヤルの内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 4 章「グループダイヤルを登録する」
- 電話の発信履歴、着信履歴、再ダイヤル機能の内容
  ⇒ 67 ページ「いろいろな電話のかけかた」
- ファクスの発信履歴、着信履歴の内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る」
- ファクス転送の設定
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「ファクスを転送する」
- 留守録転送の設定
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「留守録転送を設定する」
- 通信管理レポートの内容
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「通信管理レポートを印刷する」
- メモリーの内容（受信データも消去されます。）
- 録音した応答メッセージ
- 録音した通話

確認

- ■ メモリーに受信したファクスデータも消去されます。未読のファクスがないかを確認してください。
  ⇒ 90 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）/ 印刷する」
  ⇒ 94 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【電話帳 & ファクスリセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

【電話帳 & ファクスをリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を 2 秒以上押す

電話帳・履歴・メモリー・録音データが消去され、本製品が自動的に再起動します。

すべての設定を元に戻す

［全設定リセット］

本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

確認

■ 全設定リセットを実行すると、電話帳などの内容を元に戻すことはできません。あらかじめ、電話帳に登録されている電話番号を印刷しておくことをお勧めします。
⇒ 100 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 画面上の【メニュー】、【初期設定】、【設定リセット】、【全設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

【全設定をリセットしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

2 【はい】を押す

【再起動しますか ？　実行する場合は［はい］を 2 秒間押してください　キャンセルする場合は［いいえ］を押してください／はい／いいえ】と表示されます。

3 【はい】を 2 秒以上押す

設定した内容が消去され、本製品が自動的に再起動します。

回線種別の自動設定が始まります。

子機の個人情報を消去する

子機の以下の内容を消去します。

- 電話帳の内容
  ⇒ 101 ページ「子機の電話帳を利用する」
- 発信履歴の内容
  ⇒ 67 ページ「最近かけた相手にかける（発信履歴）」
- 着信履歴の内容
  ⇒ 67 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」

確認

■ 子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。

1 **［機能/確定］［＊］［機能/確定］［＊］を続けて押す**

「コジンジョウホウ ショウキョ？ ／ 1. スル　2. シナイ」と表示されます。

2 **［1］を押す**

「スベテショウキョ?／1. スル　2. シナイ　バンゴウニュウリョク」と表示されます。

3 **もう一度［1］を押す**

個人情報が消去されます。

4 **［切］を押す**

子機の電話帳や履歴を削除しても、親機には反映されません。

こんなときは

インターネット上のサポートの案内を見るときは

付属の CD-ROM から、サポートサイトなどの案内メニューを表示させることができます。

Windows® の場合

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

トップメニューの画面が表示されないときは、［マイ コンピューター（コンピューター）］から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

2 ［サービスとサポート］をクリックする

3 見たい項目をクリックする

- ブラザーホームページ
  ブラザーのホームページを表示します。
- サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）
  サポートサイトを表示します。
- ブラザーダイレクトクラブ
  インクカートリッジなどを購入できるオンラインショップを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。
- マイミーオ・オープンテラス
  マイミーオのスペシャルサイトを表示します。

Macintosh の場合

1 付属の CD-ROM を、Macintosh の CD-ROM ドライブにセットする

2 ［サービスとサポート］をダブルクリックする

3 見たい項目をクリックする

- NewSoft CD Labeler
  NewSoft CD Labeler のインストーラーをダウンロードします。
- Presto! PageManager
  Presto! PageManager のインストーラーをダウンロードします。
- オンラインユーザー登録
  オンライン登録画面を表示します。
- サポート情報
  サポートサイトを表示します。
- 消耗品情報
  ブラザー純正の消耗品の案内を表示します。

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の［ソフトウェアダウンロード］から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の URL

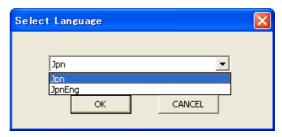
http://solutions.brother.co.jp/

ドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードするときは

● ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル中央部で確認して、正しく選択してください。

● ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

ドライバーをインストールするときの注意

● インストールの途中で下記の画面が表示されたときは、［Jpn］を選択し［OK］をクリックしてください。［JpnEng］を選択すると、ドライバーのインストール時、手順を案内する表示言語が英語になったり、印刷設定のプロパティ画面において表示言語が英語に替わったりします。

ファームウェアをインストールするときの注意

● ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページの［ファームウェア更新時の注意事項］を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

子機を増設する / 登録抹消する

［子機増設モード］

別売りの増設子機を購入して、子機を増設するときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。親機に付属の子機を含めて 4 台まで増設できます。

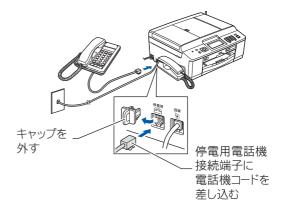
使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

- 増設子機（BCL-D110BK（黒））は別売りです。本製品または子機をお買い上げの販売店または弊社ダイクレクトクラブでお買い求めください。
  ⇒ 241 ページ「消耗品などのご注文について」
- 登録方法は増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は親機も子機も使用できなくなります。停電時に備えて、あらかじめ停電用電話機（AC 電源を必要としない電話機）を保管することをお勧めします。停電用電話機を親機の停電用電話機接続端子に接続すると、停電時に停電用電話機で電話をかけたり受けることができます。

また、以下のデータは本製品内蔵のフラッシュメモリーに保存されるため、停電時でも消去されません。

- 各種登録、設定内容
- 電話帳（親機、子機）
- 発信 / 着信履歴（親機、子機）
- 通信管理レポート
- 受信メモリー文書、送信メモリー文書、録音されたメッセージ

確認

- ■ 停電時以外は停電用電話機を接続しないでください。誤動作により正常に使用できないことがあります。
- ■ 日付と時刻は設定し直してください。
  ⇒ 35 ページ「日付と時刻を設定する」
- ■ 通話中に停電になったときは、親機、子機ともに電話は切れます。

本製品のシリアルナンバーを確認する

[製品情報]

1 画面上の【メニュー】、【製品情報】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

2 停止/終了 を押す

本製品の設定内容や機能を確認する

[レポート印刷]

1 記録紙をセットする

⇒ 51 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 画面上の【メニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは、【▼】/【▲】で、画面をスクロールさせます。

3 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
  ⇒ 100 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
  本製品の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
  本製品のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
  無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
  ⇒ユーザーズガイド 応用編 第 3 章「着信履歴リストを印刷する」

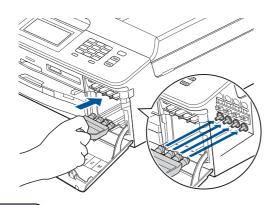
4 モノクロスタート を押す

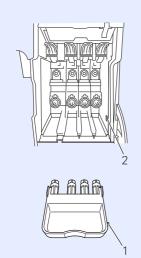
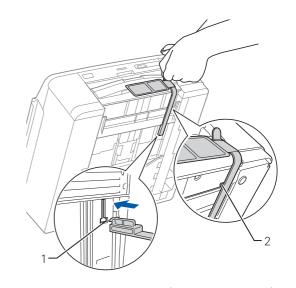
選んだレポートが印刷されます。

5 停止/終了 を押す

本製品を輸送するときは

引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

● インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
保護部材がない場合は、何も装着しない状態で輸送してください。

確認

■ 保護部材の突起（1）が、カートリッジのセット部内壁の溝 (2) の位置までくるように、しっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。

● 記録紙トレイには、お買い上げ時にセットされていた保護部材を（1）（2）の順に取り付けてください。保護部材がない場合は、テープなどで固定してください。

● 電話機コードや USB ケーブル、LAN ケーブルは本製品から取り外してください。

本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄するときは、設定した内容や発信・着信履歴、メモリー内のファクスデータなど、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。

⇒ 197 ページ「すべての設定を元に戻す」

付録

文字の入力方法 206
親機 206
文字の割り当て 206
機能ボタンの使いかた 207
入力制限（入力できる文字の種類や文字数） 207
入力例 207
子機 208
文字の割り当て 208
文字の入れかた（機能ボタンの使いかた） 208
入力制限（入力できる文字の種類や文字数） 208
入力例 209

機能一覧 210
親機 210
おやすみボタン 210
留守録再生ボタン 210
ファクス確認ボタン / みるだけ受信ボタン 210
電話帳ボタン 210
レーベルプリントボタン 211
メニューボタン 211
インクボタン 218
再ダイヤル / 履歴ボタン 218
コピーボタン 219
デジカメプリントボタン 221
ファクスボタン 223
スキャンボタン 224
子機 225
電話帳ボタン 225
機能ボタン 225

仕様 226
親機 226
外形寸法 226
ファクス / 電話 226
コピー 227
電源その他 227
プリンター＆スキャナー 227
デジカメプリント 228
子機 228
コードレス子機 228
充電器 228

使用環境 229

索引 231

リモコンアクセスカード 237

関連製品のご案内 239
innobella 239
消耗品 239
インクカートリッジ 239
専用紙・推奨紙 239
その他 239

文字の入力方法

親機

発信元登録、電話帳の登録では、画面に表示されるキーボードを使って文字を入力します。入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

● ひらがな

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【あ】	あいうえお ぁぃぅぇぉ	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよゃゅょ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ア】	アイウエオ ァィゥェォ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨャュョ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワヲン
【ナ】	ナニヌネノ	【゛゜】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

● 英字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【ABC】	ABCabc	【TUV】	TUVtuv
【DEF】	DEFdef	【WXYZ】	WXYZwxyz
【GHI】	GHIghi	【;】	;
【JKL】	JKLjkl	【:】	:
【MNO】	MNOmno	【@】	@
【PQRS】	PQRSpqrs	【!】	!

● 数字

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【1】	1	【7】	7
【2】	2	【8】	8
【3】	3	【9】	9
【4】	4	【0】	0
【5】	5	【＊】	＊
【6】	6	【#】	#

● 記号

ボタン	入力できる文字	ボタン	入力できる文字
【!?&】	!?&	【,.】	,.
【#$】	#$	【:;】	:;
【+ -】	+ -	【＜＞】	＜＞
【=/】	=/	【［］】	［］
【@% ＊】	@% ＊	【（）】	（）
【" '】	" '	【␣^_】	(スペース) ^_

機能ボタンの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のボタンを使って行います。

ボタン	内容
【あア A1@】【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または→数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
【×】	選択中の文字を消去します。【◀】を押して削除したい文字までカーソルを移動して押します。
【◀】【▶】	カーソルを左右に移動します。同じボタンを続けて入力する場合には、【▶】を押します。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ [*1]	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 [*2]	○	○	○	10

[*1] 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。
ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。
発信元登録での電話番号入力時は 0 ～ 9、「＋」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

[*2] 発信元登録では、16 文字まで入力できます。

漢字は JIS 第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を 3 回押す	す
【▶】を 1 回押す	す
【さ】を 3 回押す	すす
【゛゜】を 1 回押す	すず
【か】を 2 回押す	すずき
【変換】を 1 回押す	スズキ すずき 鈴木 鱸 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ァ】を 4 回押す	鈴木エ
【ラ】を 2 回押す	鈴木エリ

子機

ダイヤルボタンを使って文字や数字を入力します。入力できる文字は、カタカナ、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

ボタン	カタカナ	英・数字
1	アイウエオ ァィゥェォ	1
2	カキクケコ	abcABC2
3	サシスセソ	defDEF3
4	タチツテトッ	ghiGHI4
5	ナニヌネノ	jklJKL5
6	ハヒフヘホ	mnoMNO6
7	マミムメモ	pqrsPQRS7
8	ヤユヨャュョ	tuvTUV8
9	ラリルレロ	wxyzWXYZ9
0	ワヲン、。ー	0
＊	゛ ゜ ー （）/ &	- ( ) / &
#	（スペース） ！ ? @ ＃ ＊ ＋ ＄ ％ . , ｀ ' : ; _ = < > [ ] ^	

文字の入れかた（機能ボタンの使いかた）

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
カタカナと英数字を切り換える	文字切替/P を押す ※押すたびに カナ（半角カタカナ）、英（アルファベット・数字）が切り替わります。
文字を入れる	0 ～ 9、＊、# を押す
電話番号に「ポーズ」（約 3 秒の待ち時間）を入れる	文字切替/P を押す
文字を削除する	十字キーを押して削除したい文字までカーソルを移動し、クリア/音質を押す
文字を変更する	十字キーを押して変更したい文字までカーソルを移動し、文字を削除して入力し直す
文字の間を空ける（スペースを入れる）	十字キー右を 2 回押す または # を 1 回押す
記号を入力する	入力したい記号ボタン（＊ または #）を押して記号を選ぶ
同じボタンで続けて文字を入力する	十字キー右を押して、カーソルを 1 文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	機能/確定 を押す

入力制限（入力できる文字の種類や文字数）

項目		カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話帳	電話番号	×	○[*1]	20 文字
	名前	○	○	11 文字

[*1] 電話帳での電話番号入力時は、0 ～ 9、「＊」、「#」、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）のみ入力できます。ポーズは 文字切替/P で入力します。入力したポーズは画面に「P」で表示されます。

入力例

例：「スズキ　ケイコ」と入力する場合

操作	画面表示
文字切替/P を押して、カナ入力モードにする	
3 を 3 回押す	ス
▶ を 1 回押す	ス
3 を 3 回押す	スス
＊ を 1 回押す	スズ
2 を 2 回押す	スズ キ
▶ を 2 回押す（または # を 1 回押す）	スズ キ
2 を 4 回押す	スズ キ ケ
1 を 2 回押す	スズ キ ケイ
2 を 5 回押す	スズ キ ケイコ

機能一覧

本製品で設定できる機能や設定です。画面に表示されるメッセージにしたがって、登録や設定を行います。

親機

おやすみボタン

おやすみモードを設定 / 解除します。

留守録再生ボタン

留守モードを設定 / 解除します。

ファクス確認ボタン / みるだけ受信ボタン

みるだけ受信設定時に、【ファクス確認】を押して表示される【設定】から、以下の項目を実行します。みるだけ受信が設定されていないときは、【みるだけ受信】ボタンが表示されます。
【みるだけ受信】ボタンを押すと、みるだけ受信にするかどうかの設定ができます。

機能	設定項目	機能説明	参照
設定	すべてプリント	メモリー内のすべてのファクスを印刷します。	⇒ 90 ページ
	すべて消去	メモリー内のすべてのファクスを削除します。	
	みるだけ受信をしない（受信したら印刷）	みるだけ受信を解除します。	

電話帳ボタン

待ち受け画面の【電話帳】を押して表示される画面で、以下の設定が行えます。

機能	設定項目	機能説明	参照
設定	電話帳登録	電話帳に、相手先番号と名前を登録します。	⇒ 98 ページ
	グループ登録	複数の相手先を「グループ」として登録します。	⇒応用編
	変更	電話帳に登録されている相手先の情報を変更します。	⇒ 99 ページ ⇒応用編
	消去	電話帳に登録されている相手先を消去します。	⇒ 99 ページ ⇒応用編
	子機に転送	電話帳に登録されている相手先を子機に転送します。	⇒ 100 ページ

レーベルプリントボタン

待ち受け画面の【レーベルプリント】を押して表示される画面で、記録ディスクのレーベル面にコピー、印刷を行うことができます。

設定項目	機能説明	参照
レーベルからコピー	ディスクレーベルを原稿にして記録ディスクにコピーします。	⇒パソコン活用編
写真からコピー	写真を原稿にして記録ディスクにコピーします。	⇒パソコン活用編
メディアのデータから印刷	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを選んで、記録ディスクに印刷します。	⇒パソコン活用編

メニューボタン

待ち受け画面の【メニュー】を押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● **基本設定**

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
基本設定	モードタイマー		ファクスモードに戻る時間を設定します。【切】を選ぶと最後に使ったモードを保持します。	切／ 0 秒／ 30 秒／ 1 分／ **2 分**／ 5 分	⇒応用編
	記録紙タイプ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ブラザーBP71 光沢／ブラザーBP61 光沢／その他光沢／ OHP フィルム	⇒ 57 ページ
	記録紙サイズ		記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	**A4** ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／ 2L 判／ L 判	⇒ 57 ページ
	音量	着信音量	着信音の音量を設定します。	切／小／**中**／大	⇒ 45 ページ
		ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／**小**／中／大	
		スピーカー音量	オンフック時の音量を設定します。	切／小／**中**／大	
		受話音量	受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小／**中**／大	
	画面の設定	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	**明るく**／標準／暗く	⇒応用編
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／ 10 秒／ 20 秒／ **30 秒**	
	おやすみタイマー設定	おやすみタイマー	設定した時刻に留守モードに切替わり、親機も子機も着信音を鳴らさない設定をします。	オン／**オフ**	⇒応用編
		開始時刻	おやすみタイマーの開始時刻を設定します。	00:00 ～ 23:59（初期値 **22:00**）	
		終了時刻	おやすみタイマーの終了時刻を設定します。	00:00 ～ 23:59（初期値 **07:00**）	
	スリープモード		スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1 分／ 2 分／ 3 分／ **5 分**／ 10 分／ 30 分／ 60 分	⇒ 47 ページ

● ファクス / 電話

機能	設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
ファクス / 電話	受信設定	ファクス無鳴動受信	電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにします。	する／**しない**	⇒ 42 ページ
		呼出回数	【在宅モード】【留守モード】ごとに、着信してから本製品が応答するまでに鳴る呼出回数を設定します。	在宅モード：0 ～ 15 ／無制限（初期設定は **7**） 留守モード：0 ～ 7 ／トールセーバー（初期設定は **5**）	⇒ 43 ページ
		再呼出設定	在宅モード時に電話がかかってきた場合の対応を設定します。	**オン（相手にベル）**／ オン（相手にメッセージ）／ オフ（ファクス専用） ※【オン】を選択した場合は、【20 秒／ **30 秒**／ 40 秒／ 70 秒】から時間を選びます。	⇒ 44 ページ
		みるだけ受信	受信したファクスの内容を画面で確認します。	**する（画面で確認）**／しない（受信したら印刷）	⇒ 92 ページ
		親切受信	自動受信する前に電話をとった場合でも、自動的にファクスを受信する機能を設定します。	**する**／しない	⇒ 89 ページ
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記録紙のサイズより長辺が長いファクスが送られてきたとき、自動的に縮小するかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒応用編
		メモリ受信	ファクスのメモリー受信の内容を設定します。	**オフ**／ファクス転送／メモリ保持のみ／ PC ファクス受信	⇒ 94 ページ ⇒応用編
	レポート設定	送信結果レポート	ファクス送信後に、送信結果を印刷するための設定をします。	オン／オン+イメージ／オフ／**オフ+イメージ**	⇒応用編
		通信管理レポート	通信管理レポートの出力間隔を設定します。	レポート出力しない／**50件ごと**／6 時間ごと／ 12 時間ごと／24 時間ごと／ 2 日ごと／ 7 日ごと	⇒応用編
	ファクス出力		みるだけ受信をしていない場合にのみ、メモリーに記憶されているファクスデータをすべて印刷します。印刷後、データは消去されます。	－	⇒ 94 ページ
	暗証番号		外出先から本製品を操作するための暗証番号を設定します。	－－－＊	⇒応用編
	通信待ち一覧		タイマー送信などの設定を確認したり解除したりできます。	－	⇒ 96 ページ
	メロディ設定	着信音	着信音を選びます。	**ベル 1 ～ 4** ／メロディ 1 ～ 30	⇒応用編
		保留メロディ	保留音を選びます。	メロディ 1 ～ 30（**花のワルツ**）	
	留守番電話設定	応答メッセージ	留守応答メッセージ、在宅応答メッセージの録音 / 再生 / 消去をします。	留守応答1／留守応答2／在宅応答	⇒105ページ
		録音時間	1 件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	0 秒（応答メッセージのみ）／ 30 秒／ **60 秒**／ 120 秒／ 180 秒	⇒105ページ
		留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる / 聞こえないの設定をします。	**する**／しない	⇒106ページ
		留守録転送	【留守モード】のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する／**しない** ※【する】を選択した場合は、転送先を設定します。	⇒応用編

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合の詳細については、ユーザーズガイド ネットワーク操作編をご覧ください。

機能	設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定）
ネットワーク	有線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRNxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
		イーサネット		LAN のリンクモードを設定します。	**Auto** ／ 100B-FD ／ 100B-HD ／ 10B-FD ／ 10B-HD
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－
	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	**Auto** ／ Static ／ RARP ／ BOOTP ／ DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			サブネット マスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255].[000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxxx（x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字）
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	**Auto** ／ Static
			WINS サーバ	WINS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			DNS サーバ	DNS サーバーを設定します。	プライマリ／セカンダリ
			APIPA	APIPA を設定します。	**オン**／オフ
		無線接続ウィザード		無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	－
		WPS/AOSS		WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	－
		WPS（PIN コード）		WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	－
		無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	アクティブ（11b）／アクティブ（11g）／アクティブ（11n）／接続に失敗しました／ AOSS アクティブ
			電波状態	無線 LAN の電波状態を表示します。	電波：強い／普通／弱い／なし
			SSID	接続先の無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。	（32 文字まで表示）
			通信モード	無線LANの通信モードを表示します。	アドホック／インフラストラクチャ
		MAC アドレス		MAC アドレスを表示します。	－

機能	設定項目			機能説明	設定内容 （太字：初期設定）
ネットワーク	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに接続するかしないかの設定をします。	オン／**オフ**
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	－
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	**8080**
			ユーザ名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	－
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	－
	有線 / 無線切替え			有線LAN／無線LANを切り替えます。	**有線 LAN** ／無線 LAN
	ネットワーク設定リセット			ネットワークの設定（有線・無線とも）をすべて初期値に戻します。	－

● RSS

機能	設定項目	機能説明			設定内容（太字：初期設定値）	参照
RSS	RSS	RSS を本製品の待ち受け画面に表示させる／表示させないの設定をします。			オン／**オフ**	⇒応用編
	登録サイト	登録されている RSS サイトを一覧表示します。				⇒応用編
			メニュー	URL 登録 / 変更	URL を新たに登録、または登録されている RSS サイトの URL を変更します。	
				URL 消去	登録されている RSS サイトを消去します。	
	スクロール速度	待ち受け画面の RSS 表示のスクロール速度を設定します。			速い／**標準**／遅い	⇒応用編
	更新間隔	RSS の情報取得間隔を設定します。			**2 時間**／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 24 時間、手動更新	⇒応用編
	閲覧 PC 設定	コンテンツの概要画面から、パソコンでウェブサイトの表示をするときに、閲覧 PC 設定画面を表示させる／表示させないの設定をします。			（PC リスト表示）／**閲覧 PC を選択しない**	⇒応用編
	RSS ステータス	RSS の取得状態を確認できます。			－	⇒応用編
	RSS 設定リセット	本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。			－	－

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	⇒応用編
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	⇒ 100 ページ
	通信管理レポート	送信・受信した最新の 200 件分の結果を印刷します。	⇒応用編
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	⇒ 202 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作しているネットワーク（有線 LAN または無線 LAN）の設定内容を印刷します。	⇒ 202 ページ
	無線LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	⇒ 202 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	⇒応用編

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。	⇒ 202 ページ

● 初期設定

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
初期設定	時計セット		画面に表示される現在の日付・時刻と、ファクスに記される日付・時刻を設定します。	―	⇒ 35 ページ
	発信元登録		ファクスに印刷される発信元のファクス番号と名前を設定します。	ファクス：― 名前：―	⇒ 36 ページ
	回線種別設定		お使いの電話回線に合わせて回線種別を設定します。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS／ダイヤル 20PPS／**自動設定**	⇒ 34 ページ
	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイ	ナンバーディスプレイを使用する / しないを設定します。	**あり**／なし	⇒応用編
		着信鳴り分け	電話帳に登録した電話番号ごとに、着信先や着信音を設定します。	―	⇒応用編
		非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する／**しない**	⇒応用編
		公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する／**しない**	
		表示圏外拒否	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。	する／**しない**	
		着信拒否モニター	着信拒否メッセージを再生するとき、スピーカーから聞こえる / 聞こえないを設定します。	する／**しない**	
	キャッチディスプレイ		キャッチホン・ディスプレイサービスを使用する/しないを設定します。	あり／**なし**	⇒応用編
	子機増設モード		増設子機（別売り）の ID 登録をします。登録後、増設子機が使用できます。	増設／登録子機を消去	⇒201ページ
	安心通信モード		安心通信モードに設定します。	**高速**／標準／安心（VoIP）	⇒192ページ
	ファクス自動再ダイヤル		フファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	**オン**／オフ	⇒応用編
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	―	⇒195ページ
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	―	⇒195ページ
		RSS 設定リセット	本製品の RSS 設定をお買い上げ時の状態に戻します。	―	⇒196ページ
		電話帳＆ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。	―	⇒196ページ
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	―	⇒197ページ
	その他	ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する／**検知しない**	⇒192ページ
		特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	**一般**／ ISDN ／ PBX	⇒191ページ

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字:初期設定値)	参照
初期設定	その他	通話音質調整	親機や子機での通話中やファクス通信時の回線状況に応じて調整します。	子機通話調整(**設定1**／設定2／設定3／設定4)／親機通話調整(**設定1**／設定2／設定3)	⇒191ページ
		子機通信チャンネル	使用環境によって、通話状況が良くないときなどに設定します。	設定1／設定2／**設定3**	⇒193ページ
		ケータイ通話お得サービス	携帯電話に電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けて発信するように設定します。	する／**しない**	⇒応用編
		事業者識別番号	【ケータイ通話お得サービス】を【する】に設定している場合に、携帯電話番号の前に付ける事業者識別番号を設定します。	－	⇒応用編
		デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／**しない**	－
	ディスク印刷位置調整		印刷された画像がディスクからはみ出す場合に、印刷位置を調整します。	－	⇒パソコン活用編

インクボタン

待ち受け画面の を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／ 印刷位置チェックシート	⇒ 146 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	⇒ 145 ページ
インク残量	インク残量を確認します。	インク残量 BK Y C M	⇒ 144 ページ

再ダイヤル / 履歴ボタン

操作パネル上の 再ダイヤル/履歴 を押して表示される画面で、発信 / 着信履歴を確認できます。
また、履歴確認後、その相手先の番号を電話帳に登録することができます。
※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。

ダイヤル中は、再ダイヤル/履歴 を押してポーズを入力できます。

コピーボタン

操作パネル上の コピー を押して表示される画面で、コピーに関する設定ができます。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>機能説明</th><th colspan="3">設定内容（太字：初期設定値）</th><th>参照</th></tr>
<tr><td>コピー画質</td><td>印刷品質に合わせて設定します。</td><td colspan="3">高速／標準／高画質</td><td>⇒114ページ</td></tr>
<tr><td>記録紙タイプ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。</td><td colspan="3">普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／ブラザー BP61 光沢／その他光沢／OHP フィルム</td><td>⇒114ページ</td></tr>
<tr><td>記録紙サイズ</td><td>記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。</td><td colspan="3">A4 ／ A5 ／ B5 ／ハガキ／2L 判／ L 判</td><td>⇒114ページ</td></tr>
<tr><td rowspan="6">拡大 / 縮小</td><td rowspan="6">コピーしたいサイズに合わせて設定します。</td><td colspan="2">等倍 100%</td><td>－</td><td rowspan="6">⇒114ページ</td></tr>
<tr><td colspan="2">拡大</td><td>240% L 判 ⇒ A4
204% ハガキ ⇒ A4
141% A5 ⇒ A4
115% B5 ⇒ A4
113% L判 ⇒ ハガキ</td></tr>
<tr><td colspan="2">縮小</td><td>86% A4 ⇒ B5
69% A4 ⇒ A5
46% A4 ⇒ ハガキ
40% A4 ⇒ L 判</td></tr>
<tr><td colspan="2">用紙に合わせる</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">カスタム（25-400%）</td><td>－</td></tr>
<tr style="display:none"></tr>
<tr><td>コピー濃度</td><td>濃度を調整します。</td><td colspan="3">－ 2 ／－ 1 ／ 0 ／＋ 1 ／＋ 2</td><td>⇒115ページ</td></tr>
<tr><td>スタック / ソート</td><td>複数部コピーするとき、ページごとまたは部数ごとを設定します。</td><td colspan="3">スタックコピー／ソートコピー</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td>レイアウト コピー</td><td>複数枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。</td><td colspan="3">オフ（1in1）／ 2in1（タテ長）／ 2in1（ヨコ長）／ 2in1（ID カード）／ 4in1（タテ長）／ 4in1（ヨコ長）／ポスター（2x1）／ポスター（2x2）／ポスター（3x3）</td><td>⇒応用編</td></tr>
<tr><td rowspan="7">両面コピー</td><td rowspan="7">両面コピーします。
とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。</td><td colspan="3">オン</td><td rowspan="7">⇒応用編</td></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>あんしん設定</td><td>オフ／あんしん 1 ／あんしん 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷の向き：縦　長辺とじ</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷の向き：横　長辺とじ</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷の向き：縦　短辺とじ</td></tr>
<tr><td colspan="2">印刷の向き：横　短辺とじ</td></tr>
<tr><td colspan="3">オフ</td></tr>
</table>

設定項目			機能説明	設定内容（太字：初期設定値）		参照
便利なコピー設定	オフ		便利なコピー設定を使用しません。	−		−
	インク節約モード		文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。	−		⇒応用編
	裏写り除去コピー		コピー時の裏写りを軽減します。	−		⇒応用編
	ブックコピー		本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーします。	−		⇒応用編
	透かしコピー		コピー画像にロゴマークやテキストなど、設定した画像を重ねます。	−		⇒応用編
		テンプレートを使う	あらかじめ設定されている文字を選択し、位置やサイズなどを設定します。	テキスト：**COPY** ／ CONFIDENTIAL ／重要 位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ **I** ／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90°／ **-45°** ／ 0° ／ +45° ／ +90° 透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 色：**黒**／緑／青／紫／赤／オレンジ／黄		⇒応用編
		スキャン/メディアの画像を使う	スキャンした画像、または、メモリーカードやUSBフラッシュメモリーから画像を選択し、位置やサイズなどを設定します。	スキャン	透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	⇒応用編
				メディア	位置：A ／ B ／ C ／ D ／ **E** ／ F ／ G ／ H ／ **I** ／全面 サイズ：小／**中**／大 回転：-90° ／ **-45°** ／ 0° ／ +45° ／ +90° 透過度：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	⇒応用編
お気に入り設定			コピーに関する下記の設定を、組み合わせを変えるなどして 3 つまで名前をつけて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙タイプ・記録紙サイズ・拡大 / 縮小・コピー濃度・スタック / ソート・レイアウト コピー・両面コピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー（「テンプレートを使う」のみ）	保存／名前の変更	お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3[*1]	⇒115ページ
お気に入り			お気に入りに登録した設定値を呼び出します。	お気に入り 1 ／お気に入り 2 ／お気に入り 3[*1]		⇒115ページ

[*1] お気に入りとして保存するときに名前を登録すると、その後は登録名が表示されます。

デジカメプリントボタン

操作パネル上の（デジカメプリント）を押して表示される画面で、デジカメプリント機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容			参照
かんたんプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。自動色補正のみ行えます。 スライドショーの途中でプリントしたい写真があれば、【OK】を押して印刷設定に進みます。	(スライドショー　画像個別選択[*1])			⇒応用編
			はい／いいえ 100枚目までの写真のプリント枚数をすべて1枚に設定します。 設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。		⇒応用編
こだわりプリント	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。 スライドショーの途中でプリントしたい写真があれば、【OK】を押して印刷設定に進みます。	(スライドショー　画像個別選択[*1])	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正[*3] 色あざやか補正[*3] 赤目補正 夜景補正[*3] 逆光補正[*3] ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正＆赤目補正	⇒応用編
			トリミング	－	⇒応用編
インデックスプリント	インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。	インデックスシート[*2]		速い／1行6個印刷 きれい／1行5個印刷	⇒応用編
		番号指定プリント		－	⇒応用編

*1 写真選択後、プリントする記録紙やサイズなど更に設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。
*2 インデックスシートをプリントする記録紙タイプの設定が可能です。詳細は次ページに記載しています。
*3 画像を補正した結果を起点に± 1 色調変更

プリント前に表示される確認画面の【印刷設定】では、以下の設定を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
プリント画質 [*1]	プリント時の画質を設定します。	標準／**きれい**	⇒124 ページ
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ ブラザー BP71 光沢／ ブラザー BP61 光沢／ **その他光沢**	⇒124 ページ
記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	**L 判**／ 2L 判／ハガキ／ A4	⇒124 ページ
プリント サイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm ／ 9x13cm ／ 10x15cm ／ 13x18cm ／ 15x20cm ／**用紙全体に印刷**	
明るさ [*2]	プリントの明るさを調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	⇒124 ページ
コントラスト [*2]	プリントのコントラスト（色の濃度）を調整します。	-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2	⇒124 ページ
画質強調 [*2]	＜ホワイトバランス＞ 画像の白色部分の色合いを調整します。	する：-2 ／ -1 ／ **0** ／ +1 ／ +2 **しない**	⇒125 ページ
	＜シャープネス＞ 画像の輪郭部分のシャープさを調整します。		
	＜カラー調整＞ 画像のカラー全体の濃度を調整します。		
画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒125 ページ
ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	**する**／しない	⇒125 ページ
日付印刷 [*1]	日付印刷をするかどうかを設定します。	する／**しない**	⇒125 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	−	⇒125 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	−	⇒125 ページ

[*1] DPOF 印刷の場合は表示されません。

[*2] こだわりプリントでは、【トリミング】を設定した場合のみ調整可能です。

インデックスシートをプリントするときに【印刷設定】で確認および設定できる内容は以下のとおりです。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	**普通紙**／インクジェット紙／ ブラザー BP71 光沢／ ブラザー BP61 光沢／ その他光沢	⇒124 ページ

ファクスボタン

操作パネル上の（ファクス）を押して表示される画面で、ファクス機能に関する設定ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
履歴		発信 / 着信履歴を表示します。 ※ナンバー・ディスプレイサービスを契約している場合は、着信履歴に電話番号と名前（電話帳に登録されている場合）も表示されます。	ー	⇒応用編
電話帳 / 短縮		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	ー	⇒ 85 ページ ⇒ 98 ページ
録音 *1		通話を録音したり、録音されたメッセージを再生したりします。	ー	⇒ 66 ページ
キャッチ *1		キャッチホンを受けるときに押します。	ー	⇒ 76 ページ
音量 *1		受話器を持って通話するときの音量を調整します。	小／**中**／大	⇒ 45 ページ
ファクス画質		送信時の画質を一時的に設定します。	**標準**／ファイン／スーパーファイン／写真	⇒ 83 ページ
原稿濃度		原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	**自動**／濃く／薄く	
便利なファクス設定	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	ー	⇒ 86 ページ
	みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する／**しない**	⇒応用編
	タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	する（現在の時刻を表示）／**しない**	⇒応用編
	とりまとめ送信	タイマー送信で同じ相手に同じ時刻に送信する原稿がある場合、まとめて送信するように設定します。	する／**しない**	⇒応用編
	リアルタイム送信	メモリーを使わずに、原稿を読み取りながら送信するときに設定します。	する／**しない**	⇒応用編
	ポーリング送信	ポーリング通信でファクスを送信するときに設定します。	標準／機密／**しない**	⇒応用編
	ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときに設定します。	標準／機密／タイマー／**しない**	⇒応用編
	海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する／**しない**	⇒応用編
設定を保持する		変更した設定を保持します。	ー	⇒ 84 ページ
設定をリセットする		設定をお買い上げ時の状態に戻します。	ー	

*1 受話器をとった場合に表示されます。

スキャンボタン

操作パネル上の スキャン を押して表示される画面で、スキャン機能に関する設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
ファイル：フォルダ保存	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	⇒パソコン活用編
メディア保存	スキャンした画像をメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存します。	⇒ 129 ページ
E メール：E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	⇒パソコン活用編
OCR：テキストデータ	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	⇒パソコン活用編
イメージ：PC 表示	スキャンした画像をパソコンに保存します。	⇒パソコン活用編
Web サービススキャン *1	スキャンした画像をWebサービススキャンで使用することができます。	⇒パソコン活用編

*1 Web サービススキャン機能をインストールした場合に表示されます。

【メディア保存】では、以下の項目を確認および設定できます。

設定項目	機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
スキャン画質	スキャン to メディア時の画質を設定します。	カラー 100 dpi ／**カラー 200 dpi**／カラー 300 dpi ／カラー 600 dpi ／モノクロ 100 dpi ／モノクロ 200 dpi ／モノクロ 300 dpi	⇒ 129 ページ
ファイル形式	スキャンするときのファイル形式を設定します。	カラー：**PDF** ／ JPEG モノクロ：TIFF ／ **PDF**	
ファイル名	ファイル名を設定します。	－	
おまかせ一括スキャン	複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。	オン／**オフ**	⇒ 130 ページ
設定を保持する	変更した設定を保持します。	－	⇒ 131 ページ
設定をリセットする	設定をお買い上げの状態に戻します。	－	

子機

電話帳ボタン

を押して表示される画面で、電話帳の登録・変更が行えます。

設定項目		機能説明	設定内容	参照
デンワチョウトウロク		子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	⇒101ページ
(ナマエ)	ヘンコウ	電話帳に登録した内容を変更・削除します。	−	⇒101ページ
	ショウキョ			
	テンソウ	電話帳に登録した内容を親機に転送します。	−	⇒応用編

機能ボタン

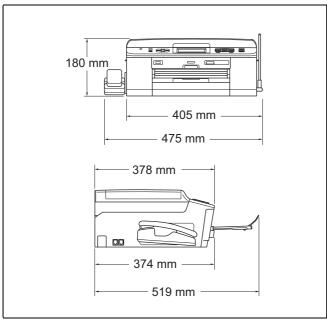
待ち受け状態で〔機能／確定〕を押して表示される画面で、各機能を設定できます。

設定項目		機能説明	設定内容（太字：初期設定値）	参照
メイドウオンセッテイ	1.チャクシンオン	着信音を選択します。	**ベル**／アヴェ・マリア／オオキナフルドケイ／ガボット／キラキラボシ／シキヨリ [ハル] ／ハナノワルツ	⇒応用編
	2. チャクシンナリワケ	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		⇒応用編
	3.ボタンカクニンオン	ボタンを押したときの音を設定します。	**ON** ／ OFF	⇒ 46 ページ
ハッシンリレキ	1 ケンショウキョ	発信履歴から 1 件削除します。	−	⇒応用編
	ゼンケンショウキョ	発信履歴の内容をすべて削除します。	−	⇒応用編
	デンワチョウトウロク	発信履歴から電話帳に登録します。	−	⇒応用編
チャクシンリレキ [*1]	1 ケンショウキョ	着信履歴から 1 件削除します。	−	⇒応用編
	ゼンケンショウキョ	着信履歴の内容をすべて削除します。	−	⇒応用編
	デンワチョウトウロク	着信履歴から電話帳に登録します。	−	⇒応用編
ガメンノコントラスト		子機の画面の明るさを設定します。	1 〜 7 段階（4）	⇒応用編
トケイセッテイ		現在の日付と時刻を登録します。	−	⇒ 36 ページ
ツウワパワー		子機の電波環境が悪いときに設定します。	**ヒョウジュン**／ツヨイ	⇒ 193 ページ
コキ　ゾウセツ		増設子機の ID 登録をします。	−	⇒ 201 ページ

[*1] ナンバー・ディスプレイをご契約されていない場合は、着信履歴は表示されません。

仕様

親機

外形寸法

※3.3 インチワイドカラー液晶タッチパネル搭載。液晶タッチパネルは非常に精度の高い技術でつくられていますが、画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

ファクス / 電話

形式	ITU-T Super Group 3
圧縮方式	MH/MR/MMR/JPEG
電送時間 *1	約 3 秒
通信速度	33600/31200/28800/26400/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400bps（自動切換）
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時 幅：最大 215.9mm 長さ：最大 297mm ADF（自動原稿送り装置）使用時 幅：最大 215.9mm 長さ：最大 355.6mm
記録紙サイズ	A4
最大有効読取幅 *2	原稿台ガラス使用時：204mm ADF（自動原稿送り装置）使用時：208mm
最大有効記録幅	204mm
記録方式	インクジェット式
読取方式	CIS 方式
ハーフトーン	256 階調
走査線密度	主走査：8 ドット /mm 副走査（モノクロ時） • 標準：3.85 本 /mm • ファイン / 写真：7.7 本 /mm • スーパーファイン：15.4 本 /mm 副走査（カラー時） • 標準：7.7 本 /mm • ファイン：7.7 本 /mm •「写真」「スーパーファイン」なし
適用回線	一般電話回線、ファクシミリ通信網（16Hz のみ対応）
メモリー記憶枚数 *3	約 400 枚

*1 A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で高速モード（33600bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

*2 A4 サイズの原稿を使用し、A4 記録が可能な相手機種の場合の最大有効読取幅です。

[*3] A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質(8ドット×3.85本/mm)で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

コピースピード	モノクロ：23ページ/分 (A4サイズ/普通紙/高速モード) カラー：20ページ/分 (A4サイズ/普通紙/高速モード)
拡大縮小	25～400（%）
印刷解像度	• モノクロ： 最大1200（主走査）×1200（副走査）dpi • カラー： 最大1200（主走査）×1200（副走査）dpi

電源その他

使用環境	温度：10～35℃、湿度：20～80% ※印刷品質のためには、20～33℃でご利用になることをお勧めします。
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力[*1]	コピー時：約22W[*2] 待機時：約7W スリープモード時：約3.5W 電源OFF時：約0.2W
稼働音	動作時：50dB(A)以下 ※お使いの機能により数値は変わります。
メモリー容量	64MB
本体重量	9.3kg ※インクカートリッジを含む

[*1] 全モードUSB接続時

[*2] ADF 使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712印刷パターン

プリンター＆スキャナー

インターフェイス	USB2.0ハイスピードインターフェイス対応 有線LAN（10BASE-T/100BASE-TX）/無線LAN（IEEE 802.11b/g/n）対応
印刷方式	インクジェット式
印刷解像度	最大1200(主走査)×6000(副走査)dpi
印刷速度	モノクロ35枚/分 カラー27枚/分 (最高速モード、普通紙、当社基準 A4原稿) 約14秒（L判）
スキャナー解像度	光学解像度 原稿台ガラス使用時： 最大1200（主走査）dpi×2400（副走査）dpi ADF（自動原稿送り装置）使用時： 最大1200(主走査)dpi×600(副走査)dpi

デジカメプリント

対応メディア	• メモリースティック TM/ メモリースティック PROTM/ メモリースティック デュオ TM/ メモリースティック PRO デュオ TM/ メモリースティック マイクロ TM （M2TM） メモリースティック マイクロ TM （M2TM） を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • SD メモリーカード /SDHC メモリーカード /SDXC メモリーカード /miniSD カード /microSD カード /miniSDHC カード / microSDHC カード miniSD カード /microSD カード /miniSDHC カード /microSDHC カードを本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • マルチメディアカード / マルチメディアカード plus/ マルチメディアカード mobile マルチメディアカード mobile を本製品にセットするときは、アダプターが必要です。 • USB フラッシュメモリー ※MagicGateTM の音楽データには対応していません。 ※著作権保護機能には対応していません。
メディアファイルフォーマット	DPOF 形式、EXIF 形式、DCF 形式
対応画ファイルフォーマット	静止画 • JPEG 形式 拡張子が「.JPG」のファイルに限ります。 プログレッシブ JPEG には対応していません。 動画 • AVI 形式の MotionJPEG • MOV 形式の MotionJPEG ファイルとフォルダーをあわせて 999 個までの対応です。 5 階層以上のフォルダーには対応していません。 スキャン to メディア カラー：JPEG 形式、PDF 形式 モノクロ：TIFF 形式、PDF 形式

子機

コードレス子機

使用周波数	2.40GHz ～ 2.4835GHz
変調方式	周波数ホッピング方式
使用可能距離	見通し距離約 100m
充電完了時間	約 12 時間
使用可能時間（充電完了後） *1	待機状態：約 200 時間、 連続通話：約 7 時間
使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、 湿度：20 ～ 80％
電源	DC3.6V （子機用バッテリー使用）
消費電力	－
外形寸法	44（横幅）× 29（奥行き）× 163（高さ） mm
質量	約 150g （子機用バッテリー含む）

*1 子機をお使いの環境によって短くなることがあります。

充電器

使用環境	温度：5 ～ 35 ℃、 湿度：20 ～ 80％
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約 1.4W（充電中）/ 約 0.5W（待機中）
外形寸法	75（横幅） × 75（奥行き） × 32（高さ） mm
質量	約 125g

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">OS</th><th rowspan="2">サポートしている機能</th><th rowspan="2">インターフェイス</th><th rowspan="2">CPU/システムメモリー</th><th rowspan="2">必要なメモリー</th><th rowspan="2">推奨メモリー</th><th colspan="2">必要なディスク容量</th></tr>
<tr><th>ドライバー</th><th>その他のソフトウェア</th></tr>
<tr><td rowspan="10">Windows®</td><td>Windows® XP Home*1
Windows® XP Professional*1</td><td rowspan="4">プリント、PC-FAX 送信*3・受信、スキャン、リムーバブルディスク*4</td><td rowspan="4">USB、10/100Base-TX(イーサネット)、無線 LAN (IEEE 802.11b/g/n)</td><td>Intel® Pentium® II プロセッサ相当</td><td>128 MB</td><td>256MB</td><td rowspan="2">150MB</td><td rowspan="2">1GB</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional x64 Edition*1</td><td>64 ビットのプロセッサ (Intel® 64またはAMD64)</td><td>256 MB</td><td>512 MB</td></tr>
<tr><td>Windows Vista®*1</td><td rowspan="2">Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当
64 ビットのプロセッサ (Intel® 64またはAMD64)</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td>500MB</td><td rowspan="2">1.3GB</td></tr>
<tr><td>Windows® 7*1</td><td>1GB (32 ビット)
2GB (64 ビット)</td><td>1GB (32 ビット)
2GB (64 ビット)</td><td>650MB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 (ネットワーク接続によるプリント機能のみ)</td><td rowspan="6">プリント</td><td rowspan="6">10/100Base-TX(イーサネット)、無線 LAN (IEEE 802.11b/g/n)</td><td>Intel® Pentium® III プロセッサ相当</td><td rowspan="3">256 MB</td><td rowspan="3">512 MB</td><td rowspan="6">50MB</td><td rowspan="6">なし</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 x64 Edition (ネットワーク接続によるプリント機能のみ)</td><td>64 ビットのプロセッサ (Intel® 64またはAMD64)</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 R2 (ネットワーク接続によるプリント機能のみ)</td><td>Intel® Pentium® III プロセッサ相当</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2003 R2 x64 Edition (ネットワーク接続によるプリント機能のみ)</td><td>64 ビットのプロセッサ (Intel® 64またはAMD64)</td><td rowspan="3">512MB</td><td>1GB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 (ネットワーク接続によるプリント機能のみ)</td><td>Intel® Pentium® 4 プロセッサ相当
64 ビットのプロセッサ (Intel® 64またはAMD64)</td><td rowspan="2">2GB</td></tr>
<tr><td>Windows Server® 2008 R2 (ネットワーク接続によるプリント機能のみ)</td><td>64 ビットのプロセッサ (Intel® 64またはAMD64)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Macintosh</td><td>Mac OS X 10.4.11、10.5.x</td><td rowspan="2">プリント、PC-FAX 送信*3、スキャン、リムーバブルディスク*4</td><td rowspan="2">USB*2、10/100Base-TX(イーサネット)、無線 LAN (IEEE 802.11b/g/n)</td><td>PowerPC G4/G5
Intel® プロセッサ</td><td>512MB</td><td>1GB</td><td rowspan="2">80MB</td><td rowspan="2">550MB</td></tr>
<tr><td>Mac OS X 10.6.x</td><td>Intel® プロセッサ</td><td>1GB</td><td>2GB</td></tr>
</table>

*1 WIA を使ったスキャンは、最大 1200x1200dpi の解像度に対応しています。スキャナーユーティリティーを使用すれば、最大 19200x19200dpi の解像度に対応できます。
*2 サードパーティ製の USB ポートはサポートしていません。
*3 PC-FAX はモノクロのみ対応しています。
*4 本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーなどのメディアは、パソコン上で「リムーバブルディスク」として使用できます。

- 最新のドライバーは http://solutions.brother.co.jp/ からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

索引

数字

2 ページ印刷がうまくできない 186
2 枚に分かれて印刷される（ファクス受信） 180

A

ADF からファクス 80
ADF でスキャン時に黒い縦線 187
ADF に原稿をセットする 59
ADF のトラブル 180, 181
ADF（自動原稿送り装置） 24
Adobe® Illustrator® で印刷できない 187, 188
ADSL のトラブル 173

B

BRUSB への書き込みエラー 187

C

ControlCenter 21
CPU 229

D

DPOF 123

E

E メール添付 224

F

FaceFilter Studio 21

I

innobella 239
ISDN のトラブル 172

L

LAN ケーブル差し込み口 25
L 判 48

M

Macintosh 229
Macintosh 使用時のトラブル 188
microSD カード 119
miniSD カード 119

O

OCR 224
OHP フィルム 48
OS 229

P

PBX 99
PBX 経由でファクス受信できない 180
PictBridge ケーブル差し込み口 24
PictBridge のトラブル 187
Presto! PageManager のお問い合わせ .... 裏表紙

R

RSS 設定を元に戻す 196

S

SD メモリーカード 119

T

TWAIN エラー 187

U

USBxxx への書き込みエラー 187
USB ケーブル差し込み口 25
USB フラッシュメモリー 119
USB フラッシュメモリー差し込み口 119
USB フラッシュメモリーのアクセス状況 120
USB フラッシュメモリーのセット / 取り出し 119

W

Windows® 229
Windows® 使用時のトラブル 187

あ

相手に声が聞こえにくい / 聞こえない 171
相手に声が聞こえにくい / 聞こえない（子機） 175
明るさ（デジカメプリント） 124
明るすぎる（印刷） 184
アクセス状況 120
アナログポートに 1 ～ 2 回おきにしか着信しない
（ISDN） 172
アフターサービスのご案内 .... 裏表紙
安心通信モード 192
アンテナ 24

い

イノベラ 239
いろいろなプリント 124
インクカートリッジのご注文 241
インクカートリッジの廃棄 143
インクカートリッジを交換 142
インクが乾くのに時間がかかる 186
インクがにじむ（印刷） 185
インクカバー 25
インク残量チェック 144
インクジェット紙 48
インクボタンの機能 218
印刷位置チェック 147
印刷が明るすぎる / 暗すぎる 184
印刷が汚い 145, 185, 186
印刷が極端に遅い 183, 184
印刷が斜めになる 183
印刷できない 181
印刷できない（Adobe® Illustrator®） 187, 188
印刷できない（Macintosh） 188
印刷テスト 146
印刷に規則的な横縞が出る 183
印刷の端や中央がかすむ 185
印刷の汚れ、しみ 184
印刷範囲 50
印刷品質チェック 146
印刷面の白い筋 185
インデックスカード 48

え

液晶ディスプレー（子機） 32
エラーメッセージ 161
エラーメッセージ（子機） 169

お

応答しない 171
お気に入り設定 115
お客様相談窓口 .... 裏表紙
おことわりボタン 27
お手入れ 134
音が割れる（スピーカー） 189
おまかせ一括スキャン 130
オンフックボタン 27
音量 45
音量ボタン（子機） 32, 46

か

カードスロット 119
外出先から操作できない 176
回線種別の設定 34
回線接続端子 24
外線ボタン（子機） 32
会話録音 66
拡大 / 縮小 114
各部の名称とはたらき 24
画質が悪い 135
画質強調 125
画質強調が働かない（デジカメプリント） 184
画像が明るすぎる / 暗すぎる（印刷） 184
画像トリミング 125
画像の周りに余白ができる（スキャン） 187
画像の乱れ（ファクス通信） 178
紙が詰まったときは（記録紙） 152
紙が詰まったときは（原稿） 158
画面 27
画面の文字が読みにくい 189
カラー / モノクロスタートボタン 27
カラーコピー 113
カラー調整 125
カラーファクスがモノクロ印刷される 185
カラーファクス受信ができない 177, 178
かんたんプリント 122
関連製品のご案内 239

き

記号 1/ トーンボタン（子機） 32
記号 2 ボタン（子機） 32
機能 / 確定ボタン（子機） 32
機能一覧 210
機能設定リセット 195
機能ボタン（子機）の機能 225
キャッチ / 着信履歴ボタン（子機） 32
キャッチホンサービス 76
キャッチホンでファクスを受ける 76
キャッチホンのトラブル 172, 178
給紙ローラーの清掃 136
強制リセット 190
切ボタン（子機） 32
記録紙 48
記録紙うら面の汚れ 146
記録紙が重なって送られる 181
記録紙が重なって送り込まれる 183
記録紙がしわになる（印刷後） 185
記録紙がそろわない 188
記録紙下端の汚れ 188
記録紙が出てこない（コピー / ファクス受信） 179
記録紙が白紙で排出される（ファクス受信） 179
記録紙サイズの設定（全般） 57
記録紙サイズ（コピー） 114
記録紙サイズ（デジカメプリント） 124
記録紙ストッパー 24, 25
記録紙タイプ 57
記録紙タイプ（コピー） 114
記録紙タイプ（デジカメプリント） 124
記録紙トレイ 24, 25
記録紙トレイにセット 51
記録紙のうら面が汚れるときは 146
記録紙のセット 51

く

暗すぎる（印刷） 184
クリアボタン（子機） 32
クリーニング（プリンター内部） 136
クリーニング（プリントヘッド） 145

黒い縦線が出る 135
黒い縦線（ADF 使用でスキャン） 187
黒い縦線（コピー、ファクス） 178, 179

け

警告音が鳴る（子機） 176
携帯電話にかけられない 173
原稿 58
原稿ガイド 25
原稿が送り込まれない（ADF 使用） 180, 181
原稿が斜めになる（ADF 使用） 181
原稿台カバー 25
原稿台ガラス 25
原稿台ガラスに原稿をセットする 59
原稿のセット 58
原稿の読み取り範囲 58

こ

光沢紙 48
光沢紙が送り込まれない 181, 183
光沢はがき 116
構内交換機経由でファクス受信できない 180
声が大きく聞こえて話しにくい（ISDN） 172
声が途切れる 171
声が途切れる（子機） 174
コールセンター .... 裏表紙
子機が温かい 176
子機通話パワーの変更 193
子機に何も表示されない 176
子機の清掃 140
子機の増設 201
子機通信状況を改善 193
子機のトラブル 174
子機のバッテリー交換 150
子機を置いたまま通話する 69
故障 170
個人情報の消去（子機） 198
コピー 113
コピー画質 114
コピーに関するご注意 112
コピー濃度 115
コピーのトラブル 177
コピーの汚れ 179
コピーボタンの機能 219
コントラスト 124

さ

最近かかってきた相手に電話する 67
最近かけた相手に電話する 67
再ダイヤル / 履歴ボタン 27
再ダイヤル（電話） 67
在宅モード 38
再呼出（ベル / メッセージ / 時間）の設定 44
雑音が入る（子機） 175

し

自動印刷する 92
自動受信 88
自動送信 80, 81, 82
自動的に本製品が動き出す（操作なしで） 188
自分の声が響く 172
自分の声が響く（子機） 175
シャープネス 125
写真や動画の画像の一部がプリントされない 187
写真をプリントする（PictBridge） 128
写真をプリントする（デジカメプリント） 122
写真を見る 122
充電器の清掃 140
「ジュウデンチュウ」と表示されない（子機） 176
充電できない（子機） 176
充電表示ランプ（子機） 32
受信したファクスの汚れ 179
受信できない（構内交換機（PBX）接続） 180
受信モードの設定 38
手動受信 88
受話音質（子機） 69
受話音量 45
受話音量が小さい 170
受話音量の調節ができない 170
受話音量（子機） 46
受話器 24
受話器を置いたまま電話をかける 68
受話器（親機）を使用しないときは 149
受話口 32
仕様 226
使用環境 229
消去（子機の個人情報） 198
消去（電話帳・履歴・メモリー・録音データ） 196
消去（ファクスをメモリーから） 95
使用済み電池の届出 151
初期状態に戻す 195
シリアルナンバーの確認 202
白い筋（印刷面） 185
しわ（印刷後） 185
親切受信 89

す

推奨紙 49
スキャナー（読み取り部）の清掃 135
スキャン to メディア 129
スキャン画質 129
スキャンのトラブル 187
スキャンボタンの機能 224
筋（印刷面） 185
スタートボタン 27
ステータスランプ 31
スピーカー音量 45
スピーカー音量が小さい 170
スピーカー音量（子機） 46
スピーカーホン通話ができない（子機） 171
スピーカーホンボタン（子機） 32
スピーカー（子機） 26
すべての設定を元に戻す 197

スライドトレイ 25, 55
スライドトレイにセット 55
スリープモード 47

せ

清掃 134
製品情報 202
接続エラー 187
設定内容リスト 202
設定を保持（デジカメプリント） 125
設定を保持（ファクス） 84
セットできる記録紙 48
全設定リセット 197
専用紙 49

そ

操作パネル 27
操作パネル（子機） 32
送受信できない 177
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する 36
送信できない（IP 網使用） 178
送信できない（電話帳） 178
送信のキャンセル 80, 81, 87
送信待ちファクス 96
送話口（子機） 32

た

ダイヤルイン 172
ダイヤル回線 34
ダイヤルできない 170
ダイヤルトーン設定 192
ダイヤルボタン 27
ダイヤルボタン（子機） 32
ダイレクトクラブ 241
他機器の呼出ベルが鳴る（ISDN） 173
タッチパネル操作 30
縦の線が入る（ファクス） 179
短縮ダイヤルでファクス送信 85

ち

縮んでいる（ファクス受信） 179
着信音が遅れて鳴る（子機） 175
着信音が小さい / 鳴らない 170
着信音が鳴らない（ISDN） 172
着信音が鳴らない（子機） 174
着信音量 45
着信音量（子機） 46
着信音を鳴らさず受信 39, 41
中央がかすむ（印刷） 185
注文 241

つ

通信エラーが増えた（ADSL） 173
通信エラーの解消（安心通信モード） 192
通話音質調整 191
通話が切れる 171
通話が切れる（子機） 174, 175
通話パワーの変更（子機） 193
「ツー」音が聞こえない 171
つながらない（ISDN） 173

て

定期メンテナンス 145
停止 / 終了ボタン 27
ディスクのセット 61
停電 201
停電用電話機接続端子 24
デジカメからプリントできない（PictBridge） 187
デジカメプリント 122
デジカメプリントボタンの機能 221
デュアルアクセス 82
電源オン / オフ 31
電源が入らない 188
電源が入らない（子機） 176
電源ボタン 27, 31
電話がかけられない 34, 170
電話がかけられない（子機） 174
電話帳 98
電話帳 & ファクスリセット 196
電話帳からダイヤルできない 170
電話帳から電話をかける 65
電話帳からファクス送信できない 178
電話帳転送 100
電話帳登録 98
電話帳に登録（子機） 101
電話帳ボタンの機能 210
電話帳ボタン（子機） 32
電話帳ボタン（子機）の機能 225
電話帳リスト 100
電話帳を消去する 196
電話帳・短縮ダイヤルで送信 85
電話帳（子機） 101
電話取り次ぎ 70
電話に応答しない 171
電話のトラブル 170
電話番号が表示されない（ナンバー・ディスプレイ） 172
電話をかける / 受ける 64
電話・ファクスの受けかた 38

と

動画の画像をプリントする 122
動画の画像を見る 122
同報送信 86
同報送信のキャンセル 87
トールセーバー 43
特別回線対応 191
時計セット 35
トリプル通話 73
トレイカバー 25

な

内緒話モード 69
内線通話 72
内線番号 70
斜めに印刷される 183
斜めに原稿が送られる 181
ナンバー・ディスプレイのトラブル 172, 174

に

にじみ（印刷） 185
入力方法 207
入力方法（子機） 208

ね

ネットワーク設定リスト 202
ネットワーク設定リセット 195
ネットワークリモート接続の失敗 188

は

廃棄（インクカートリッジ） 143
排紙ローラーの清掃 138
はがき 48, 55
白紙が出る（ファクス受信） 179
端がかすむ（印刷） 185
パソコンから設定を変更する 21
パソコンからファクスを送る 21
発信元登録 36
発信履歴ボタン（子機） 32
バッテリーカバー（子機） 26
バッテリー交換（子機） 150
バッテリー残量（子機） 33

ひ

「ピーピーピー」と鳴る（子機） 176
ひかり電話のトラブル 173
ビジー状態 187
非通知の相手からの着信ができない 174
日付印刷 125
日付と時刻の設定 35
日付と時刻の設定 （子機） 36
「ピッピッピッ」と鳴る（子機） 176

ふ

ファクス画質 83
ファクス原稿濃度 83
ファクス自動送信 80, 81, 82
ファクス受信 88
ファクス受信できない（構内交換機経由） 180
ファクス受信のトラブル 177, 179
ファクス送受信できない 177
ファクス送信できない（IP 網使用） 178
ファクス送信できない（電話帳） 178
ファクス送信（電話帳・短縮ダイヤル） 85
ファクス通信できない（ISDN） 173
ファクスに印刷される送信側の名前とファクス
番号を登録する / 削除する 36
ファクスの消去 91, 95
ファクスのトラブル 177
ファクスボタンの機能 223
ファクス無鳴動受信 42
ファクスを印刷する 90, 94
ファクスをメモリーで受信する 94
封筒 48
フォルダ保存 224
複数枚送信ができない 178
ふちなし印刷 125
普通紙 48
プッシュ回線 34
プッシュホンサービスを利用する 69
プリント画質 124
プリントサイズ 222
プリントのトラブル 181
プリントヘッド 145

へ

ヘッドクリーニング 145
ベル
（オン / オフ設定）（再呼出時に相手に流す） 44
ベル（呼び出し回数） 43
ベル（再呼出時間） 44
便利なコピー設定 115

ほ

ポストカード 48
ボタン確認音量 45
ボタン確認音（子機） 46
保留ボタン（子機） 32
ホワイトバランス 125
本製品が表示されない（Macintosh） 188
「本製品接続エラー」 187
「本製品はビジー状態です」 187
本体カバー 25

ま

マイク（子機） 32
待ち受け画面 28
マルチメディアカード 119

み

みるだけ受信 90, 92
みるだけ受信ボタンの機能 210

む

無線 LAN レポート 202

め

迷惑電話拒否 75
メッセージが途中で切れている / 録音できない ... 176
メッセージの再生 / 停止 / 消去 108
メディア保存 129, 224
メニューボタンの機能 211
メモリー 229
メモリーカードのアクセス状況 120
メモリーカードのセット / 取り出し 119
メモリーカードのトラブル 187
メモリー受信 94
メモリー受信したファクスを印刷する 94
メモリースティック TM 119
メモリー代行受信 93
メモリーを消去する 196
メロディが止まらない 172
メンテナンス 134

も

モードボタン 27
文字切替 /P ボタン（子機）........ 32
文字の入れかた 206
文字の入力方法 207
文字の入力方法（子機）........ 208
文字化け、文字欠け、水平方向の線 184
文字や画像のゆがみ 183
元に戻す（RSS 設定）........ 196
元に戻す（機能設定）........ 195
元に戻す（すべての設定）........ 197
元に戻す（ネットワーク設定）........ 195

ゆ

ゆがみ（文字や画像）........ 183
輸送（本製品）........ 203

よ

用紙に合わせるが使えない 181
横縞が出る 183
汚れ（印刷）........ 184
汚れ（記録紙の下端）........ 181, 184
汚れ（コピー、受信したファクス）........ 179
汚れ（本製品）........ 134
呼出回数 43
読み取り範囲 58

り

リサイクル（電池）........ 151
リセット（本製品の強制リセット）........ 190
リムーバブルディスクとして利用する 21
リモコンアクセスカード 237
リリースボタン 25
履歴を消去する 196

る

留守応答メッセージ 107
留守番機能 104
留守番機能のセット 107
留守番電話応答メッセージ 105
留守ボタン 27
留守モード 38, 107
留守録モニター 106

れ

レポート印刷 202

ろ

録音データを消去する 196
録音できない 176
録音途中で切れている 176

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合（⇒ユーザーズガイド 応用編 第 5 章「外出先から本製品を操作する」）、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン　アクセス

暗　証　番　号

あなたの暗証番号を記入してください。

＊間違った操作を行ったときは、短い「ピッ」という音が3回聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、または応答メッセージが再生されたら、「#」「*」の順に入力します。
3. 暗証番号を入力します。
   - 「ポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージが記憶されています。
   - 「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されてます。
   - 「ポーポーポー」という音が聞こえる：ファクスメッセージ、音声メッセージの両方が記憶されています。
   - 無音：ファクスメッセージ、音声メッセージは共にありません。
4. リモコンコード（裏面参照）を入力します。
5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

注意：間違った操作を行ったときには、もう一度やり直してください。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況の チェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況の チェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

＜キリトリ線＞

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91（※3）
戻し（再生中から戻し）	911（91＋1）
送り（再生中から送り）	912（91＋2）
音声メッセージを消去（※1）	93
メモリー受信をOFFにする（※5）	951
ファクス転送の設定	952（※4）
ファクス転送番号の登録・変更	954+転送番号入力+##
メモリー受信をONにする	956

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
受信状況の チェック（※2）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：「ピピピッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。
※2：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。
「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。
※3：中止するときは 9 を入力してください。
※4：転送番号が登録されていないときは、転送機能をONにすることはできません。
※5：留守録転送やファクス転送の設定も解除されます。

関連製品のご案内

innobella

innobella（イノベラ）とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。
名前は、innovation（イノベーション：英語で「革新」）とBella（ベラ：イタリア語で「美しい」）の2つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。
特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。
高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。

消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。弊社純正品は携帯電話からもご注文いただけます。

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック（黒）	LC12BK
イエロー（黄）	LC12Y
シアン（青）	LC12C
マゼンタ（赤）	LC12M
4個パック[ブラック(黒)/イエロー(黄)/シアン(青)/マゼンタ(赤)各1個]	LC12-4PK
黒2個パック［ブラック（黒）2個］	LC12BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番（サイズ）	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA（A4）	250枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4（A4）	20枚入り
		BP71GLJ50（L判）	50枚入り
		BP71GLJ100（L判）	100枚入り
		BP71GLJ300（L判）	300枚入り
		BP71GLJ500（L判）	500枚入り
マット紙	インクジェット紙（マット仕上げ）	BP60MA（A4）	25枚入り

- OHPフィルムは、住友スリーエム社製OHPフィルム（型番：CG3410）のご使用を推奨します。
- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ（http://solutions.brother.co.jp/）をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

消耗品などのご注文について

- 純正消耗品はお近くの家電量販店でも取り扱いがございますが、インターネット、電話によるご注文も承っております。
- 配送料は、お買い上げ金額の合計が 3,000 円以上の場合は全国無料です。
  3,000 円未満の場合は 350 円の配送料をいただきます。（代引き手数料は全国一律無料）
- 納期については土・日・祝日、長期休暇をはさむ場合はその日数が下記に加算されます。
- 配送地域は日本国内に限らせていただきます。

＜代引き＞・・・ご注文後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
＜お振込み（銀行・郵便）＞・・・ご入金確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送
　※代金は先払いとなります。（銀行／郵便局備え付けの振込用紙などからお振り込みください。）
　※振り込み手数料はお客様負担となります。
＜クレジットカード＞・・・カード番号確認後 2 ～ 3 営業日後の商品発送

ご注文先

ブラザー販売（株）	ダイレクトクラブ
インターネット	http://direct.brother.co.jp/shop/
携帯サイト	右の二次元コードにアクセス
ファクス	052-825-0311
電話	0120-118-825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時）
振込先	口座名義：ブラザー販売株式会社　ダイレクトクラブ 銀行：三井住友銀行　上前津（カミマエヅ）支店　普通 6428357 ゆうちょ銀行　振替口座　00860 ー 1 ー 27600

公式直販サイト
ダイレクトクラブ

消耗品はブラザー純正品をお使いください

ブラザーMyMioシリーズについて、印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）

よくあるご質問（Q＆A）や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル（電子版）のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー

http://solutions.brother.co.jp/

携帯電話向けサポートサイト（ブラザーモバイルサイト）

携帯電話からも簡単なサポート情報をみることができます。

サポートサイト

http://m.brother.co.jp/support/

ブラザーマイポータル

ブラザーマイポータル会員専用サイト

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

オンラインユーザー登録 ▶ https://myportal.brother.co.jp/

ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

 0120-590-381　受付時間：月～金　9:00 ～ 20:00 ／土　9:00 ～ 17:00
日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

安心と信頼の修理サービス

無償 ブラザー サービス エクスプレス

マイミーオ	1年間無償保証

製品ご購入後１年間無償保証いたします。　※保証期間後の修理は発生の都度有償対応となります。

● **コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。** ※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。

● **3日以内に修理品を返送。**
弊社到着後、3日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。
ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター
電話：03-5472-7008　FAX：03-5472-7009　10：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00（土日・祝日を除く）
テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp　ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後５年です。（印刷物は２年です）

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1